

AHD デジタルビデオレコーダー

KB-AHR04A / KB-AHR08B / KB-AHR16B

取扱説明書



お客様へ

このたびは当社製品をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

また、お読みになった後は、いつでも確認できるように場所を定めて保管してください。

株式会社 **ケービデバイス**

改訂履歴

日付	版数	改訂内容
2017/2/15	初版	初版とする
2018/7/2	2 版	13 章 録画日数表 記録表をビットレートコントロールによって分けて記載する。

限定保証

(株)ケービデバイスは KB-AHR04A / KB-AHR08B / KB-AHR16B (以降、KB-AHR シリーズ) が、頒付されている仕様条件にしたがって製造されたもので、材料上または仕上げ上欠陥がないことを保証いたします。したがって、(株)ケービデバイスは当社へ返送していただいたもので、当社が点検して材料および仕上げに欠陥があると判断した場合には、当社の責任の元で修理、もしくは交換をいたします。

なお、この保証は、日本国内で購入され、購入後 1 年間かつ日本国内で使用される KB-AHR シリーズについてのみ有効なものとなります。

免責事項

(株)ケービデバイスは市場性や市販性に関する保証、特定の目的または用途に関する保証、もしくは特許侵害に対する保証など、本保証条件以外のものは一切保証いたしません。(株)ケービデバイスは、いかなる直接的損害、付帯的もしくは間接的な損害金、あるいは欠陥製品もしくは製品の使用に起因する損失金または費用については何ら責任を負わないものとします。そのような損害の発生があることについてあらかじめ知らされていた場合についても同様なものとします。お客様は KB-AHR シリーズの使用、ならびに KB-AHR シリーズを使用して得られる結果に関する一切の責任を負うものとします。

この保証は、最初の購入者であるお客様(1 ユーザー)に対して適用され、お客様が KB-AHR シリーズを転売された第三者には適用されません。(株)ケービデバイスは第三者からの、または第三者のためになすお客様からのいかなる請求に関しても責任を負わないものとします。

以下にあげる場合は、保証の対象外とさせていただきます。

- ① 火災・地震、第三者による行為、その他の事故により KB-AHR シリーズに不具合が発生した場合。
- ② お客様の故意もしくは過失、誤用、乱用その他の異常な条件下での使用により KB-AHR シリーズの不具合が発生した場合。
- ③ お客様が KB-AHR シリーズに手を加えて改造、修理した場合。
- ④ ユーザーシステムの使用や使用方法に起因して発生した損害等について。

目次

安全にご使用いただくために	8
使用上のご注意	11
1 章 はじめに	1-1
1.1 概要	1-1
1.2 セット内容	1-2
1.3 外観	1-3
1.4 リモコン	1-6
1.5 各種機種への接続	1-8
1.5.1 モニターへの接続	1-9
1.5.2 電源への接続	1-10
1.5.3 アラーム入出力への接続	1-11
1.5.4 RS-485 への接続	1-13
1.5.5 RS-232 への接続	1-14
1.5.6 音声機器への接続	1-14
1.5.7 USB デバイスの接続	1-15
1.5.8 ネットワーク機器への接続	1-16
1.6 本機の起動	1-17
1.7 ログアウト・シャットダウン	1-18
1.7.1 ログアウト	1-18
1.7.2 シャットダウン	1-19
2 章 ライブ監視	2-1
2.1 ライブ画面について	2-1
2.2 タイムライン	2-4
2.3 クイックメニュー	2-5
2.4 画面表示切り替え	2-6
2.4.1 画面分割モードの選択	2-6
2.4.2 シーケンス表示	2-6
2.5 デジタルズーム	2-7
2.6 その他のライブ機能	2-8
2.6.1 イベントログ表示	2-8
2.6.2 音声出力 CH の選択	2-9

2.6.3	アラーム状態の確認	2-9
2.6.4	ネットワーク状態の表示	2-10
2.6.5	ディスク状態の表示	2-11

3 章 各種設定 3-1

<u>3.1</u>	<u>カメラ</u>	3-3
3.1.1	カメラタイトル	3-4
3.1.2	映像設定	3-5
3.1.3	カメラマスク設定	3-6
3.1.4	モーションセンサー	3-7
3.1.5	PTZ 設定	3-10
3.1.6	プライバシーマスク	3-11
<u>3.2</u>	<u>ディスプレイ</u>	3-13
3.2.1	ディスプレイ	3-13
3.2.2	モニター	3-14
3.2.3	デュアルモニター	3-15
3.2.4	シーケンス	3-18
3.2.5	スポット出力	3-21
<u>3.3</u>	<u>音声</u>	3-23
3.3.1	音声	3-23
3.3.2	ブザー	3-24
<u>3.4</u>	<u>ユーザー</u>	3-25
3.4.1	管理	3-25
3.4.2	グループ権限	3-28
<u>3.5</u>	<u>ネットワーク</u>	3-29
3.5.1	IP 設定	3-29
3.5.2	DDNS	3-31
3.5.3	メール	3-33
3.5.4	ネットワークステータス	3-34
<u>3.6</u>	<u>システム</u>	3-35
3.6.1	日付/時刻	3-35
3.6.2	システム管理	3-36
3.6.3	システム情報	3-38
3.6.4	デバイス設定	3-40
<u>3.7</u>	<u>ストレージ</u>	3-41
3.7.1	HDD 情報	3-41
3.7.2	HDD 動作	3-43

3.7.3 RAID 設定	3-44
3.7.4 S.M.A.R.T 情報	3-47
3.8 イベント	3-49
3.8.1 アラーム出力	3-50
3.8.2 イベント通知	3-52
3.8.3 アラームセンサー	3-59
3.8.4 モーションセンサー	3-61
3.8.5 ビデオロス	3-63
3.8.6 システムイベント	3-65
3.9 録画設定	3-70
3.9.1 録画モード設定	3-71
3.9.2 常時録画	3-74
3.9.3 モーション録画	3-77
3.9.4 アラーム録画	3-78
3.9.5 緊急録画	3-79
3.9.6 ネットワークストリーミング	3-80
3.9.7 音声マッピング	3-81
 4 章 検索と再生	 4-1
4.1 サーチ画面に入るには	4-1
4.2 タイムサーチ	4-2
4.3 サムネイルサーチ	4-4
4.4 イベントサーチ	4-6
4.5 再生画面	4-8
 5 章 バックアップ	 5-1
5.1 バックアップ	5-1
5.2 リザーブデータ管理	5-4
5.3 バックアップデータ再生	5-6
5.4 バックアップデバイス設定	5-7
5.5 PC でのバックアップ映像の再生	5-8
5.5.1 Windows Media Player での再生	5-9
5.5.2 専用プレイヤーでの再生	5-10
5.5.3 専用プレイヤーでの操作	5-12

6 章	PTZ コントロール	6-1
6.1	<u>PTZ 操作画面に入るには</u>	6-1
6.2	<u>AHD カメラの OSD 設定</u>	6-3
6.2.1	プロトコル設定手順	6-3
6.2.2	OSD 操作方法	6-4
7 章	遠隔監視	7-1
7.1	<u>WEB ビューワーへのアクセス</u>	7-2
7.2	<u>WEB ビューワーの操作</u>	7-4
8 章	スマートフォンからの接続	8-1
8.1	<u>nViewer のインストール</u>	8-2
8.2	<u>初回接続設定</u>	8-3
8.3	<u>ライブ画面の操作</u>	8-5
8.4	<u>タイムサーチ画面</u>	8-7
8.5	<u>ログ検索</u>	8-8
9 章	トラブルシューティング	9-1
10 章	製品仕様	10-1
11 章	初期設定リスト	11-1
12 章	外形寸法図	12-1

安全にご使用いただくために

- ・ KB-AHR シリーズをご使用になる前に、必ず本書をよくお読みください。
- ・ 本書は必ず保管し、使用上不明な点等がある場合には再読し、ご確認ください。
- ・ 本書を十分理解せずに KB-AHR シリーズをご使用にならないでください。
- ・ KB-AHR シリーズの仕様範囲を超える条件において使用された場合については、動作は保証しかねますのでご了承ください。
- ・ KB-AHR シリーズは、宇宙、航空、医療、原子力、運輸、交通、各種安全装置など人命、事故にかかわる特別な品質、信頼性等が要求される用途でご使用にならないでください。
- ・ KB-AHR シリーズは防犯カメラと組み合わせて使用することによって、犯罪の抑止と犯罪行為の証拠の記録を行うものであり、それ自体で犯罪を未然に防ぐものではありません。

【 表示および図記号について 】

本書では機器を安全に正しくご使用いただくために、さまざまな表示をしています。

内容をご理解の上、本文をよくお読みください。

注意記号	禁止記号	指示記号
	  	  
一般注意	一般禁止 接触禁止 分解禁止	一般指示 電源を抜く アース接続



警告

正しくご使用いただけない場合、死亡もしくは重傷につながる恐れがあります。

● 水に濡らさない



火災や感電の恐れがあるため、湿気の多い場所（温度、湿度変化の激しい場所）や水の入る場所に設置しないでください。

● 指定の電源電圧を超えない



表示された電源電圧を超える電圧を加えないでください。
火災および感電の恐れがあります。

● アースを接続する



電源コードは、AC100V（50/60Hz）のアース付きコンセントのみにつないでください。
アースなし電源コンセントにつないだ場合には、火災および感電の恐れがあります。

● 分解、改造をしない



本製品を分解・改造しないでください。感電や火災の原因になります。メンテナンスや検査が必要な場合には、製品を購入いただいた販売店にご連絡ください。

● 液体や金属片を上には置かない、挿入しない



本製品の上に、水の入った容器や金属製のゴミなどの異物を置いたり挿入したりしないでください。本体内に液体や金属が入ると、火災および感電の恐れがあります。

● 電源コードについて



電源コードが損傷すると火災および感電の恐れがあります。以下をお守りください。

- ・ 電源コードの上に重いものを置かないでください。
- ・ 切れ目を入れる、折り曲げる、ねじる、引っ張る、熱するなどをしないでください。
- ・ 本製品同梱の電源コード以外のものを使用しないでください。

● 異常が発生したとき



以下の場合には直ちに電源を切り、電源コードを抜いて販売店にご相談ください。

- ・ 本体から煙や異臭または異音が発生したとき
- ・ 落下などにより本体または電源コードが損傷したとき

● 落雷時は触れない



落雷があったときは、本体や電源コードに触れないでください。感電の恐れがあります。
落雷により異常が発生した場合は販売店にご相談ください。



注意

正しくご使用いただけない場合、人の怪我または物理的損傷につながる恐れがあります。

● 濡れた手で触れない



濡れた手で本体および電源コードに触れないでください。
感電の恐れがあります。

● コードを置いたままにしない



電源コード、その他のケーブルを通路に置いたままにしないでください。
通った人が足を引っ掛けて転ぶ恐れがあります。

● 外部接続のときは外部装置の電源を切る



本製品に外部装置をつなげる場合は、それらの装置の電源が切れていることを確認してから接続してください。
本製品およびカメラからの過電流による感電の恐れがあります。

● 製品に異物がついたとき



製品に異物がついた場合には、やわらかい布またはハンカチで取り除いてください。
異物の除去のために薬剤(シンナー、溶剤など)は使用しないでください。

● 使用する場所に注意



以下の場所で使用または保管しないでください。

- ・ 温度が極端に低いか、高い場所
- ・ 湿度の高い場所、またはエアコンの前のように温度が急激に変化する場所
- ・ 埃が多い場所
- ・ 製品の両側の通気穴からの放熱が妨げられる場所

● 磁気を帯びたものを置かない



クレジットカード、テレフォンカード、通帳、その他磁気を帯びたものを製品の近くに置かないでください。

● 静電気に注意



静電気は製品内部に損傷を起こす可能性があります。製品のリアパネルおよび内部電子部品に触る前には、体内の静電気を除去してください。

● 法規に準拠した廃棄を



本製品が修理不可能なほどの損傷を受けた場合、または製品を廃棄する場合には、鉛、バッテリー、プラスチックなどの廃棄物に関するその地域の法規に準拠して廃棄してください。

使用上のご注意

- 仕様の動作温度、湿度の範囲外の環境で本製品を使用しないでください。
- 通風口に埃がたまった場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年1回程度を目安に行ってください。
- 強力な磁界や電界がある場所に設置しないでください。映像が乱れたり機器が故障したりする恐れがあります。
- 電源が不安定な場合、または感電が生じた場合には、製品は適切に作動しない可能性があります。必ず正しい定格電圧で使用するようになしてください。
- 本製品は、停電に備えて設計されていますが、停電により損傷を受ける可能性もあります。その場合、使用中のデータが損傷したり、記録されなかったりすることがあります。無停電電源装置(UPS)を使用することを推奨します。
- 本製品はビデオデータをHDDに録画する設計ですので、HDDのエラーまたはその他のエラーにより、製品が正常的に録画できない場合があります。製品の適切な運転のためには、定期的なメンテナンスが必要です。
- 本製品は、ユーザーが自由に好みの設定を行える設計になっています。しかし、ユーザーの設定エラーが、誤作動につながる場合があります。
- 本製品は外部機器(カメラ、センサー、USB装置、LAN、HDDなど)と接続して使用しているため、外部要因による誤作動の恐れがあります。安定した運用のため定期的なメンテナンスを推奨します。
- 本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直や傾けての使用はできません。
- HDDが故障した場合、当社では記録したデータの復旧はできません。重要なデータはあらかじめバックアップをとってください。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合がありますので「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 本製品は精密機器です。振動や強い衝撃を与えないでください。火災や感電、本体の破損につながります。
- 本製品で記録された映像情報は個人情報やプライバシーに係る機密情報が含まれる場合があります。「個人情報保護法」に準拠した取扱いを実施されることを推奨します。
- 運送時の落下、振動によって発生した機器の破損についての責任を当社は負うことができません。あらかじめご了承ください。
- 本製品内に使用しているHDD・FAN・電源等の消耗品は長期間の使用で交換が必要となる場合があります。長期間使用の際はあらかじめ販売店にメンテナンスのご相談を推奨します。
- 本製品に対し、改良のため予告なく仕様の一部を変更することがあります。(ハードウェア、ソフトウェア、文書等)

1章 はじめに

1.1 概要

KB-AHR シリーズは、AHD カメラ及びアナログカメラ用のデジタルビデオレコーダーです。

4 台 / 8 台 / 16 台までのカメラを接続することができます。

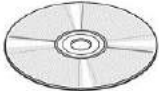
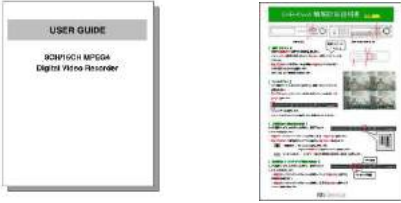
録画には、圧縮率の高い H.264 形式を採用しております。

KB-AHR シリーズの操作には主にマウスを用います。リモコンでも操作は可能です。

KB-AHR08B 及び KB-AHR16B は、RAID1、RAID5 に対応、信頼性の高い運用が可能です。

1.2 セット内容

以下のものが入っているかをご確認ください。

レコーダー本体 x1	
マウス x1	
リモコン x1 / リモコン用電池 1.5V x2	
CD-ROM x1 (取扱説明書など)	
取扱説明書(本書) x1 および 簡易取扱説明書 x1	
電源ケーブル x1	
DC12V AC アダプター x1	
ケーブルクリップ x1	
端子ブロック KB-AHR08B : 7P x2 / 10P x2 KB-AHR16A : 9P x2 / 10P x4	

1.3 外観

【 前面パネル（KB-AHR04A） 】



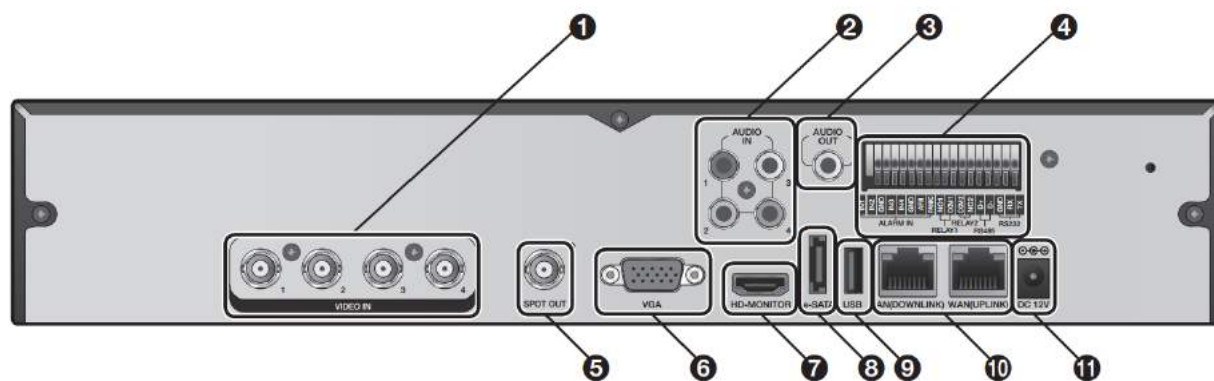
No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	記録ランプ	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
6	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。

【 前面パネル（KB-AHR08B / KB-AHR16B） 】

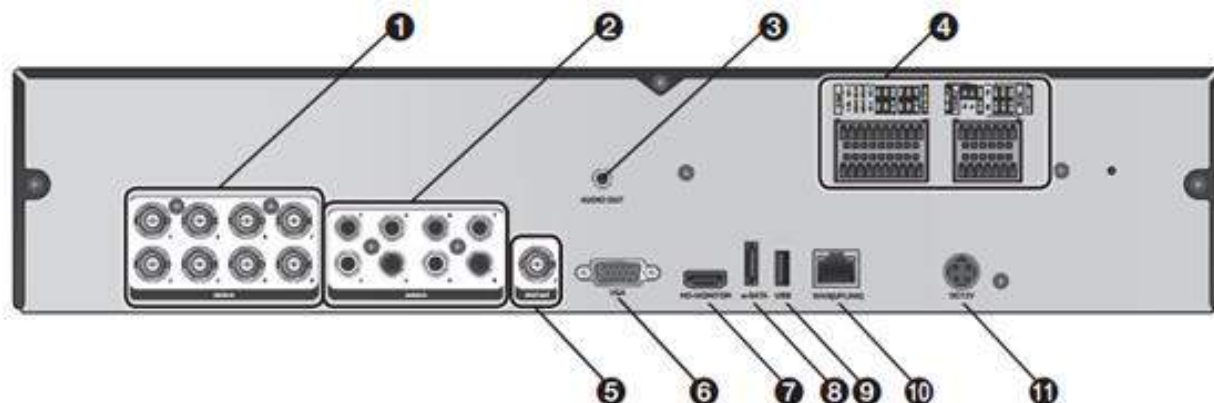


No.	名称	用途
1	電源ランプ	電源が入っている間、点灯します。
2	記録ランプ	カメラ映像を記録中に点灯します。
3	ネットワークランプ	クライアント PC からのネットワークアクセス中に点灯します。
4	アラームランプ	アラーム出力中に点灯します。
5	HDD アクセスランプ	接続中の内蔵 HDD および外付けストレージが点灯します。
6	eSATA ランプ	eSATA ケーブルに異常があった場合に点灯します。
7	リモコン赤外線受信部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
7	USB ポート	マウスまたは USB メモリーなどを接続します。

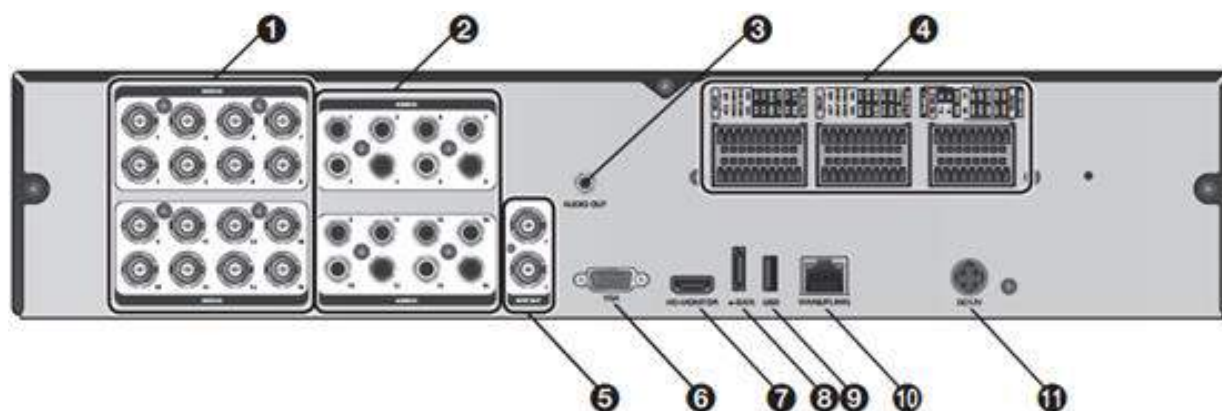
【 背面パネル（KB-AHR04A） 】



【 背面パネル（KB-AHR08B） 】

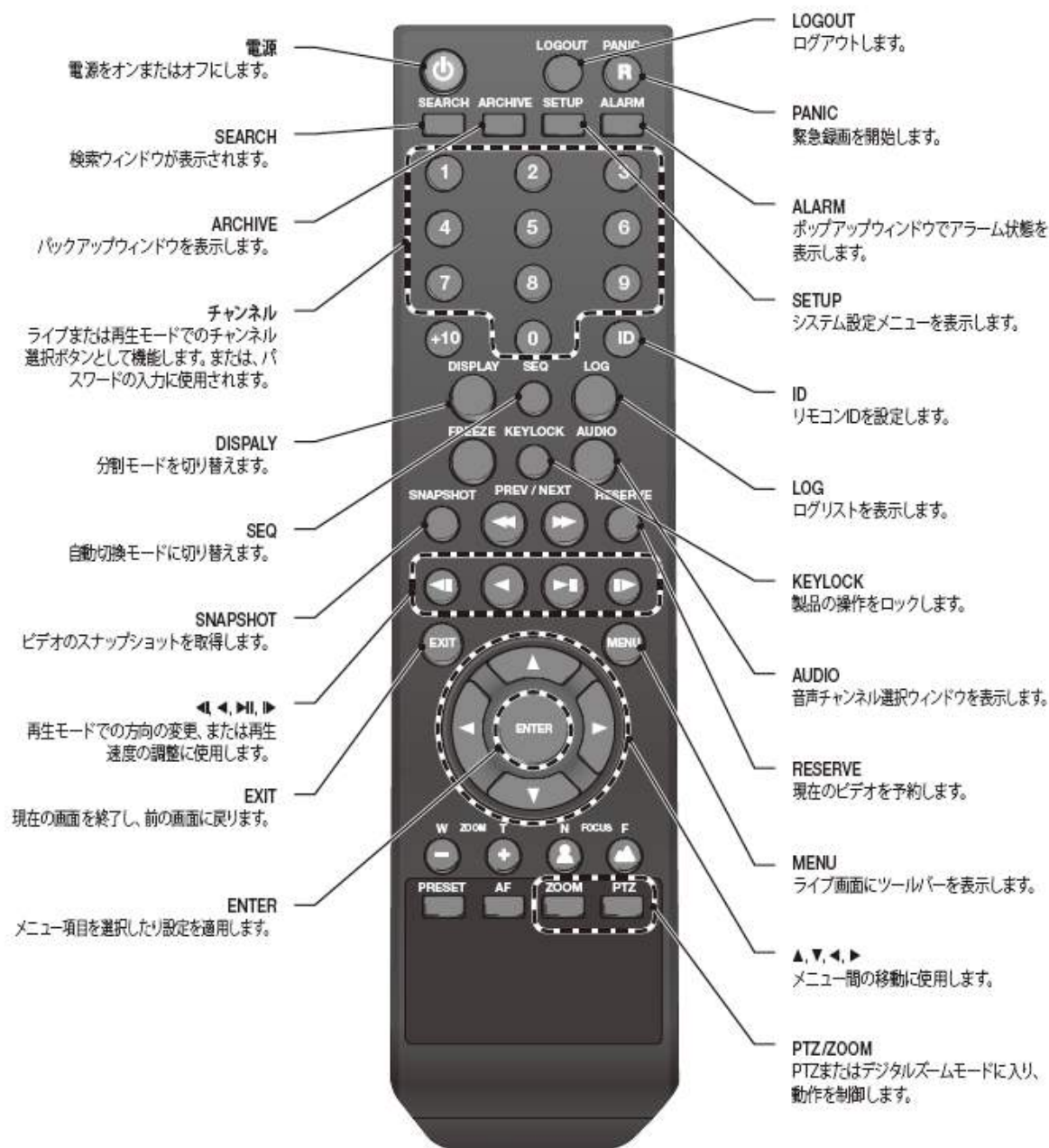


【 背面パネル（KB-AHR16B） 】



No.	名称	端子名称	用途
1	VIDEO IN	BNC	カメラ映像の入力端子です。 同軸ケーブルでカメラを接続してください。
2	AUDIO IN	RCA	マイクなどを接続する音声入力端子です。
3	AUDIO OUT	RCA ピンジャック	スピーカーなどを接続する音声出力端子です。
4	ALARM IN	プッシュロック端子	センサー機器などを接続するアラーム入力端子です。
	RELAY	プッシュロック端子	警報機などを接続するアラーム出力端子です。
	RS-485	プッシュロック端子	PTZ カメラやキーボードコントローラーなどを接続する端子です。
	RS-232	プッシュロック端子	使用しません。
5	SPOT OUT	BNC	1 画面または分割画面对応のスポット映像出力端子です。
6	VGA	D-SUB 15pin	モニターに接続する映像出力端子です。 VGA ケーブルを使用してモニターに接続します。
7	HDMI	HDMI	モニターに接続する映像出力端子です。 HDMI ケーブルを使用してモニターに接続します。
8	e-SATA	eSATA	外付け SATA ストレージ用の接続端子です。
9	USB	USB2.0	マウスや USB メモリーなどを接続します。
10	LAN(DOWNLINK)	RJ-45	ローカル接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルで PC やハブを接続します。
	LAN(UPLINK)		リモート接続用の LAN ポートです。 LAN ケーブルで PC やルーターを接続します。
11	DC12V	DC ジャック	本体電源入力端子です。 付属の DC12V の AC アダプターを接続します。

1.4 リモコン



【 リモコン ID の入力手順 】

1 台のリモコンで複数台のレコーダーを操作するために、リモコン ID が存在します。
レコーダー本体に設定しているリモコン ID を、ライブ画面でリモコンから正しく入力すると
そのリモコンでの操作が有効となります。

※ライブ画面で、誤ったリモコン ID を入力すると、リモコン操作が不可能になります。

以下の手順でリモコン ID を設定します。

1. システム設定のデバイス設定で、レコーダー本体のリモコン ID を設定します。
詳しくは、「デバイス設定(3-42 ページ)」をご覧ください。
2. ライブ画面で、リモコンの〈 ID 〉ボタン を押します。
3. リモコンの数字ボタンで 2 桁の ID を指定します。
例) 「 01 」と入力する場合 : 数字の 0 → 1 の順にボタンを押します。

※リモコン ID の初期設定値は、「 00 」です。

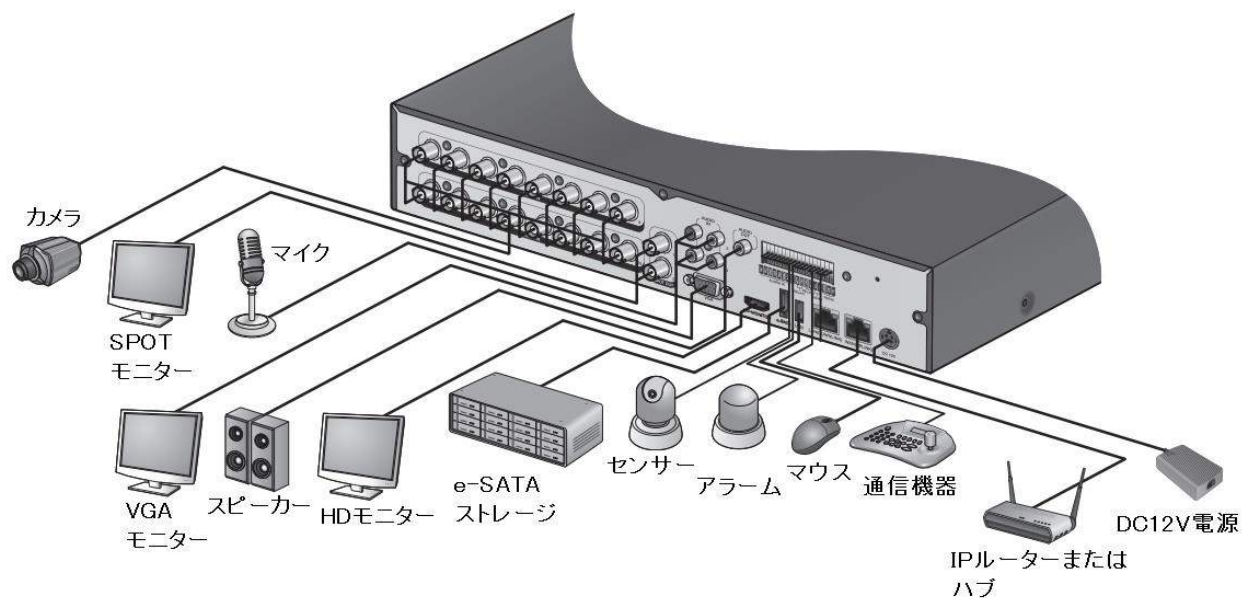
4. リモコンを操作して、リモコン ID が適切に設定されているかを確認してください。

※リモコン ID を「 00 」にリセットする場合は、〈 ID 〉ボタンを押し続けます。

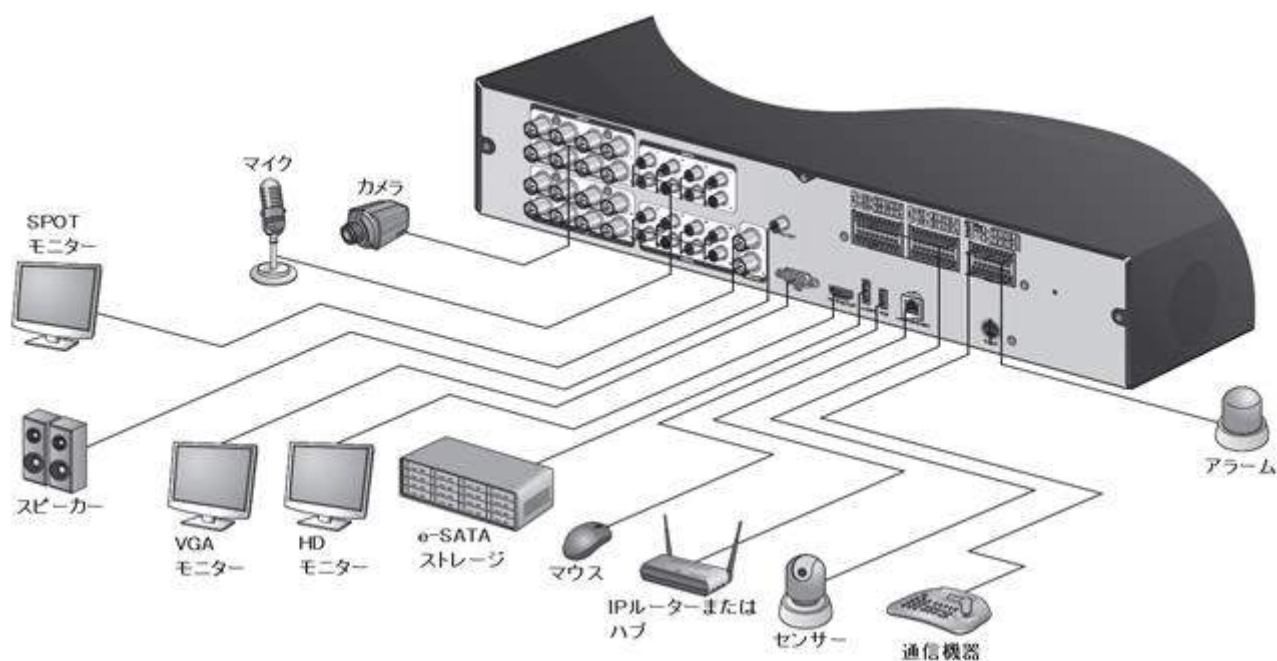
1.5 各種機種の接続

レコーダーに以下のように機器を接続します。

【 KB-AHR04A の場合 】

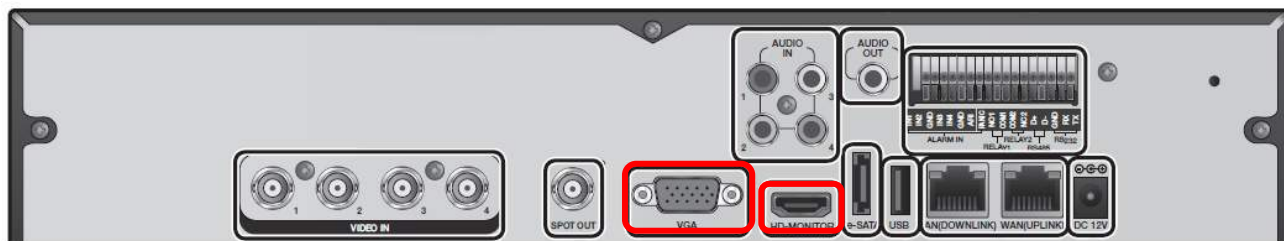


【 KB-AHR08B / KB-AHR16B の場合 】



1.5.1 モニターとの接続

本製品とモニターを HDMI または VGA ケーブルで接続します。



かならず下記のいずれかの入力解像度に対応したモニターを使用してください。

- 1920 x 1080 (1080p)
- 1280 x 1024 (SXGA)
- 1280 x 720 (720p)

上記のいずれにも対応しないモニターは使用できません。

モニターを接続してレコーダーを起動すると、自動的に最適な解像度で出力します。

HDMI と VGA は同時出力可能です。

1.5.2 電源の接続

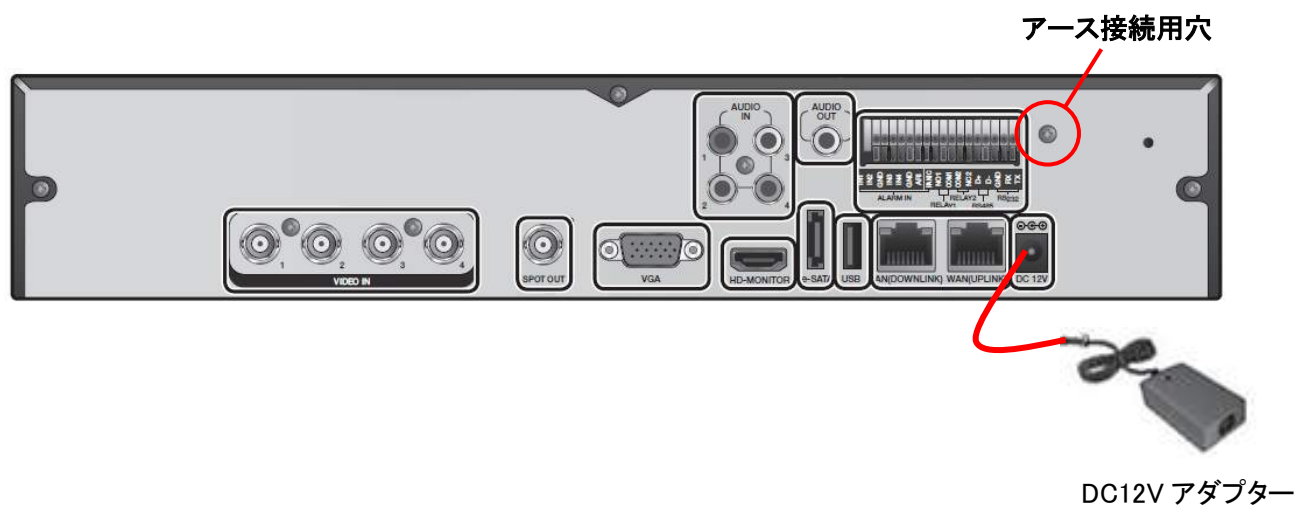
本体に DC12V アダプターを以下のように接続してください。

本機に電源を接続する前に必ず、アース接地工事または、アース接続を行ってください。
静電気などにより本機が故障する恐れがあります。

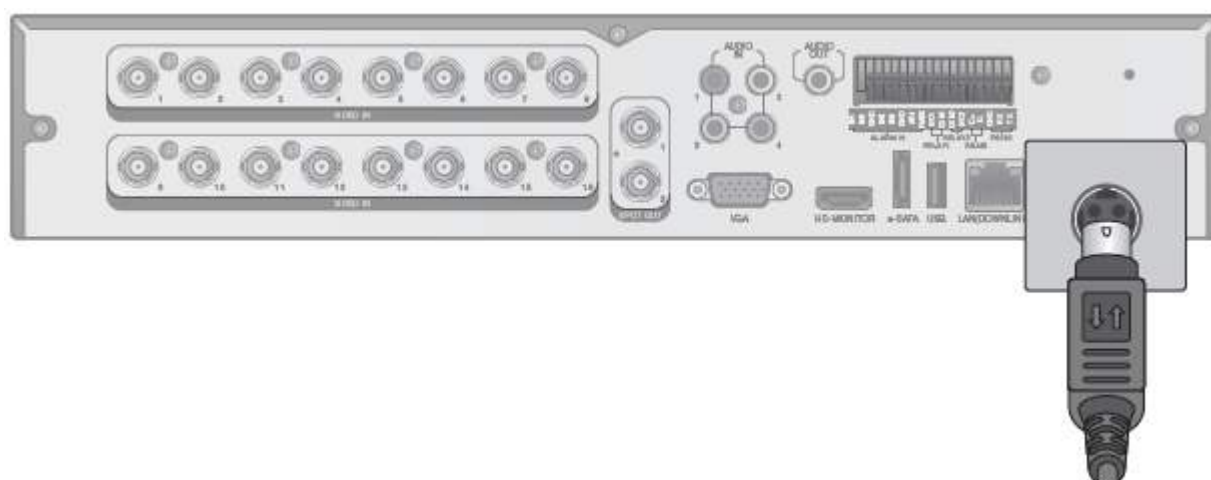
※接続後、ケーブルクリップを背面パネルに取付けて、ケーブルを差し込みます。

【 KB-AHR04A の場合 】

※ 4CH モデルの場合、アース接続は本機背面パネルのアース接続用穴をお使いください。



【 KB-AHR08B / KB-AHR16B の場合 】

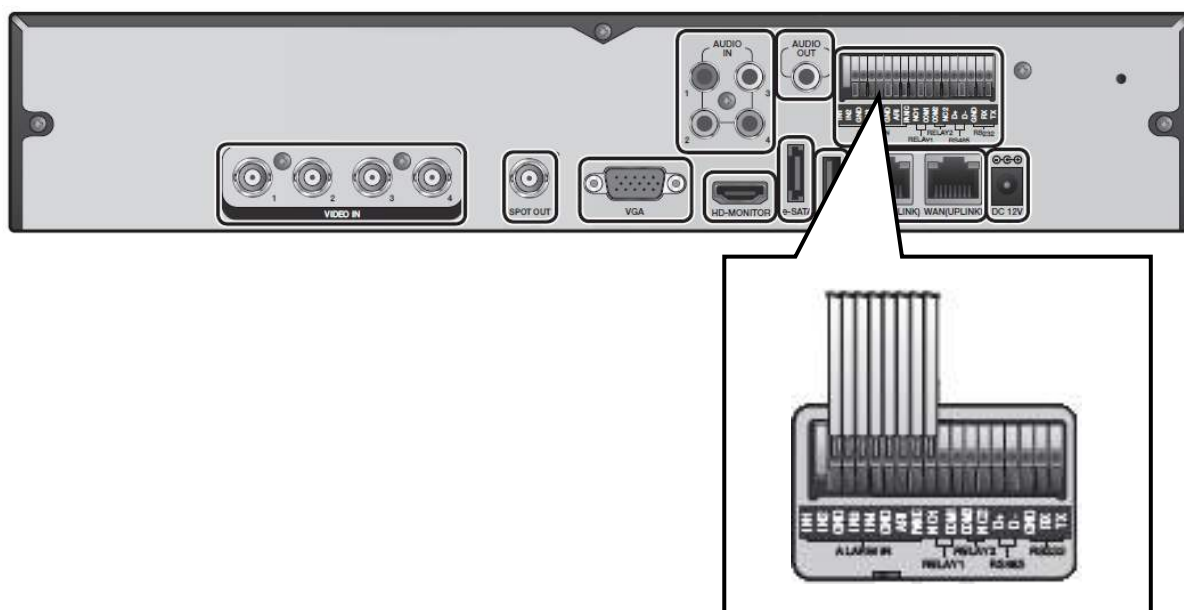


1.5.3 アラーム入出力の接続

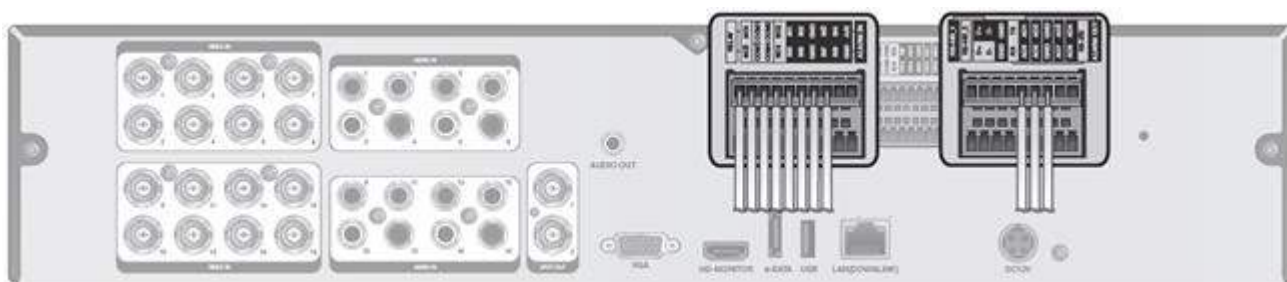
本製品は、センサーや警報機器と連動し、様々なイベント通知を行うことができます。

※KB-AHR08B / KB-AHR16A には、付属の端子ブロックを装着してください。

【 KB-AHR04A の場合 】



【 KB-AHR08B / KB-AHR16B の場合 】



- **アラーム入力信号を接続するには・・・**
 1. アラーム入力機器の信号線の＋極を本機背面の 〈 ALARM IN 〉ポートに差し込みます。
 2. アラーム入力機器の信号線の－極を本機背面の 〈 GND 〉ポートに差し込みます。
 3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。

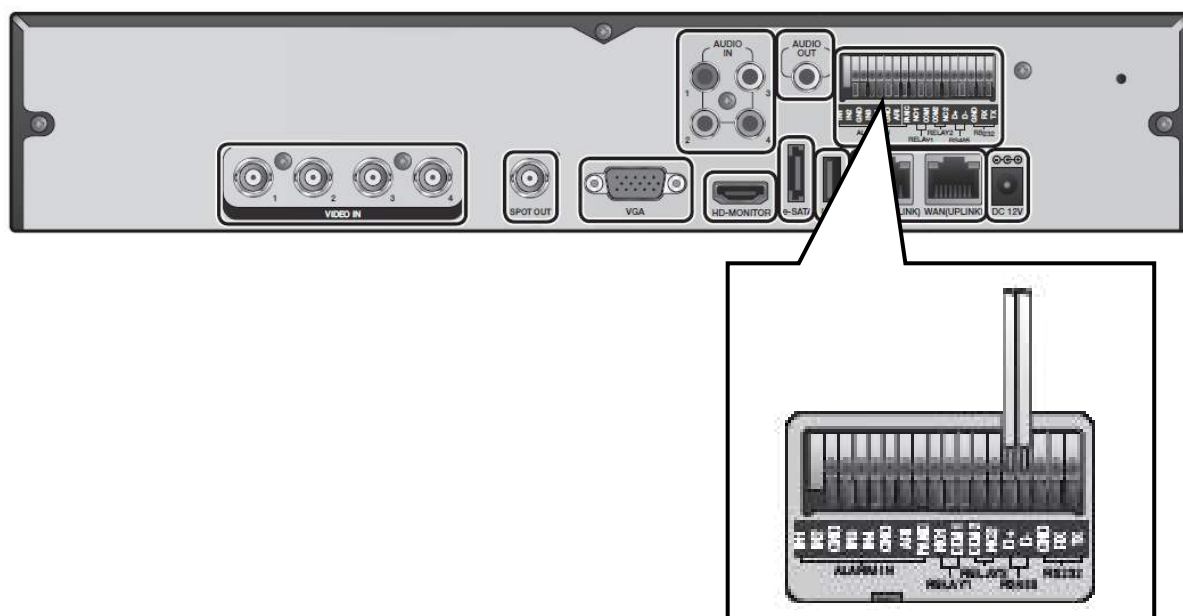
- **アラーム出力信号を接続するには・・・**
 1. アラーム出力機器の信号線の＋極を
本機背面の 〈 RELAY 〉ポートの 〈 N/O 〉端子に差し込みます。
※接続するアラーム出力機器の動作が N/O または N/C のどちらであっても、必ず 〈 N/O 〉端子に接続してください。
 2. アラーム信号線の－極を〈 COM 〉端子に差し込みます。
 3. 差し込み後、2本の線を引っ張り、抜けないことを確認します。
→アラーム出力の設定については、「 3.8.1 アラーム出力(3-52 ページ) 」をご覧ください。

1.5.4 RS-485 の接続

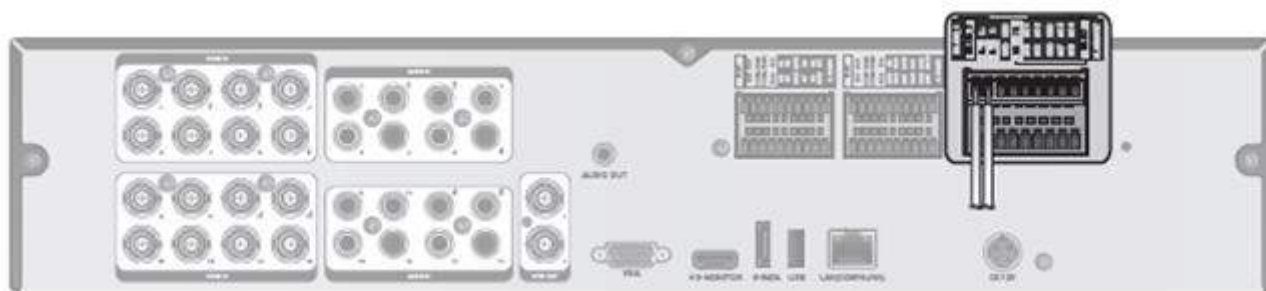
本製品に PTZ カメラの制御信号線を接続することができます。

※KB-AHR08B / KB-AHR16A には、付属の端子ブロックを装着してください。

【 KB-AHR04A の場合 】



【 KB-AHR08B / KB-AHR16B の場合 】



- RS-485 を接続するには・・・
 1. 本体背面の 〈 D+ 〉 に PTZ カメラの 〈 D+ 〉 を差し込みます。
 2. 本体背面の 〈 D- 〉 に PTZ カメラの 〈 D- 〉 を差し込みます。

→PTZ カメラの設定については、「3.1.6 PTZ 設定(3-11 ページ)」をご覧ください。

※RS-485 接続については、PTZ カメラのユーザーマニュアルをご覧ください。

1.5.5 RS-232 の接続

本製品では RS-232 端子は使用しません。

1.5.6 音声機器の接続

マイクなどの音声入力機器を背面の 〈 AUDIO IN 〉ポートに接続し、スピーカーなどの音声出力機器を 〈 AUDIO OUT 〉ポートに接続します。

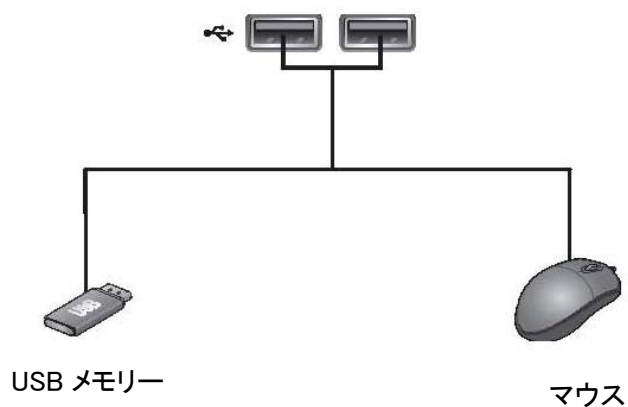


音声出力の設定については、「 2.6.2 音声出力 CH の選択 (2-9 ページ) 」または、「 3.3.1 音声 (3-24 ページ) 」をご覧ください。

1.5.7 USB デバイスの接続

本体前面の USB 端子に、付属のマウスや USB メモリーを接続します。

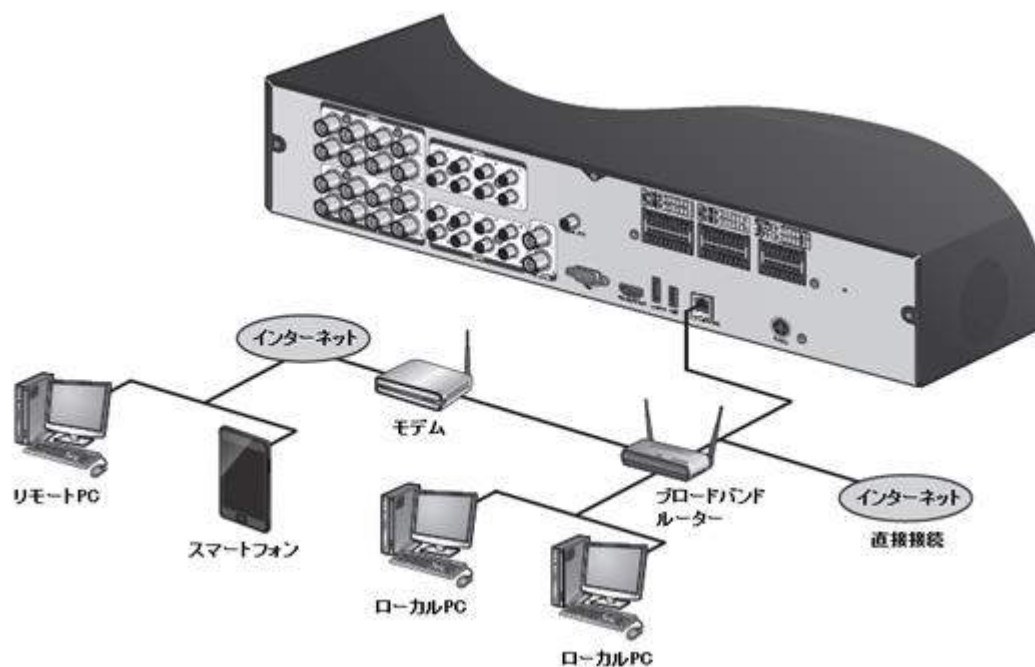
USB メモリーを接続すると、記録映像のバックアップやシステム設定の保存(読み込み)、ファームウェアのアップデートを行うことができます。



電力消費の多い外部ストレージを接続する場合は、そのストレージ用に個別の電源を使用することを推奨します。

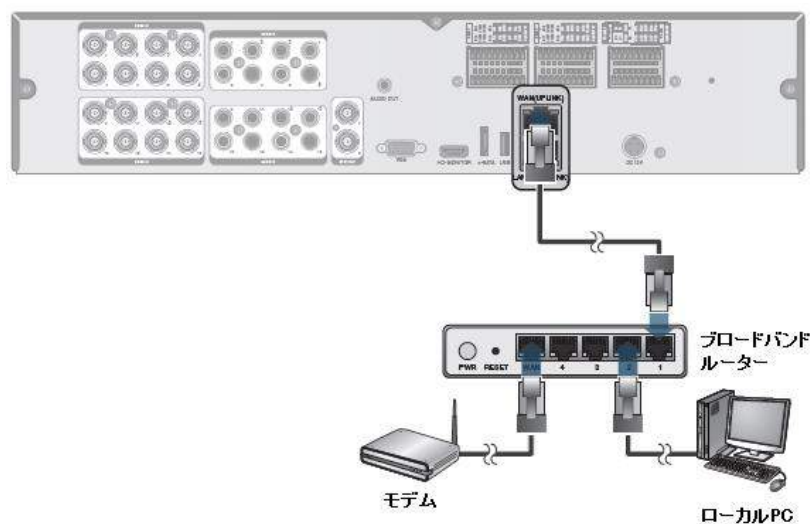
1.5.8 ネットワーク機器の接続

本製品をネットワークに接続し、PC またはスマートフォンから遠隔接続し、そのモニター上でレコーダーを制御または操作することができます。



- ネットワーク機器を接続するには・・・

1. 背面パネルの 〈 WAN (UPLINK) 〉ポートにルーターまたはハブを接続します。



2. ローカル PC をルーターまたはハブに接続します。

※ネットワーク設定については、「 3.5 ネットワーク(3-31 ページ) 」をご覧ください。

1.6 本機の起動

以下の手順で、本機を起動できます。

1. 本機背面に電源ケーブルを差し込みます。
接続については、「 1.5.2 電源の接続(1-10 ページ) 」をご覧ください。
2. ビープ音が鳴り、前面の LED が点灯します。
数秒後にロゴ画面が表示されます。



3. 起動プロセスが完了すると、ログイン画面が表示されます。
ユーザーを選択し、キーボードの文字をクリックしてパスワードを入力します。



※初期設定では、以下のようになっています。

- ユーザーID : ADMIN
- パスワード : 1234

不正アクセス防止のため、所期設定は
変更されることを推奨します。

→設定変更については、「 3.4 ユーザー(3-27 ページ) 」
をご覧ください。

4. 〈 OK 〉をクリックします。
パスワードが正しく入力されている場合、ライブ画面が表示されます

1.7 ログアウト・シャットダウン

以下の手順で本機のログアウトまたはシャットダウンができます。

1.7.1 ログアウト

不正アクセスを防止するため、画面から離れる場合はログアウトすることを推奨します。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



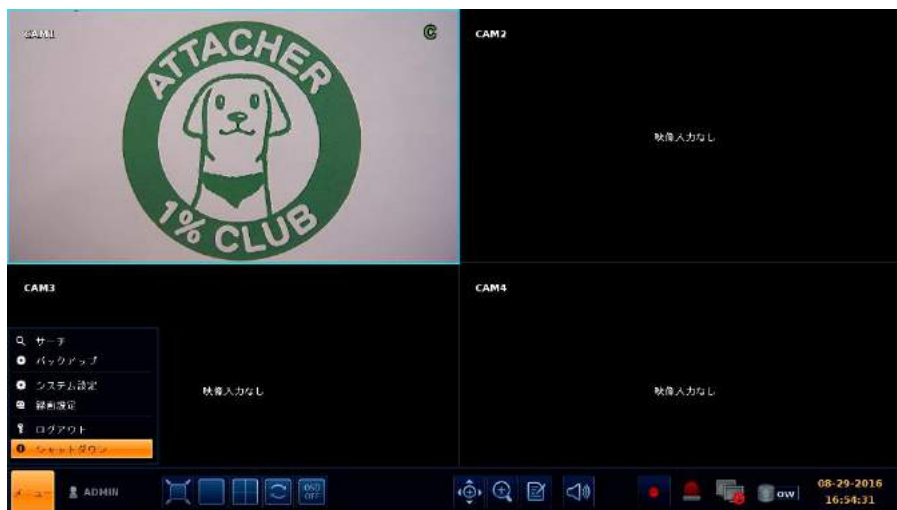
2. 画面左下の〈メニュー〉をクリックし、〈ログアウト〉をクリックするとログアウトします。
リモコン操作の場合は、〈LOGOUT〉ボタンを押すとログアウトします。



1.7.2 シャットダウン

本機の電源を切る場合は、以下の手順でシャットダウンを行ってください。

1. ライブ画面にて、画面下部にカーソルを移動させ、ステータスバーを表示します。



2. 画面左下の〈メニュー〉をクリックし、〈シャットダウン〉をクリックします。
リモコン操作の場合は、〈電源〉ボタンを押します。
3. キーボードの文字をクリックし、パスワードを入力します。



4. 本機からピープ音がなったら、本機から AC アダプターを取り外します。



注意

シャットダウンは必ず上記の方法で行ってください。

システム動作中に電源コードを抜くなどの正常ではない方法で電源を切ると、データ消失やディスクの寿命短縮につながる恐れがあります。

2章 ライブ監視

本機を起動すると、ライブ画面（現在のカメラ映像を閲覧する画面）が表示されます。
設定や検索などの項目は、ライブ画面から選択して操作します。

2.1 ライブ画面について

接続されているカメラのライブ映像を見ることができます。
画面の下端のタスクバー操作に必要なアイコンや動作状態などが表示されます。

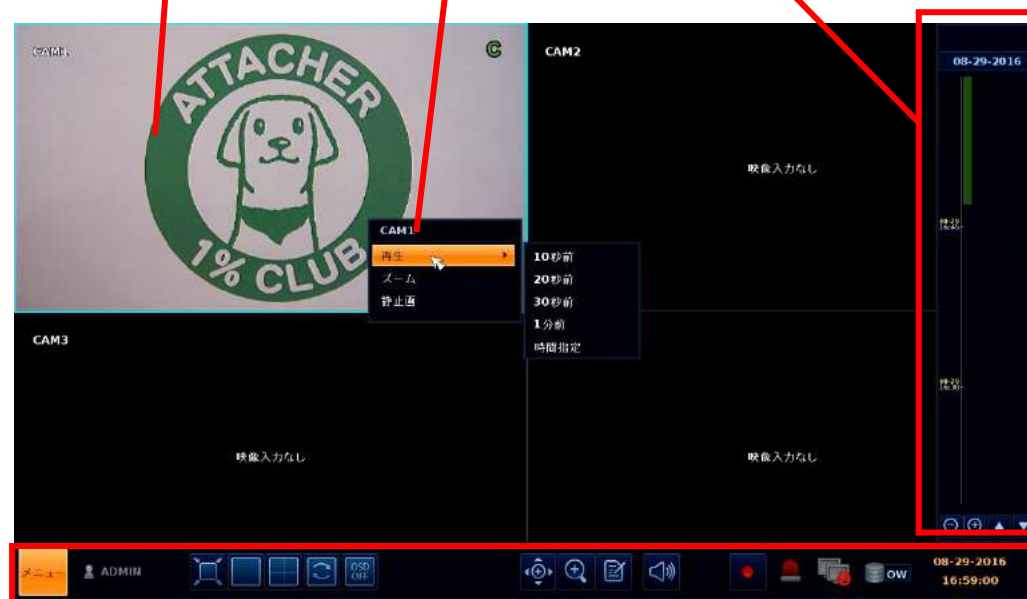
クイックメニュー

→詳細は、「2.3 クイックメニュー（2-5 ページ）」をご覧ください。

タイムライン

→詳細は、「2.2 タイムライン（2-4 ページ）」をご覧ください。

映像ウィンドウ



ステータスバー

→詳細は、「2.1 ライブ画面について（2-2 ページ）」をご覧ください。

画面表示アイコン

カメラID	カメラIDを表します。	CAM1
録画モード アイコン	イベント録画の待機中に表示されます。	
	連続録画の状態を表示します。	C
	アラーム発生時の録画状態を表示します。	A
	モーションイベント発生時の録画状態を表示します。	M
	手動録画(パニック録画)の状態を表示します。	P
状態表示アイコン	MOTION(動き)検知中に表示します。	

ステータスバーアイコン

メニュー	アクセスするには、システム設定、サーチ、バックアップのいずれかのメニュー項目を選択します。	
ユーザーID	現在ログインしているユーザーのIDを表します。	 ADMIN
画面制御	状態バーとタイムラインの両方が常時表示されるように画面レイアウトを変更します。	
	分割モードを選択します。	
	自動切換または特殊分割モードを選択します。	

ステータスバーアイコン

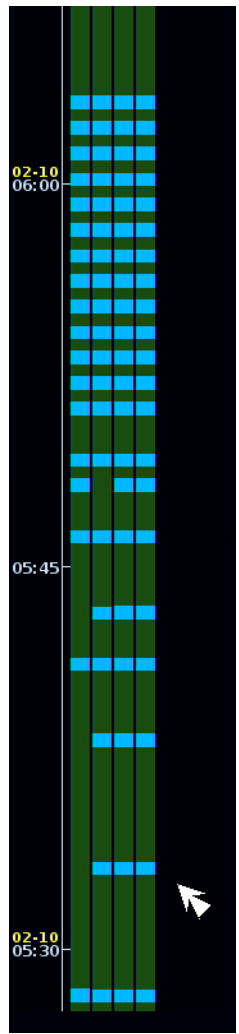
画面制御	画面にOSDメニューを表示または非表示にします。	
PTZ	PTZ画面に移動します。 PTZカメラのコントロールを行うことができます。 → 詳細は、「3.1.6 PTZ設定(3-11ページ)」をご覧ください。	
ズーム	デジタルズームに移動します。	
ログ	最新の録画イベントのログリストを表示します。	
オーディオチャンネル選択ボタン	オーディオ入力をサポートするカメラを使用して音声を聞くことができます。	
手動録画	手動(パニック)録画を開始します。 クリックすることで、緊急録画の開始/終了を切り替えることができます。	
アラームインジケータ	イベントが発生すると通知されます。 クリックすると発生したイベント情報を確認できます。	
ネットワーク接続状況	外部PCまたはモバイル端末によるネットワーク接続が行われているかを確認します。 クリックするとネットワーク接続状況を確認することができます。	
ディスク容量	ディスク容量の情報を表示します。 上書き中は「OW」と表示されます。 クリックするとディスク状態の詳細を表示します。	
日時表示	現在の日付と時刻が表示されます。	

2.2 タイムライン

画面の右側にマウスカーソルを移動すると、タイムラインが表示されます。

タイムラインでは、簡易的に記録映像の検索やバックアップを行うことができます。

タイムラインアイコン

タイムライン日付	現在のタイムラインの日付を表示します。 クリックするとカレンダーが表示され、タイムラインの日付を選択できます。	2015-02-10
タイムラインバー	録画データを時間で表示します。 録画モードごとに色分けされて表示されます。 緑: 連続録画 / 赤: アラーム録画 青: モーション録画 / 黄: 手動(パニック)録画 ・ タイムラインをダブルクリックすると、その時刻の再生画面に移動します。 ・ タイムライン上でドラッグ&ドロップで範囲を選択して右クリックすると、メニューが表示されます。  <u>サーチ(イベントサーチ)</u> : 選択された範囲の中で、イベントサーチを行います。 <u>書出し</u> : 選択範囲の映像をバックアップします。 <u>リザーブデータ</u> : 選択範囲の映像をリザーブデータに追加します	
タイムラインの拡大/縮小	タイムラインをズームイン/ズームアウトします。	
タイムライン上下	タイムラインを上下にスクロールします。 マウスホイールでも同様の操作が可能です。	

2.3 クイックメニュー

ライブ画面の各 CH の上でマウスを右クリックすると、クイックメニューが表示されます。
クイックメニューより、各 CH のデジタルズームや静止画を取得することができます。



クイックメニューの項目

CH番号	現在のチャンネルの番号が表示されます。
再生	時刻を選択し、その時点からの映像を再生します。
ズーム	選択したチャンネルのデジタルズーム画面に移動します。 → 詳細は、「 2.5 デジタルズーム(2-7ページ) 」をご覧ください。
静止画	ライブ映像のスナップショットをUSBメモリー等に保存します。 → 詳細は、「 スナップショットの保存(4-10ページ) 」をご覧ください。

2.4 画面表示切り替え

画面分割モードの切り替えや、シーケンス表示の設定を行うことができます。

2.4.1 画面分割モードの選択

ステータス画面のアイコンからそれぞれの分割モードをクリックすると、画面表示が切り替わります。

リモコン操作の場合は、〈 DISPLAY 〉ボタンを押します。

※ 押す度に、分割表示と単画面表示が切り替わります。



- KB-AHR04A は、1 画面または 4 分割画面が選択できます。
- KB-AHR08B は、1 画面または 4 / 9 分割画面が選択できます。
- KB-AHR16A は、1 画面または 4 / 9 / 16 分割画面が選択できます。

2.4.2 シーケンス表示

ステータス画面のアイコンから〈 自動切り替え 〉をクリックすると、シーケンス表示モードになります。

リモコン操作の場合は、〈 SEQ 〉ボタンを押します。

※押す度に、シーケンス表示機能を ON / OFF します。



シーケンスパターンの設定方法については、「 3.2.4 シーケンス(3-19 ページ) 」をご覧ください。

2.5 デジタルズーム

ライブ画面にて、拡大表示したい箇所のデジタルズームを行うことができます。

1. ライブ画面にて、以下のいずれかの手順でデジタルズーム画面に移行します。

- ステータスバーよりズームアイコン  をクリックします。
- 各 CH 上で右クリックし、〈 ズーム 〉をクリックします。
- リモコン操作の場合は、〈 ZOOM 〉ボタンを押します。

※デジタルズーム画面に移行します。



全体画面

黄色の枠をドラッグ&ドロップすることで、表示箇所を移動できます。

マウスホイールのスクロールで、ズームイン / ズームアウトを行います。

2. デジタルズーム画面では、以下のように操作を行います。

	デジタルズームを行うCHを選択します。 リモコンの場合 … 各CHボタン
	ズームアウトを行います。 リモコンの場合 … 巻戻しボタン
	ズームインを行います。 リモコンの場合 … 早送りボタン
	ライブ画面に戻ります。 リモコンの場合 … 〈 EXIT 〉ボタン

2.6 その他のライブ機能

その他、さまざまな機能をライブ画面のステータスバーより操作できます。

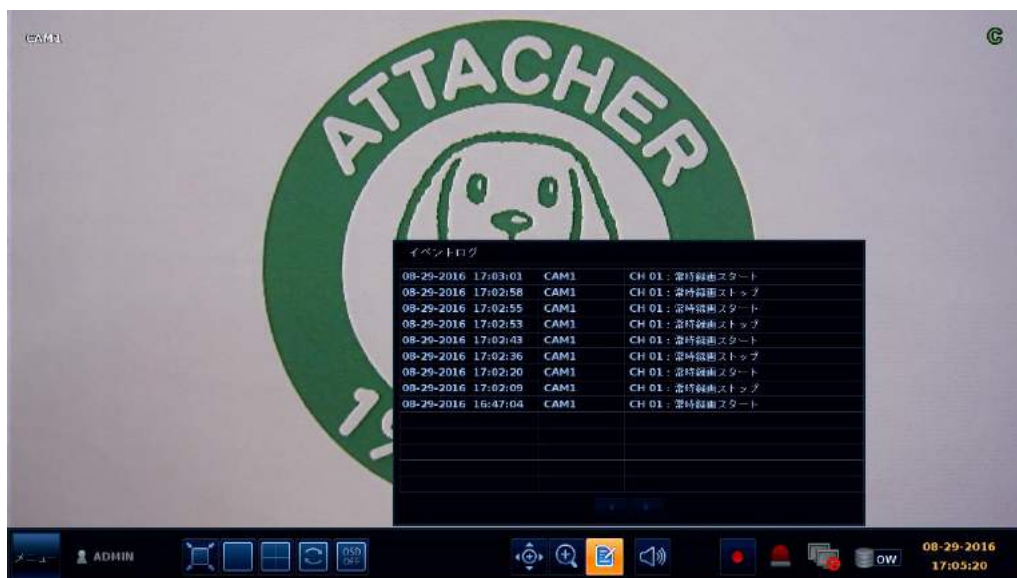
2.6.1 イベントログ表示

以下の手順で、発生したイベントのログを確認することができます。



1. ステータスバーのイベントログアイコン  をクリックし、イベントログウィンドウを表示します。
リモコン操作の場合は、〈 LOG 〉ボタンを押します。

2. ログの項目をダブルクリックすると、映像が再生されます。



2.6.2 音声出力 CH の選択

ライブ画面にて、どのカメラの音声を再生するかを選択します。

ステータスバーより音声アイコン  をクリックし、対象の CH を選択します。



再度アイコンをクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.3 アラーム状態の確認

発生したイベント情報を確認することができます。

ステータスバーより、アラームアイコン  をクリックすると、アラームステータスが表示されます。
イベント発生中の CH は、赤色で表示されます。



〈 OK 〉をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.4 ネットワーク状態の表示

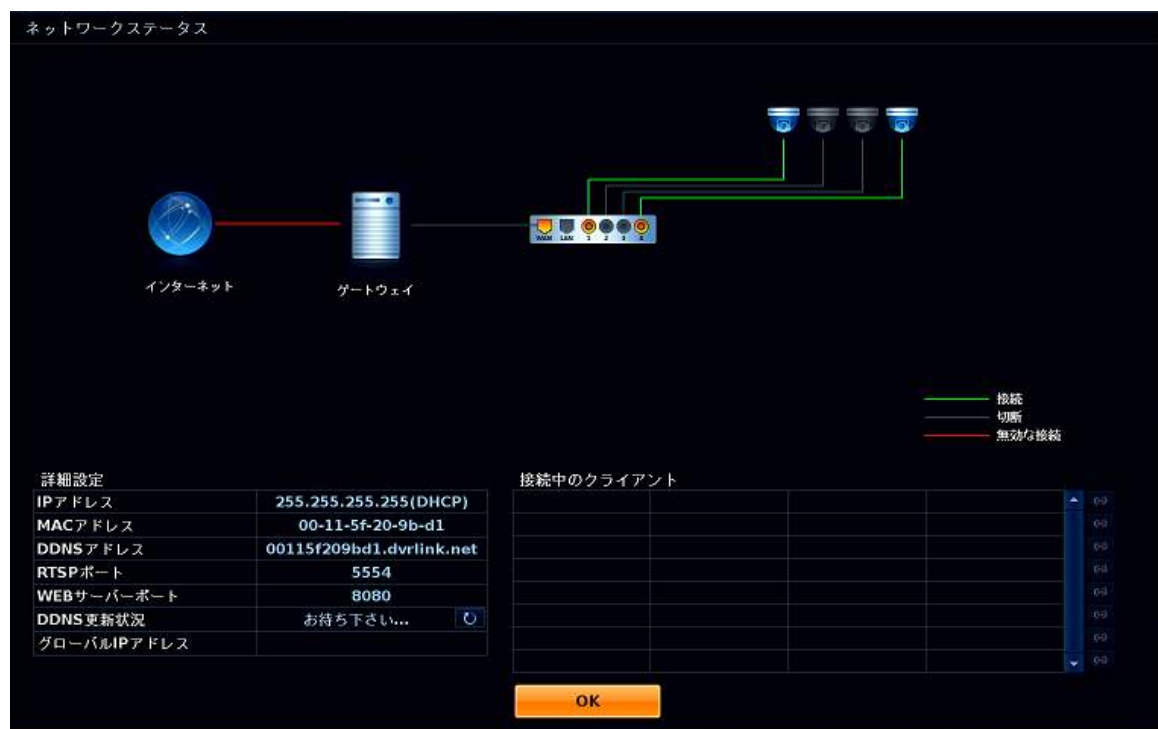
機器のネットワーク接続状態を確認することができます。

ステータスバーよりネットワークステータスアイコン



をクリックすると、ネットワークステータスが

表示されます。



〈 OK 〉をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

2.6.5 ディスク状態の表示

現在のストレージ容量などを確認することができます。

ステータスバーより HDD ステータスアイコン



をクリックすると、HDD ステータスが

表示されます。

HDD ステータス							
内蔵ディスク				外部記憶装置			
	開始時刻		終了時刻		状況	容量	モデル
すべて	06-16-2016	04:07:58	06-20-2016	03:29:26	-	-	-
ディスク1	06-16-2016	04:07:58	06-20-2016	03:29:26	使用中	1.8 TB	ST2000VM003-
ディスク2	-	-	-	-	-	-	-
ディスク3	-	-	-	-	-	-	-
ディスク4	-	-	-	-	-	-	-
ディスク5	-	-	-	-	-	-	-

OK

〈 OK 〉をクリックすると、ウィンドウを閉じます。

3章 各種設定

本機をお使いいただく上でのさまざまな設定を行います。

以下の手順で、システム設定画面に移行できます。

マウス



リモコン 1



リモコン 2



それぞれのメニューを選択します。



【 設定を終えるとき 】

設定値を保存するときは、画面下の〈 適用 〉を選択してください。

画面下のアイコン	内容
	クリックすると設定値を破棄し、変更前の状態に戻ります。
	クリックすると変更した設定値を更新し、保存します。
	クリックすると設定メニューを閉じてライブ画面に戻ります。

3.1 カメラ

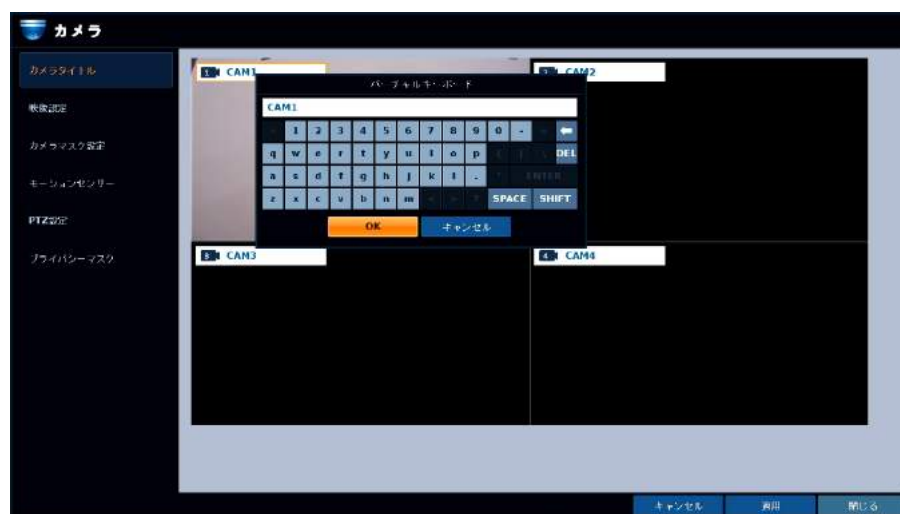
カメラのライブ機能などの設定を行います。

カメラごとの録画設定については、「 3.9 録画設定(3-71 ページ) 」をご覧ください。

3.1.1 カメラタイトル

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 カメラタイトル

ライブ画面にて、各 CH に表示するカメラタイトルを設定することができます。



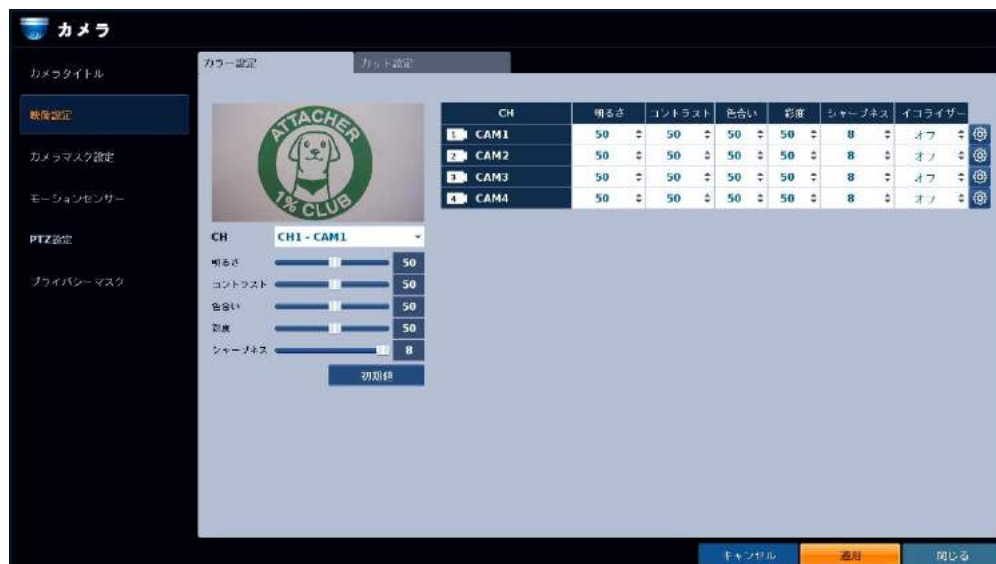
1. 各 CH 左上のカメラ名をダブルクリックします。
2. 表示されるキーボードでカメラタイトルを入力し、〈 OK 〉をクリックします。
3. 設定後は、画面右下の〈 適用 〉をクリックして、設定は完了です。

3.1.2 映像設定

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 映像設定

【 カラー設定 】

各 CH のカメラ映像の明るさ・コントラストなどの設定やレンズのフォーカス調整を行うことができます。



カラー設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
明るさ	映像の明るさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
コントラスト	画面のコントラストを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
色合い	画面の色相を調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
彩度	画面の鮮やかさを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 100)
シャープネス	画面のシャープネスを調節します。(設定範囲 : 0 ~ 8)
イコライザー	イコライザー機能の使用を選択します。(設定範囲 : ON / OFF)
プレビュー	クリックすると大きな画面で映像を表示しながらカラー調整ができます。
初期値	設定した数値を全て、初期値に戻します。(初期値 : 50)

【 カット設定 】

各 CH のカメラ映像の一部を切り出して表示・録画することができます。



カット設定メニューの項目

項目	説明
CH	設定を行うカメラ CH を選択します。
動作	画面切り出しの有効/無効を選択します。(オン / オフ) オフの場合、< ボックス色 >・< ボックス位置 >の設定はできません。
ボックス色	切り出し調整画面の枠色を選択します。
	上下左右の矢印をクリックし、切り出し画面の位置を調整します。
	クリックすると切り出す範囲が広がります。
	クリックすると切り出す範囲が狭くなります。

カット設定はアナログカメラが接続されている CH に対してのみ有効です。

AHD カメラが接続中の CH ではカット設定は使用できません。

3.1.3 カメラマスク設定

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 カメラマスク設定

各 CH のカメラ映像を特定のユーザーグループに対して非表示にすることができます。



カメラマスク設定メニューの項目

項目	説明
ADMIN	〈 オン 〉にした CH は、ADMIN グループのユーザーは映像を見ることはできません。
MANAGER	〈 オン 〉にした CH は、MANAGER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
USER	〈 オン 〉にした CH は、USER グループのユーザーは映像を見ることはできません。
ログアウト	〈 オン 〉にした CH は、本機がログアウト状態の時は映像を見ることはできません。
画面表示	マスク中の CH のライブ画面上での表記を設定します。 〈 表示なし 〉の場合は、「 表示なし 」と表示します。 〈 マスク 〉の場合は、「 マスク 」と表示します。

※ 各権限の欄をクリックすると、全ての CH を同じ設定にすることができます。

3.1.4 モーションセンサー

◆ メニュー › システム設定 › カメラ › モーションセンサー

各 CH のカメラ映像からモーション(動き)検知の設定ができます。



モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
有効	“オン” にすると、モーション検知が有効になります。
表示	“オン” にすると、モーション検知中にライブ画面上にアイコンを表示します。
感度	モーションを検知する感度を設定します。 ダブルクリックすると、感度設定画面が表示されます。 → 詳細は、「感度設定(3-9 ページ)」をご覧ください。
領域編集	モーション検知をおこなう領域を設定します。 クリックすると、領域編集画面が表示されます。 → 詳細は、「領域編集設定(3-10 ページ)」をご覧ください。

【 感度設定 】

デイ / ナイトそれぞれで、動きを検知する感度の設定ができます。

感度

CH 1. CAM1

デイ 09:00 ~ 18:00

感度

レベル

デイ 15

ナイト 15

OK キャンセル

感度設定メニューの項目

項目	説明
CH	感度設定を行うチャンネルを選択します。
デイ	昼間を定義する時間帯を設定します。 初期値は、「 9:00 ~ 18:00 」
感度 / レベル	デイ(昼間)とナイト(夜間)それぞれのモーション検知感度を設定します。 初期値は、「 デイ(昼間):15 / ナイト(夜間):15 」

※ 設定値を保存する場合は、メニュー画面の〈 OK 〉をクリックしてください。

【 領域編集設定 】

モーションを検知するエリアを自由に設定することができます。

1. 画面上でドラッグ&ドロップ操作して、モーション検知エリアを選択します。
2. 色付きブロックが、モーション検知が有効となるエリアです。
※ 動きを検知したエリアは、青色で表示します。
3. 画面上で右クリックするとメニューを表示します。



右クリックメニューの項目

項目	説明
CH	モーション領域設定をおこなうチャンネルを選択します。
全て選択	画面の全領域をモーション有効にします。
全て解除	画面の全領域をモーション無効にします。
感度	感度設定画面を表示します。 → 設定画面については、「感度設定(3-9 ページ)」をご覧ください。
保存	現在の領域設定を保存します。
保存して終了	現在の領域設定を保存し、前画面へ戻ります。
キャンセル	現在の領域設定を破棄し、前画面へ戻ります。

3.1.5 PTZ 設定

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ PTZ 設定

本機に RS-485 制御の PTZ カメラを接続した場合、以下の設定を行います。

※ PTZ カメラ側の設定値と同じになるように設定してください。



PTZ 設定メニューの項目

項目	説明
アドレス	PTZ カメラの ID を設定します。(0 ～ 255)
プロトコル	PTZ カメラのプロトコル(カメラモデル名)を選択します。
ボーレート	PTZ カメラのボーレート(通信速度)を選択します。 (2400/4800/9600/19200/38400/57600/115200)

3.1.6 プライバシーマスク

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 カメラ 〉 PTZ 設定

プライバシー保護のため、各 CH のカメラ映像の一部にマスク(目隠し)をかけることができます。

【 有効 】

各 CH にプライバシーマスク機能の ON / OFF を選択できます。



マスク設定メニューの項目

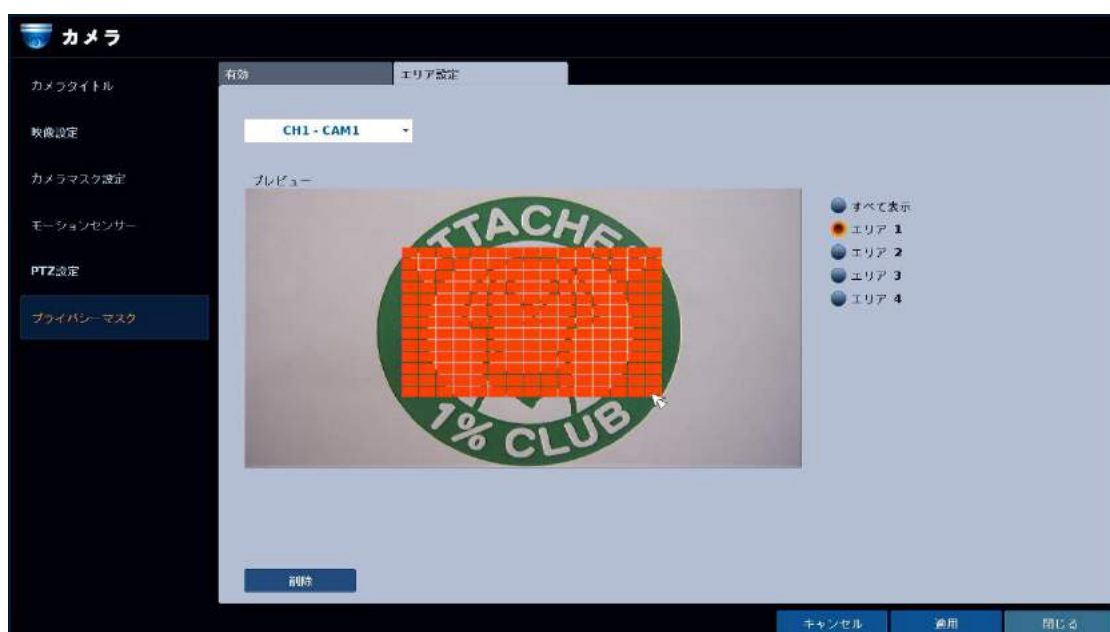
項目	説明
有効	プライバシーマスクの有効/無効を選択します。(オン/オフ)
マスク表示色	マスク部分として表示する色を選択します。 (黒 / 白 / ライトグレー / グレー / 黄 / 赤 / 青 / 緑)

〈 有効 〉・〈 マスク表示色 〉欄のプルダウンボタンをクリックすると、全ての CH に対して、1 度に設定できます。

【 エリア設定 】

各 CH のプライバシーマスクエリアを自由に設定することができます。

1. 設定を行うカメラ CH を選択します。
2. 画面右の〈 エリア 1 〉をクリックします。
※ 複数のエリアを設定する場合は、エリア 1 の設定後、〈 エリア 2 〉をクリックしてください。
3. プレビュー画面上で、ドラッグ＆ドロップ操作し、マスクエリアを指定します。
※ マスクエリアは、色つきブロックで表示します。



エリア設定メニューの項目

項目	説明
CH	エリア設定をおこなう CH を選択します。
すべて表示	設定したエリアをすべて表示します。
エリア 1～エリア 4	1～4 のいずれかを選択し、画面上で領域を指定します。
削除	設定した領域を削除します。

3.2 ディスプレイ

ライブ画面上でのカメラタイトルや、シーケンス表示パターンなどの設定を行います。

3.2.1 ディスプレイ

◆ メニュー › システム設定 › ディスプレイ › ディスプレイ

ライブ画面上でカメラタイトル表示やイベントアイコン表示の設定などができます。



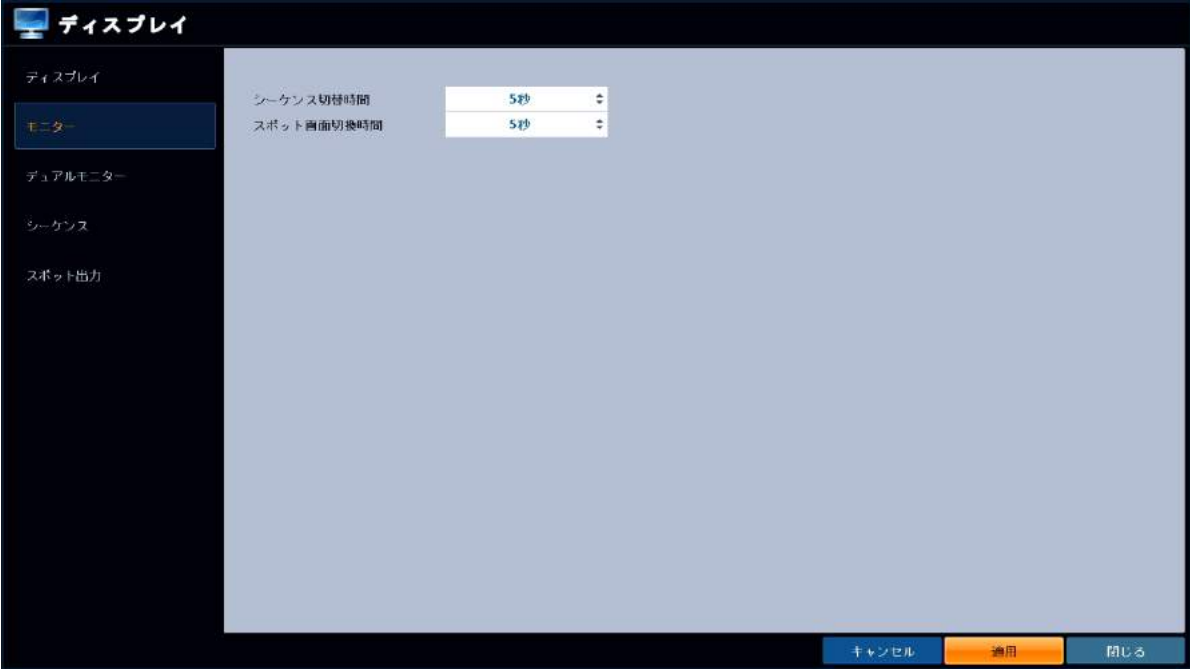
ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
カメラタイトル	カメラタイトルの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
イベントアイコン	イベントアイコンの表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
全画面表示時のステータスバー	ライブ画面でステータスバーを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/1 分)
全画面表示時のタイムライン	ライブ画面でタイムラインを表示させる時間を設定します。 (自動的に隠す/常にオン/ 常にオフ)
ズーム PIP	デジタルズーム画面の右下に表示されるウィンドウ表示を自動的に隠すか、常に表示するかを設定します。(常にオン/1 秒/3 秒/5 秒)
境界線	各 CH 間の境界線の表示(オン)/非表示(オフ)を選択します。
境界線の色	各 CH 間の境界線の色を選択します。(グレー/黄/青/緑/赤/白)
ユーザー名	ログイン中のユーザー名の表示の有効(オン)/無効(オフ)を選択します。
言語	システムの表示言語を選択します。

3.2.2 モニター

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 モニター

シーケンス表示の切り替え時間を設定することができます。



モニター設定メニューの項目

項目	説明
シーケンス切替時間	シーケンス表示の画面を切換えるインターバル(待機時間)を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒)
スポット画面切替時間	スポット出力の CH 切替時間(インターバル)を設定します。 (3 秒/5 秒/ 10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒)

3.2.3 デュアルモニター

◆ メニュー › システム設定 › ディスプレイ › デュアルモニター

メインモニターの複製やスポットモニター出力を設定することができます。



デュアルモニター設定メニューの項目

項目	説明
表示モード	ディスプレイ複製 : HDMI および VGA を同時出力時、どちらのモニターでも本機の操作を行うことができます。 メインモニター＋SPOT : HDMI および VGA を同時出力時、メインモニターと SPOT モニターをそれぞれ割り当てることができます。
画面タイプ	表示モードが「メインモニター＋SPOT」の場合に、メインまたは SPOT モニターの割り当てを行います。 SPOT を選択したモニター側では、「編集」をクリックし、SPOT 出力画面の編集を行えます。 → 詳細は、「 SPOT 画面表示(3-17 ページ) 」をご覧ください。 ※ディスプレイ複製の場合は、どちらもメインモニターで固定されます。
モニター解像度	モニターの解像度をそれぞれ設定します。 (1920 * 1080 / 1280 * 720 / 1280 * 1024)

※ 表示モードを変更した場合、本機を再起動する必要があります。

〈 適用 〉をクリック後、通知画面が表示されます。

通知画面が表示されたら、〈 OK 〉をクリックして、本機の再起動を行ってください。

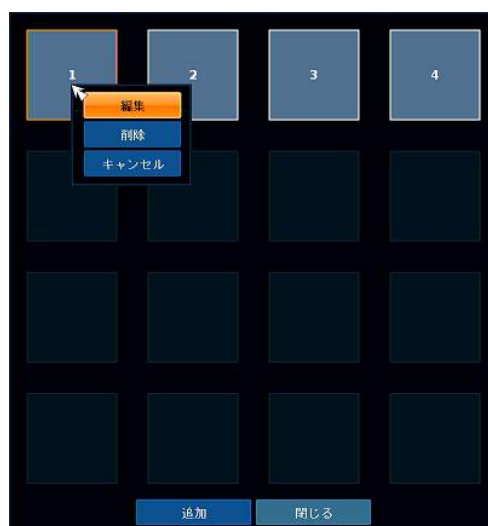
【 SPOT 画面編集 】

- ◆ 表示モードを〈 メインモニター + SPOT 〉にし、SPOT 側モニターの〈 編集 〉をクリックします。



以下の手順で SPOT モニターの画面編集を行います。

1. 画面タイプの〈 編集 〉をクリックすると、SPOT 表示一覧が表示されます。
2. 表示 CH 上で右クリックし、〈 編集 〉をクリックします。
〈 削除 〉をクリックすると、選択中の CH を削除できます。

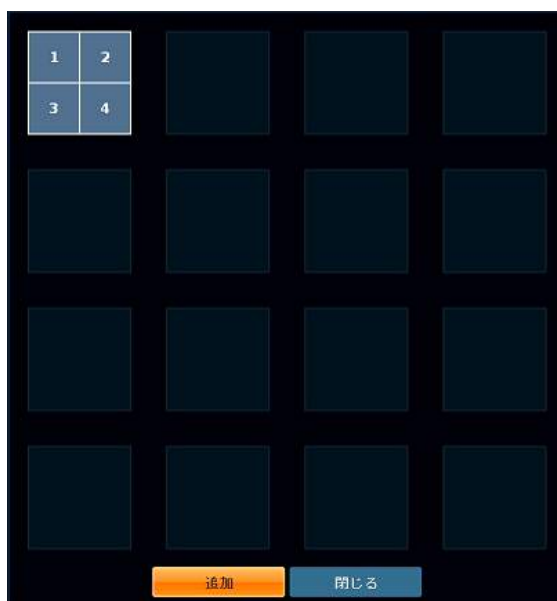


【 SPOT 画面編集 】

3. 〈ビューアーモード〉の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、〈画面配置〉の左右矢印をクリックしてCHのレイアウトを指定します。



4. 設定後、〈確認〉をクリックします。
SPOT 表示一覧が更新されているのを確認します。



5. 設定完了後は、〈閉じる〉をクリックします。

3.2.4 シーケンス

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 ディスプレイ 〉 シーケンス

画面自動切り替え(シーケンス表示)のパターンを設定することができます。

※ 初期設定では、各 CH を順番に 1 画面表示する(DEFAULT)が登録されています。

また DEFAULT は、削除することはできません。



シーケンス設定メニューの項目

項目	説明
有効	シーケンス表示機能の有効(オン) / 無効(オフ)を表示します。 有効にできるシーケンスパターンは 1 つのみです。 有効/無効の設定は、〈 編集 〉で行います。
リスト	シーケンスパターンを一覧で表示します。 パターン名の変更は、〈 編集 〉で行います。
編集	リストを追加する場合は、画面右下の〈 追加 〉をクリックしてください。 → 詳細は、「リストを追加するには(3-20 ページ)」をご覧ください。 シーケンスのレイアウトやリストに表示する名前の変更などを行います。 → 詳細は、「リストを追加するには(3-20 ページ)」をご覧ください。

【 リストを追加するには 】

以下の手順で、新しくシーケンスパターンを追加することができます。

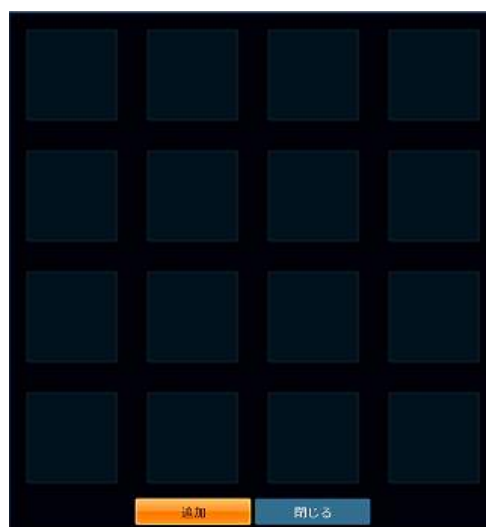
1. 画面右下の〈 追加 〉をクリックします。



2. 〈 シーケンス名 〉欄をダブルクリックし、リスト上に表示する名前を設定します。
また、追加したシーケンスを使用する場合は、〈 有効 〉欄を〈 オン 〉に設定します。
設定後は、〈 保存 〉をクリックします。



3. 〈 保存 〉をクリックすると、新しく表示レイアウト画面が表示されます。
レイアウト画面表示後、〈 追加 〉をクリックします。



【 リストを追加するには 】

4. < ビューアーモード >の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、< 画面配置 >の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定します。



5. < 確認 >をクリックします。
シーケンスリスト一覧に追加されているのを確認します。

有効	リスト	
☐	DEFAULT	編集
☒	test1	編集

- < 編集 >をクリックすると、編集画面が表示されます。
編集画面からシーケンスパターンの変更やリストからの削除を行うことができます。

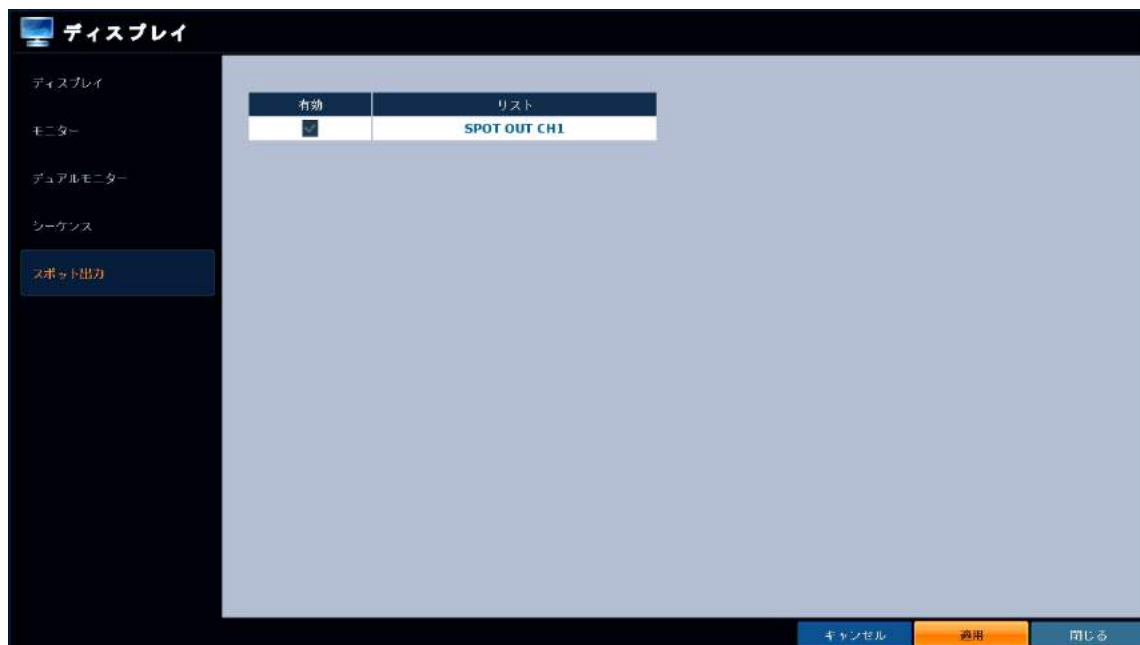


6. 上記 3～5 を操作してシーケンスパターンを作成します。
※登録した画面レイアウトを選択すると、その画面レイアウトの設定変更および削除ができます。
7. < 閉じる >を選択し、作成を終了します。

3.2.5 スポット出力

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ ディスプレイ ＞ スポット出力

スポット出力画面の表示パターンを設定することができます。



※当機種の SPOT 出力端子について

4・8CH モデルは、1 ポート / 16CH モデルは、2 ポート 搭載されています。

接続箇所については、「[外観\(1-4 ページ\)](#)」をご覧ください。

【 スポット出力を設定するには 】

以下の手順で、スポット出力先の画面表示を設定することができます。

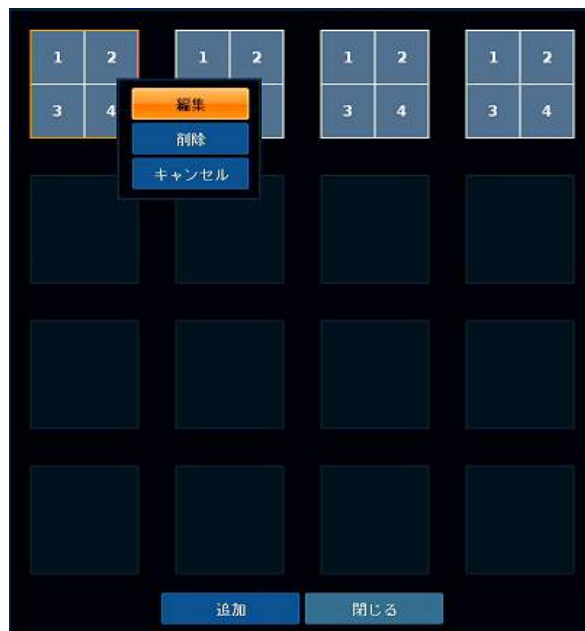
1. リスト欄をダブルクリックし、編集画面を表示します。



2. < スポット名 > 欄をダブルクリックすると、リストに表示する名前を変更します。
スポット出力機能を使用する場合は、< 有効 > 欄を< オン > に設定します。

【 スポット出力を設定するには 】

3. 〈 編集 〉をクリックすると、表示レイアウト画面が表示されます。
新しく表示タイルを追加する場合は、〈 追加 〉をクリックします。
すでに登録されている表示タイルを編集する場合は、表示タイルを右クリックし
〈 編集 〉をクリックします。



※ 表示タイルを削除する場合は、表示タイルを右クリックし、〈 削除 〉をクリックします。

4. 〈 ビューアーモード 〉の中から、表示する画面の分割モードを選択します。
分割画面の場合は、〈 画面配置 〉の左右の矢印をクリックして、CH のレイアウトを指定します。



5. 〈 確認 〉をクリックします。
上記 3～4 を繰り返して自動切り替えパターンを作成します。
- 〈 閉じる 〉をクリックして、作成を終了します。

3.3 音声

ライブ・ネットワーク音声やブザー音の設定を行います。

3.3.1 音声

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ 音声 ＞ 音声

ライブ音声やネットワーク音声双方向通信を設定することができます。



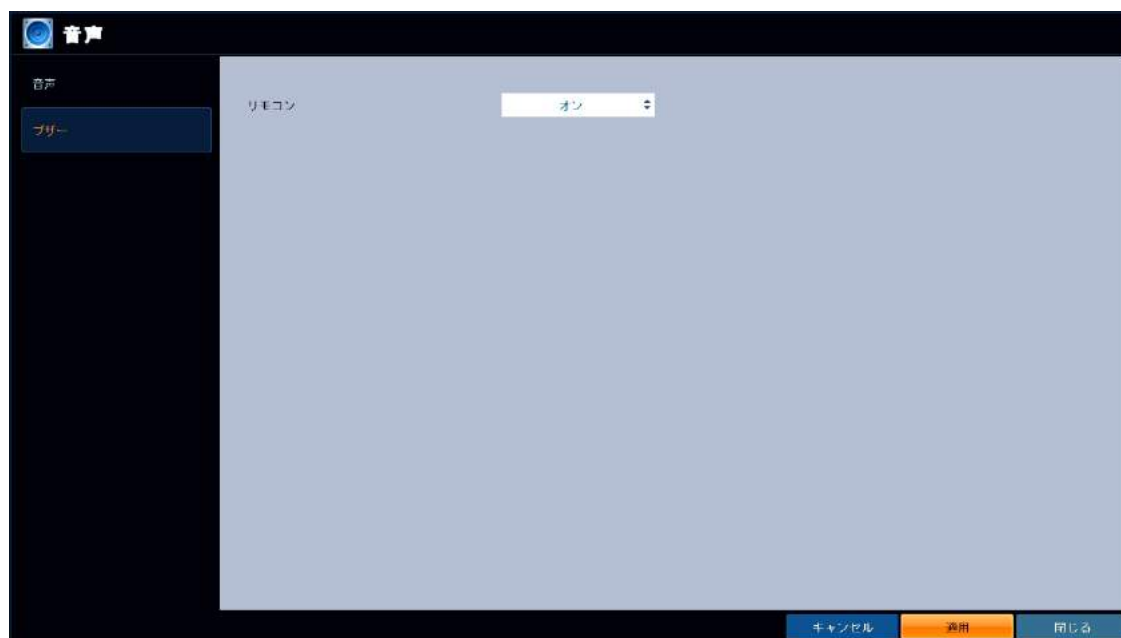
音声設定メニューの項目

項目	説明
音声出力タイプ	音声出力を RCA 端子から出力するか、HDMI ケーブルに重畳して出力するかを設定します。(RCA/HDMI)
初期ライブ音声 CH	ライブ画面で出力する音声の初期 CH を指定します。 (オフ/音声 1～16)
ネットワーク音声送信	遠隔監視時、クライアント PC への音声送信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。
ネットワーク音声受信	遠隔監視時、クライアント PC からの音声受信の有効(オン)/無効(オフ)を設定します。

3.3.2 ブザー

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 音声 〉 ブザー

リモコン操作時の確認音を設定することができます。



ブザー設定メニューの項目

項目	説明
リモコン	リモコン操作時にブザー音を鳴らす(オン)または、鳴らさない(オフ)を選択します。

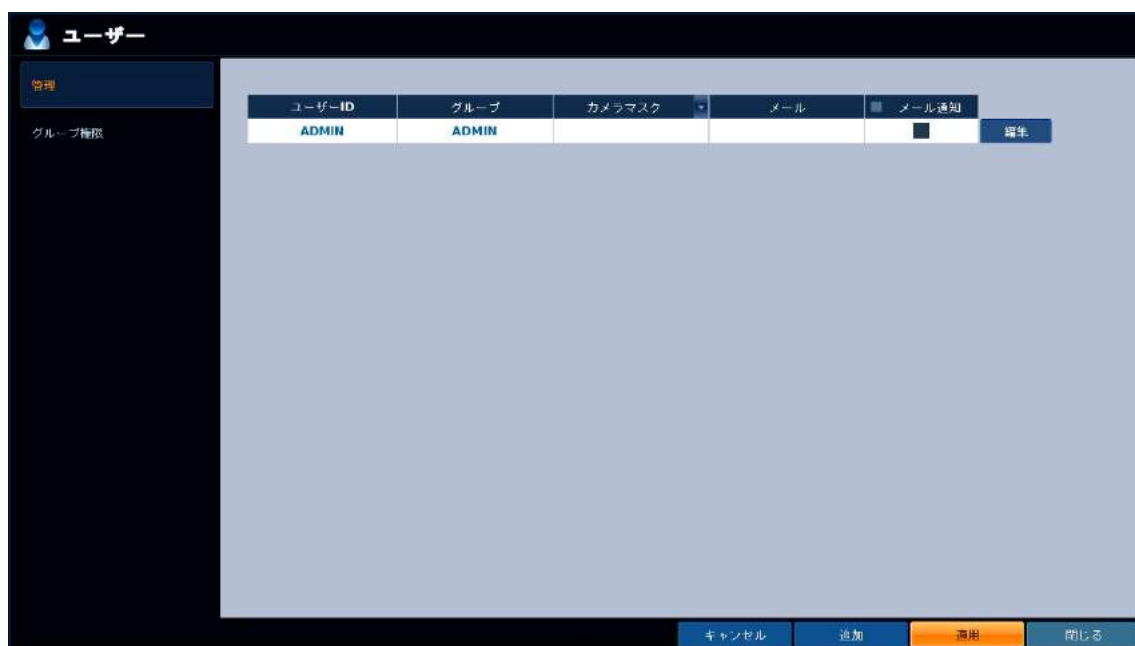
3.4 ユーザー

ユーザーカウントの追加やパスワードの設定を行います。

3.4.1 管理

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ ユーザー ＞ 管理

ユーザーカウントを新規登録や既存のアカウント情報を編集することができます。



管理設定メニューの項目

項目	説明
ユーザーID	ユーザー名を表示します。
グループ	ユーザーの権限 (ADMIN / MANAGER / USER) を表示します。 ADMIN : 全操作が可能です。 MANAGER / USER : <u>3.4.4 グループ権限</u> で許可された項目のみ操作できます。
カメラマスク	カメラマスクを設定した CH が表示されます。
メール	入力したメールアドレスを表示します。
メール通知	メール送信が有効な場合、チェックが入ります。
編集	上記項目を編集することができます。 → 詳細は、「 <u>アカウント編集 (3-28 ページ)</u> 」をご覧ください。
追加	新規アカウントを登録します。 → 詳細は、「 <u>アカウント追加 (3-29 ページ)</u> 」をご覧ください。

【 アカウント編集 】

The screenshot shows a dark-themed 'Edit' (編集) window. It contains the following elements:

- ユーザーID**: A button labeled 'ADMIN'.
- パスワード**: A text input field with masked characters '****'.
- グループ**: A button labeled 'ADMIN'.
- メール**: A text input field.
- メール通知**: A dropdown menu currently set to 'オフ' (Off).
- カメラマスク**: A section with a 'すべて' (All) button and four individual channel buttons labeled '1', '2', '3', and '4', all of which are currently selected.
- At the bottom are two buttons: 'OK' (orange) and 'キャンセル' (Cancel, blue).

編集設定メニューの項目

項目	説明
ユーザーID	選択したユーザーID を表示します。 ダブルクリックすると、ユーザーID を変更することができます。 ※〈 ユーザーID:ADMIN 〉ユーザーは変更することはできません。
パスワード	ダブルクリックすると、パスワードを変更することができます。
グループ	ダブルクリックすると、選択したユーザーのグループを変更することができます。 ※〈 ユーザーID:ADMIN 〉は、変更することはできません。
メール	メール通知機能を利用する場合は、メールアドレスを入力します。 ダブルクリックすると、メールアドレスを入力することができます。
メール通知	メール通知機能を利用する場合は、〈 オン 〉 利用しない場合は、〈 オフ 〉を選択します。
カメラマスク	カメラマスク機能を有効にするチャンネルを選択します。 〈 すべて 〉を選択した場合、全チャンネルにマスクをかけます。

【 アカウント追加 】



以下の手順で新規アカウントを設定し追加することができます。

1. 画面右下の〈 追加 〉をクリックします。
2. 〈 ユーザーID 〉および〈 パスワード 〉欄をダブルクリックし、任意に値を入力します。

※パスワードを設定する際、新しく設定するパスワードを入力後、確認用の欄にも同様の値を入力します。入力後は、〈 適用 〉をクリックします。



3. 〈 グループ 〉欄をダブルクリックし、ADMIN / MANAGER / USER から選択します。
それぞれの権限については、グループ権限で設定を行います。
4. メール通知機能を利用する場合は、〈 メール 〉欄をダブルクリックし送信先のアドレスを入力します。
〈 メール通知 〉欄を〈 オン 〉にします。
5. カメラマスク機能を使用する場合は、マスクをかけるチャンネル番号にチェックを入れます。
6. 設定完了後、〈 OK 〉をクリックします。

※ アカウントを削除する場合は、〈 削除 〉をクリックしてください。

※ ユーザーID:ADMIN は、削除することはできません。

3.4.2 グループ権限

◆ メニュー › システム設定 › ユーザー › グループ権限

3.4.1 管理 でく **MANAGER** ›またはく **USER** ›のグループで作成したアカウントの操作権限を設定することができます。



以下の項目の操作を制限することができます。

チェックを外した項目は、その権限では操作ができなくなります。

グループ権限設定メニューの項目

項目	説明
サーチ	過去映像の検索を行う権限です。
バックアップ	映像のバックアップを行う権限です。
システム設定	システム設定の変更を行う権限です。
録画設定	録画設定の変更を行う権限です。
イベント動作の制御	アラーム等のイベント発生時にアラーム出力やブザー制御を行う権限です。
音声出力	カメラの音声を聞く権限です。
リモートログイン	ネットワークから本機に遠隔接続を行う権限です。
シャットダウン	本機をシャットダウンする権限です。

3.5 ネットワーク

本機の IP アドレスやメールの設定を行います。

3.5.1 IP 設定

◆ メニュー › システム設定 › ネットワーク › IP 設定

本機のネットワークステータスを設定することができます。

The screenshot shows the 'IP 設定' (IP Settings) screen. On the left is a sidebar with options: 'IP 設定' (selected), 'DDNS', 'メール' (Email), and 'ネットワークステータス' (Network Status). The main area contains the following settings:

- DHCP**: A toggle switch set to 'オフ' (Off). A '更新' (Update) button is next to it.
- IPアドレス**: 192.168.0.111
- ゲートウェイ**: 192.168.0.1
- サブネットマスク**: 255.255.255.0
- DNSサーバー1**: 168.126.63.1
- DNSサーバー2**: 168.126.63.2
- 自動ポートアップデート**: オン (On)
- 自動ポートステータス**: ネットワーク接続がありません。 (No network connection). Buttons: 'ポート転送' (Port Forwarding) and 'ポート削除' (Delete Port).
- RTSPポート**: 5554. Buttons: 'ポート転送' (Port Forwarding) and 'ポート削除' (Delete Port).
- WEBサーバーポート**: 8080. Buttons: 'ポート転送' (Port Forwarding) and 'ポート削除' (Delete Port).
- ネットワーク帯域制限**: 制限なし (No Limit).

At the bottom right are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and '閉じる' (Close).

IP 設定メニューの項目

項目	説明
DHCP	チェックを入れると、利用可能な IP アドレスを自動取得します。 チェックを入れてない場合は、〈 更新 〉はクリックすることはできません。
IP アドレス	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに IP アドレスを入力します。
ゲートウェイ	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにゲートウェイを入力します。
サブネットマスク	固定 IP アドレスを使用する際は、ここにサブネットマスクを入力します。
DNS サーバー1	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに優先 DNS サーバーを入力します。
DNS サーバー2	固定 IP アドレスを使用する際は、ここに代替 DNS サーバーを入力します。
自動ポートアップデート	使用しません。
自動ポートステータス	使用しません。

RTSP ポート	ネットワークストリーミングに使用するポート番号を指定します。 (1024～9999)
WEB サーバーポート	WEB ブラウザおよび同梱のクライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポート番号を指定します。(80 または 1024～9999)
ネットワーク送信速度	ネットワーク接続時の最大速度を設定します。 (制限なし/256Kbps/512Kbps/1Mbps/2 Mbps/4 Mbps/8 Mbps/ 16 Mbps/32 Mbps)

3.5.2 DDNS

◆ メニュー › システム設定 › ネットワーク › DDNS

当社指定の DDNS サーバーを使用して、本機の IP アドレスを任意のドメイン名に変換することができます。



DDNS 設定メニューの項目

項目	説明
DDNS	DDNS を利用する場合は「オン」に設定します。
DDNS サーバー	使用する DDNS サーバーが表示されます。 <u>※「dvrlink.net」以外は使用できません。</u> (当社指定のサーバーを使用します。)
レコーダー名	DDNS のドメイン名を入力します。 ※ 初期値は本機の MAC アドレスが入力されています。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 登録テスト」をクリックして下さい。</u> <u>サーバーにホスト名が登録完了すると、「成功」と表示されます。</u>
ユーザー名	使用しません。
パスワード	使用しません。
DVR 接続アドレス	本機のドメイン名が表示されます。 外部からの接続時、IP アドレスがこのドメイン名となります。 <u>DDNS を利用する場合は、入力後に必ず「DDNS 接続テスト」をクリックして下さい。</u>

【 DDNS を利用した遠隔からの接続 】

※例として「レコーダー名」を「kbdevice」と設定した場合、本機の IP アドレスは、「kbdevice.dvrlink.net」に変換されます。

この場合、Internet Explorer でアクセスする時の URL は、<http://kbdevice.dvrlink.net:8080/>となります。
(初期ポート番号が 8080 の場合)

※ DDNS サービスのご利用について(免責事項)

DDNS サービスのご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

- ・DDNS サービスのご利用はお客様のもとでご利用ください。
- ・DDNS サービスを利用することにより発生した損害、または第 3 者に対して損害を与えた場合について当社は一切の責任を負わないものとし、損害賠償する義務はないものとします。

3.5.3 メール

◆ メニュー › システム設定 › ネットワーク › メール

イベント発生時に送信するメールを設定することができます。

イベントごとにメールの送信を行うかどうかは、3.8 イベント で設定することができます。

The screenshot shows the 'メール' (Email) configuration page. On the left is a sidebar with a dark blue header '@ ネットワーク' and menu items: 'IP設定', 'DNS', 'メール' (highlighted), and 'ネットワークステータス'. The main area has a light blue background and contains the following settings:

- サーバー: Input field
- ポート: Input field with '25' entered
- ネットワークセキュリティ: Dropdown menu with 'オフ' (Off) selected
- ユーザー: Input field
- パスワード: Input field
- テストメールアドレス: Input field
- テスト: Blue button

At the bottom right are three buttons: 'キャンセル' (Cancel), '適用' (Apply), and '閉じる' (Close).

メール設定メニューの項目

項目	説明
サーバー	メール送信に使用するメールサーバーを入力します。
ポート	メール送信に使用するポート番号を入力します。
ネットワークセキュリティ	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、「オン」に設定します。
ユーザー	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、ユーザーを入力します。
パスワード	使用するメールサーバーがパスワード認証を必要とする場合、パスワードを入力します。
テストメールアドレス	テストメール用の送信先アドレスを入力します。
テスト	「テスト」をクリックすると、上記アドレスにテストメールが送信されます。

3.5.4 ネットワークステータス

◆ メニュー › システム設定 › ネットワーク › ネットワークステータス

本機を含め、ネットワークの接続状況を確認することができます。



ネットワークステータスの項目

項目	説明
IP アドレス	本機のローカル IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	本機の RTSP ポートを 表示されます。
WEB サーバーポート	本機の WEB サーバーポートが表示されます。
DDNS 更新状況	DDNS 更新の状況が表示されます。
グローバル IP アドレス	本機のグローバル(WAN 側)IP アドレスが表示されます。

3.6 システム

本機の日時設定やリモコン設定などシステム情報の確認を行います。

3.6.1 日付/時刻

◆ メニュー › システム設定 › システム › 日付/時刻

本機の日時設定や NTP サーバーの登録を行うことができます。

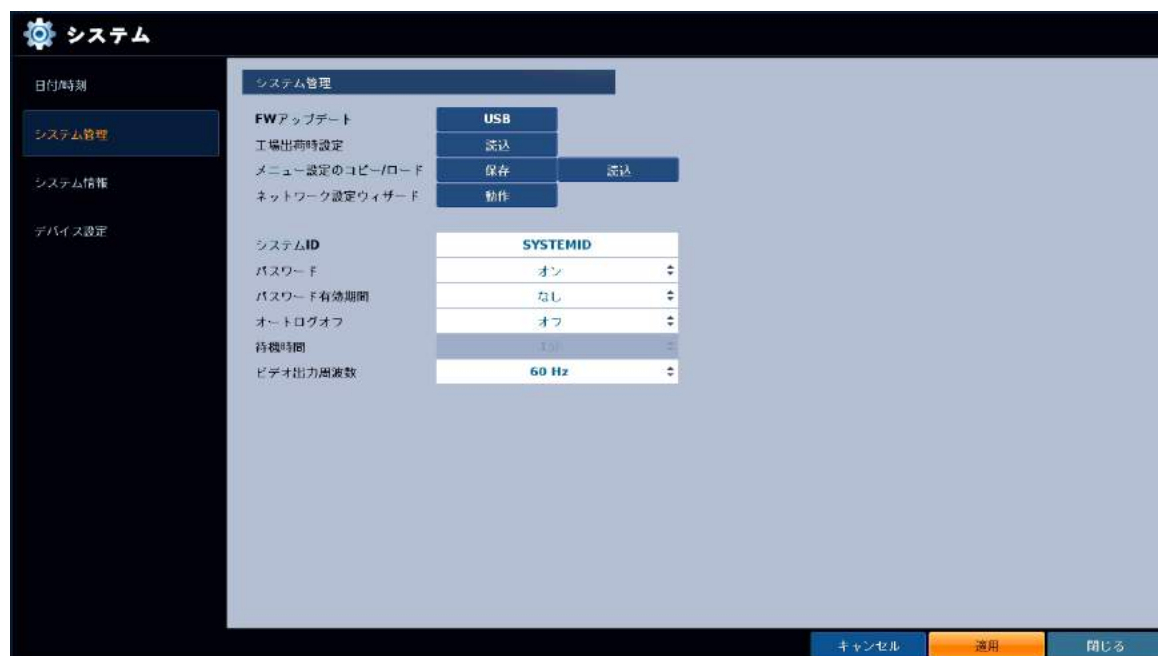
日付/時刻設定メニューの項目

項目	説明
日付/時刻	 をクリックして、現在の日付・時刻を設定します。
日付表示形式	日付の表示形式を選択します。(月/日/年, 日/月/年, 年/月/日)
時刻表示形式	時刻の表示形式を選択します。(24 時間, AM/PM)
タイムサーバー	ネットワーク時刻同期 (NTP) を行うサーバーを入力します。  をクリックすると、その時点での時刻同期を行います。 ※ この機能を利用するには、NTP サーバーへの接続が必要です。
自動時刻同期	「オン」にすると、ネットワーク時刻同期 (NTP) を自動で行います。
同期時刻	時刻同期を行う時刻を設定します。
タイムゾーン	<u>「GMT+09:00 Asia/Tokyo」から変更しないでください。</u> ※ 変更されると、時刻ずれの原因となります。
サマータイム	「オフ」から変更しないでください。 ※ 変更されると、時刻ずれの原因となります。

3.6.2 システム管理

◆ メニュー › システム設定 › システム › システム管理

本機のファームウェアの更新や工場出荷状態に戻すことができます。



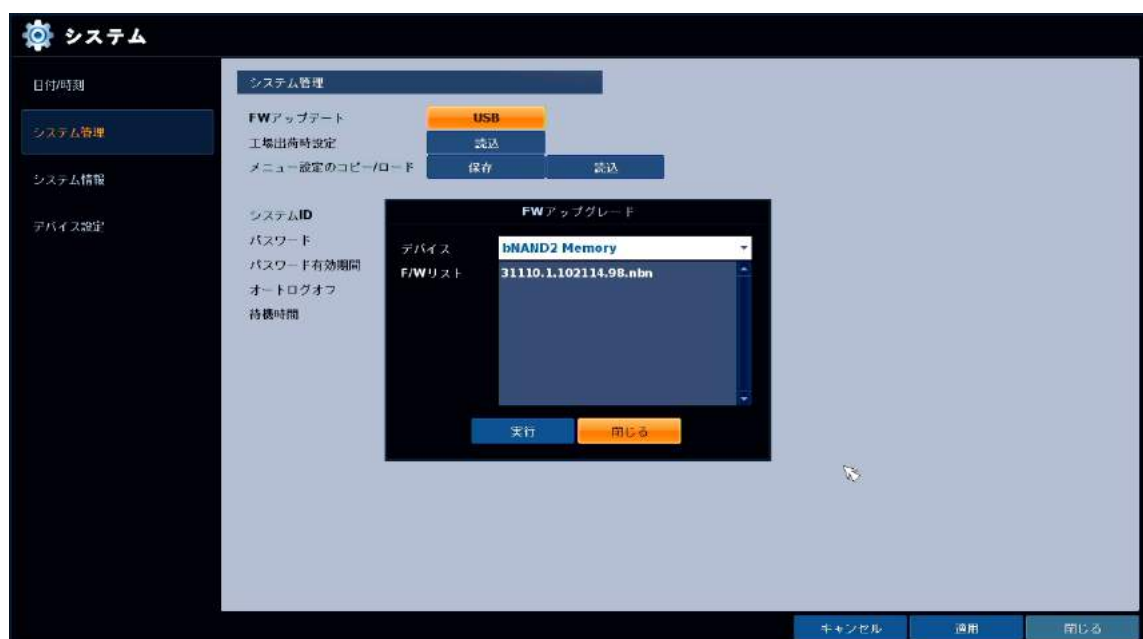
システム管理設定メニューの項目

項目	説明
FW アップデート	本機のファームウェアをアップグレードすることができます。 → 詳細は、「FW アップデートするには(3-39 ページ)」をご覧ください。
工場出荷時設定	本機の設定を工場出荷時の初期設定に戻すことができます。 <u>※ 実行すると、すべての設定が初期状態に戻ります。</u>
メニュー設定のコピー/ ロード	〈 コピー 〉をクリックすると、設定内容を USB メモリーに バックアップすることができます。 〈 読み込み 〉をクリックすると、USB メモリーに保存したシステム設定内容を 読み込みます。
ネットワーク設定 ウィザード	本機のネットワーク設定を確認または、変更することができます。
システム ID	本機の名称を入力することができます。
パスワード	検索画面や設定画面に入る際、パスワード入力を求める(オン)または 求めない(オフ)を選択することができます。 <u>※ 安全に運用するために、必ず オン に設定してください。</u>
パスワードの有効期間	設定すると、一定期間が経過したときにパスワードの変更を求められます。 (なし / 1ヶ月 / 2ヶ月 / 4ヶ月 / 6ヶ月)

項目	説明
オートログオフ 待機時間	オン にすると、一定期間が経過したときにユーザーがログアウトされます。 オートログオフを行うまでの時間を設定します。 (1 分 / 2 分 / 3 分 / 5 分 / 10 分)
ビデオ出力周波数	映像形式を設定することができます。 設定を変更すると、本機は自動的に再起動を行います。 (50Hz / 60Hz)

【 FW アップデートをするには 】

〈 FW アップデート 〉欄の〈 USB 〉をクリックすると、以下の画面が表示されます。



以下の手順で本機の FW アップデートを行います。

1. 本機の FW アップデートデータが入った USB メモリーを本機に接続します。
2. システム管理画面より〈 FW アップデート 〉欄の〈 USB 〉をクリックします。
3. 〈 デバイス 〉欄にて USB メモリーを選択し、〈 F/W リスト 〉欄からファームウェアを選択します。
4. 〈 実行 〉をクリックし、本機の FW アップデートを開始します。

※ アップグレード完了後は、自動的に本機が再起動を行います。

3.6.3 システム情報

◆ メニュー › システム設定 › システム › システム情報

本機のシステム情報を確認することができます。



システム情報の項目

項目	説明
FW バージョン	本機のファームウェアバージョンを表示します。
最終アップデート日	最後に FW アップデートを行った日時を表示します。
HW バージョン	本機のハードウェアバージョンを表示します。
HDD 容量	HDD の総容量を表示します。
HDD 使用量	HDD の使用中の容量を表示します。
HDD 数	本機に搭載している HDD の数量を表示します。
IP アドレス	本機のローカル IP アドレスを表示します。
MAC アドレス	本機の MAC アドレスを表示します。
DDNS アドレス	本機の DDNS アドレスを表示します。
RTSP ポート	クライアントソフトから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
WEB サーバーポート	ウェブブラウザから本機にアクセスする際に使用するポートを表示します。
モニター出力解像度	メイン映像出力の現在の解像度を表示します。
システム ID	本機の名称を表示します。

状況の項目

項目	説明
カメラ接続	接続中のカメラ CH を赤く表示します。
アラーム入力 (レコーダー)	アラーム入力が発生中の CH を赤く表示します。
アラーム出力 (レコーダー)	アラーム出力が発生中の CH を赤く表示します。

3.6.4 デバイス設定

◆ メニュー › システム設定 › システム › デバイス設定

キーボードコントローラーまたはリモコン ID を設定することができます。

デバイス設定メニューの項目

項目	説明
システム ID	キーボードコントローラーのシステム ID を設定します。
プロトコル	キーボードコントローラーのプロトコルを設定します。
ボーレート	キーボードコントローラーのボーレート(通信速度)を設定します。
リモコン ID	リモコン ID を設定します。(0～255) ※ ここで設定したリモコン ID をリモコンで入力すると、リモコン操作が有効となります。 → 詳細は、「リモコン ID の入力手順(1-7 ページ)」をご覧ください。

3.7 ストレージ

本機に搭載している HDD の容量や動作状態を確認することができます。

3.7.1 HDD 情報

◆ メニュー › システム設定 › ストレージ › HDD 情報

【 内蔵ディスク 】

本機に搭載している HDD の情報を確認することができます。



		開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	S.M.A.R.T.ステータス...
すべて		06-16-2016 17:07:58	06-30-2016 01:40:50	-	-	-	-
1	ディスク1	06-16-2016 17:07:58	06-30-2016 01:40:50	使用中	1.8 TB	ST2000VM003-	正常
2	ディスク2						
3	ディスク3						
4	ディスク4						
5	ディスク5						

内蔵ディスクの項目

項目	説明
開始時刻	HDD に通電を開始した日時を表示します。
終了時刻	HDD が最後に通電確認をした時刻を表示します。
状況	接続状況を表示します。
容量	HDD の総容量を表示します。
モデル	HDD の品番を表示します。
S.M.A.R.T.ステータス	S.M.A.R.T.の状態を表示します。

【 外部記憶装置 】

本機に外部から接続している HDD の情報を確認することができます。



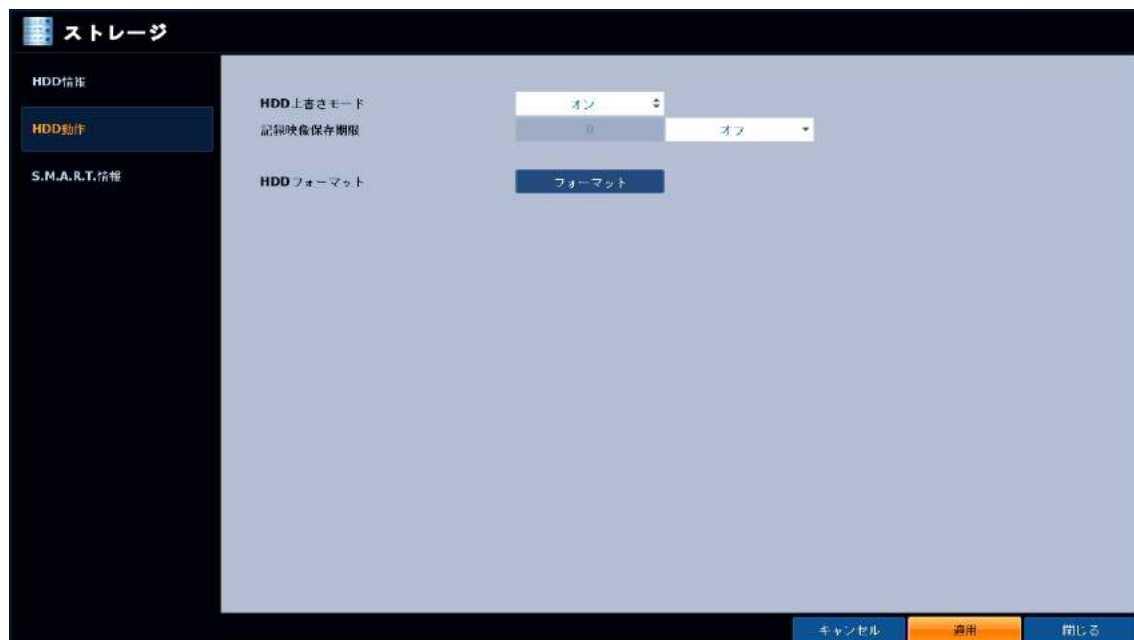
	開始時刻	終了時刻	状況	容量	モデル	S.M.A.R.T.ステータス...
すべて	-	-	-	-	-	-
1 ディスク1						
2 ディスク2						
3 ディスク3						
4 ディスク4						
5 ディスク5						

外部記憶装置画面での項目は、【 内蔵ディスク 】と同様です。

3.7.2 HDD 動作

◆ メニュー › システム設定 › ストレージ › HDD 動作

HDD の記録保存方法や初期化を行うことができます。



HDD 動作設定メニューの項目

項目	説明
HDD 上書きモード	〈 オン 〉にすると、HDD 使用量が 100% になった際に、最も古いデータを消去しながら記録を続けます。 ※ 上書き中、ライブ画面の HDD 使用量は「OW」と表示されます。 <u>注）〈 オフ 〉に設定すると、HDD 使用量が 100% になった時点で録画を停止します。</u>
記録映像保存期限	〈 時/日/週 〉に設定すると、その期間を過ぎた映像を消去します。 ※ 3 ヶ月以上の期間を設定することはできません。
HDD フォーマット	〈 フォーマット 〉をクリックすると、HDD に保存されているすべての映像を消去します。 <u>注）重要な映像データなどは、あらかじめバックアップを行ってください。</u>

3.7.3 RAID 設定

◆ メニュー 〉 システム設定 〉 ストレージ 〉 RAID 設定(※ 8 / 16CH のみ)

HDD の故障時に録画映像を守るための設定を行うことができます。(KB-AHR04A に当機能はありません。)

※ 当機能を使用するには、内蔵 HDD が 2 枚以上必要になります。

※ 当機能を使用する際は、すべての録画データを削除されます。



RAID 設定メニューの項目

項目	説明
モデル	接続中の HDD のモデルを表示します。
容量	接続中の HDD の容量を表示します。
状況	接続中の HDD の動作状態を表示します。
リビルド	接続中の HDD をリビルドするかどうかを表示します。
更新	クリックすると、RAID 構成状況を更新します。
RAID 構築	搭載している HDD を使用して RAID 構築を開始します。 → 詳細は、「 RAID 構築手順(3-48 ページ) 」をご覧ください。
RAID 解除	構築中の RAID を解除します。 → 詳細は、「 RAID 解除手順(3-49)ページ 」をご覧ください。

【 RAID 構築手順 】

以下の手順で、複数の HDD を使用し RAID を構築することができます。

1. 〈 RAID 構築 〉をクリックします。
2. 〈 RAID1(ミラーリング) 〉または〈 RAID5 〉を選択し、〈 OK 〉をクリックします。

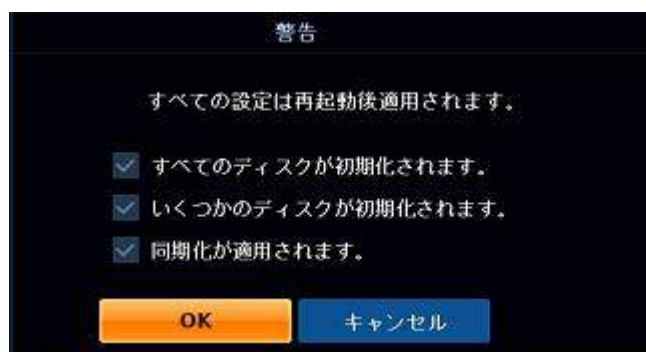


- RAID1 ... 2 枚の HDD に同じデータを同時に書き込みます。実際の容量は半分になります。
- RAID5 ... 複数の HDD が互いに共有し、故障時に他の HDD からデータを復元します。

実際の容量は、「HDD 総数 - 1」枚分となります。

※RAID5 は、HDD を 3 枚以上搭載している時に使用可能です。

3. 「すべての録画データが初期化されます。よろしいですか？」というメッセージが表示されたら 〈 OK 〉をクリックします。
4. 「すべての設定は再起動後に適用されます。」というメッセージが表示されたら 3 つの項目に全てチェックが入っているのを確認し、〈 OK 〉をクリックします。

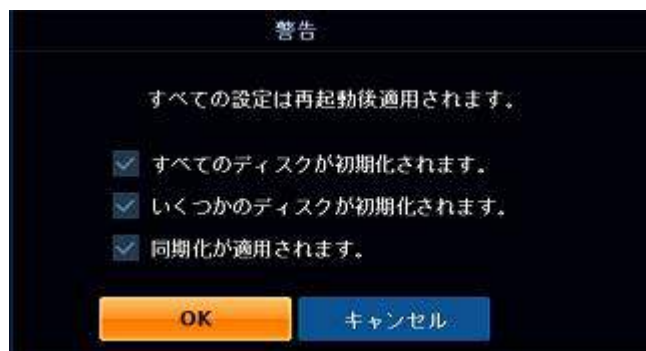


5. 「システムを再起動します。」というメッセージが表示されたら 〈 OK 〉をクリックします。
再起動後、RAID 構築が完了します。

【 RAID 解除手順 】

以下の手順で、構築中の RAID を解除することができます。

1. 〈 RAID 解除 〉をクリックします。
2. 「すべての設定は再起動後適用されます」というメッセージが表示されたら
3つの項目全てにチェックが入っているのを確認し、〈 OK 〉をクリックします。



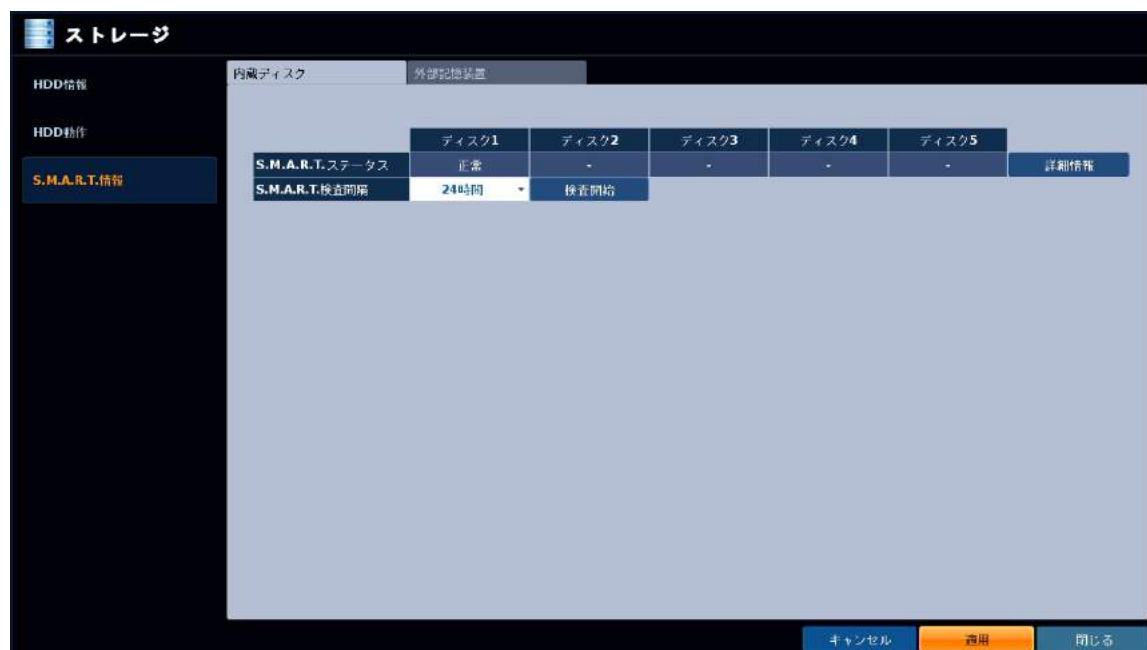
3. 「システムを再起動します。」というメッセージが表示されたら〈 OK 〉をクリックします。
再起動完了後、RAID 解除が完了します。

3.7.4 S.M.A.R.T 情報

◆ メニュー › システム設定 › ストレージ › S.M.A.R.T 情報

【 内蔵ディスク 】

本機に接続中の HDD に異常がないかを確認することができます。



S.M.A.R.T 情報設定メニューの項目

項目	説明
S.M.A.R.T.ステータス	各 HDD の状態を表示します。 通常 : ディスクは通常の状態です。 チェック : ディスクにエラーがあり、ディスクまたはディスク接続ケーブルのチェックが必要です。 問題が解決しないと、録画できない場合があります。 直ちにディスクの交換をお勧めします。 エラー : ディスクが破損しているか、ディスクまたはケーブルのエラーにより使用できません。直ちにディスクを交換してください。 ディスクの交換については、販売店または当社までお問い合わせください。 〈 詳細情報 〉 をクリックすると、さらに詳細の情報を表示します。
S.M.A.R.T.検査間隔	S.M.A.R.T.チェックを行う間隔を設定します。(6 時間 / 12 時間 / 24 時間) 〈 検査開始 〉 をクリックすると、ただちに S.M.A.R.T.チェックを開始します。

【 外部記録装置 】

本機に外部から接続している HDD に異常がないかを確認することができます。



外部記憶装置画面での項目は、【 内蔵ディスク 】画面と同様です。

3.8 イベント

イベントごとに発報させるアラームなどの動作を設定することができます。

【 機器異常時の動作概要 】

※ HDD に異常が生じた場合・・・

- ライブ画面上に「S.M.A.R.T.HDD ALARM DETECTED !」の文字を表示します。
- 本体フロントパネルの REC ランプが消灯します。
→ 詳細は、「 1.3 外観(1-3 ページ) 」をご覧ください。
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 のうち、設定したいいくつかの動作を行います。
→ 詳細は、「 システムイベント通知(3-66 ページ) 」をご覧ください。

※ビデオロス(映像断)が生じた場合・・・

- ライブ画面上で、ビデオロスが生じた CH に「 ビデオロス 」の文字を表示します。
- 全 CH でビデオロスが生じた場合、本体フロントパネルの REC ランプが消灯します。
→ 詳細は、「 1.3 外観(1-3 ページ) 」をご覧ください。
- アラーム出力 / ブザー / メール送信 / イベントプリセット のうち、設定したいいくつかの動作を行います。
→ 詳細は、「 3.8.5 ビデオロス(3-64 ページ) 」をご覧ください。

3.8.1 アラーム出力

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ アラーム出力

【 アラーム出力 】

本機のアラーム出力端子の設定を行うことができます。

KB-AHR04A は、ALARM OUT (AO1～16) の設定はできません。

本機のアラーム出力端子の接続については、「 1.5.3 アラーム入出力の接続(1-11 ページ) 」をご覧ください。



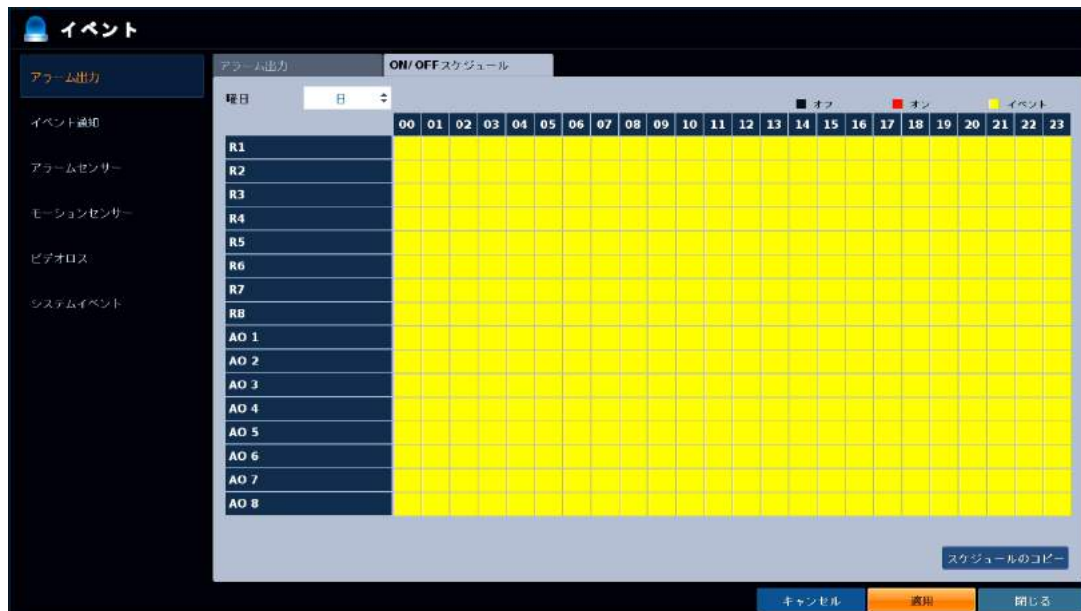
アラーム出力設定メニューの項目

項目	説明
名前	名称が表示されます。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O(A 接点)：通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C(B 接点)：通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
持続時間	アラームを出力する時間を設定します。 (復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで) ＜ 復帰するまで ＞ を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 ＜ キーを押すまで ＞ を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。
テスト	クリックすると、テストとしてアラーム出力信号を出します。

【 ON/OFF スケジュール 】

アラーム出力設定画面の上方の〈 ON/OFF スケジュール 〉タブをクリックします。

本機のアラーム出力を有効にする時間帯のスケジュール設定を行うことができます。



以下の手順で、スケジュール設定を行うことができます。

1. マウスのドラッグ & ドロップで、スケジュールを変更するカメラと時間帯を範囲選択します。
2. 任意のアラーム出力モードを選択します。
 - オン : アラーム出力を常に オン に設定します。
 - オフ : アラーム出力を常に オフ に設定します。
 - イベント : イベント発生に応じて、アラーム出力のオン/オフを切り替えます。
※ センサーや HDD イベント、ビデオロスなどのイベントと連動させる場合に、
〈 イベント 〉を選択します。
3. 〈 スケジュールのコピー 〉をクリックすると、現在の設定を選択した別の曜日にコピーすることができます。
※ 曜日ごとに設定する場合は、画面左上の〈 曜日 〉欄をクリックし、任意の曜日を選択します。
4. 完了後、〈 OK 〉をクリックし、設定を保存します。

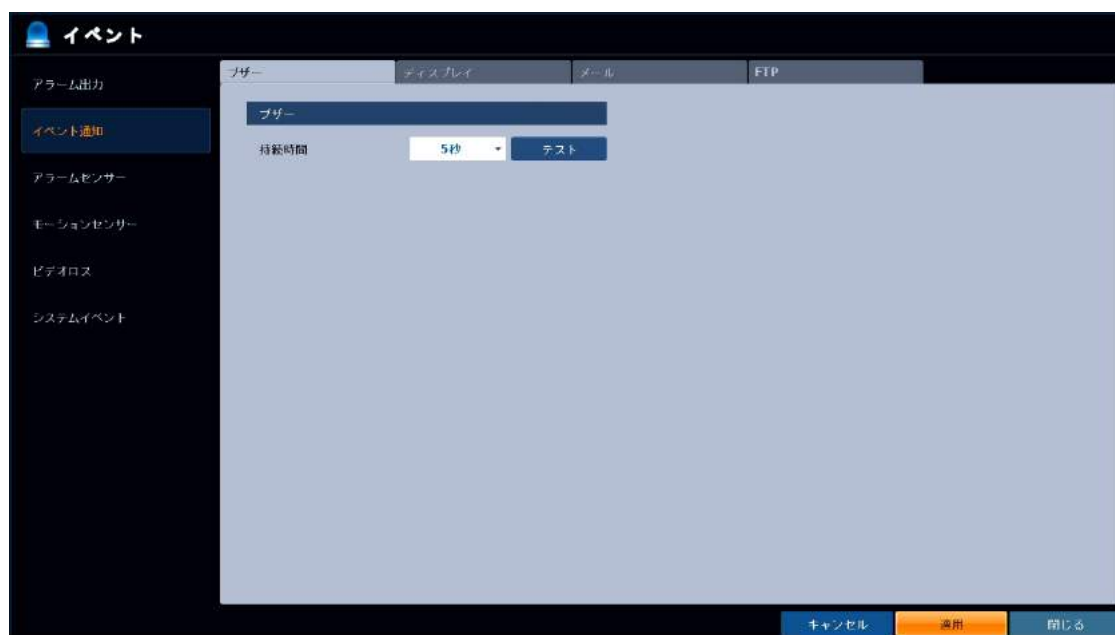
3.8.2 イベント通知

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ イベント通知

イベント発生時に通知する手段（ブザー / ポップアップ / メール / FTP）を設定することができます。

【ブザー】

ブザーを鳴らす時間の設定を行うことができます。

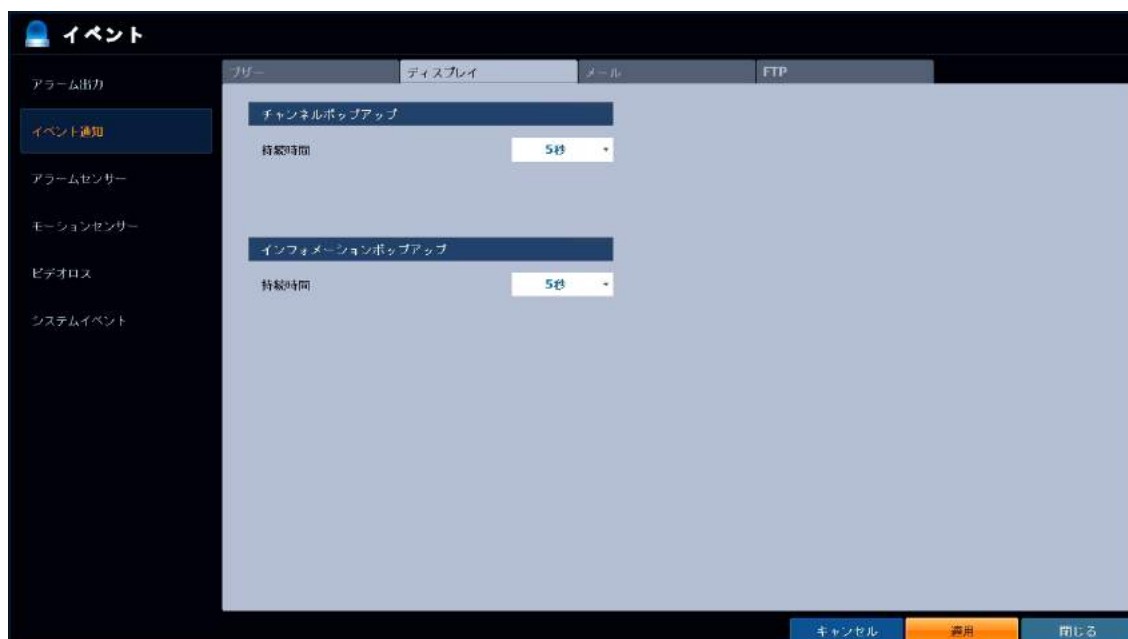


ブザー設定メニューの項目

項目	説明
持続時間	ブザーを鳴らし続ける時間を設定します。 (復帰するまで/5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/キーを押すまで) ＜ 復帰するまで ＞ を選択すると、イベント状態から復帰するまでアラーム出力を継続します。 ＜ キーを押すまで ＞ を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかのボタンを押すまでアラーム出力を継続します。 ＜ テスト ＞ をクリックすると、テストとしてブザーを作動させます。

【 ディスプレイ 】

イベント発生時、特定のカメラをチャンネルポップアップ（一定時間、1 画面表示にする）やインフォメーションポップアップ（イベントの内容を画面に表示する）の設定を行うことができます。



ディスプレイ設定メニューの項目

項目	説明
チャンネルポップアップ	イベント発生時、その CH 映像をポップアップする時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 〈 キーを押すまで 〉を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまで 1 画面表示を継続します。
インフォメーション ポップアップ	イベント発生時、画面上に文字を表示する時間を設定します。 (5 秒/10 秒/15 秒/20 秒/30 秒/40 秒/60 秒/120 秒/180 秒/300 秒/ キーを押すまで) 〈 キーを押すまで 〉を選択すると、リモコンまたはマウスの何れかの ボタンを押すまでインフォメーション表示を継続します。

【 メール 】

イベント発生時、メール通知する設定を行うことができます。

The screenshot shows the 'メール通知' (Email Notification) settings page. It includes a sidebar with navigation links like 'アラーム出力', 'イベント通知', 'アラームセンサー', 'モーションセンサー', 'ビデオロス', and 'システムイベント'. The main area has tabs for 'ブザー', 'ディスプレイ', 'メール', and 'FTP'. Under the 'メール' tab, there are sections for 'メール通知' (with '新規メールを追加' and '編集' buttons), '最小メール送信間隔' (set to 1分), and 'スナップショットイメージを含める' (checked). Below is the 'メールのお知らせ時間設定' (Email Notification Time Setting) section, which includes a list of 10 schedules and a calendar grid for selecting days of the week. To the right of the calendar is a '開始 - 終了' (Start - End) time range selector. At the bottom are 'キャンセル', '適用' (Apply), and '閉じる' (Close) buttons.

メール通知設定メニューの項目

項目	説明
新規メールを追加	新規メール受信者を追加する場合は、< 編集 >をクリックし、設定を行います。 → 詳細は、「新規メールを追加するには(3-55 ページ) 」をご覧ください。
最小メール送信間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 (0 秒 / 1 分 / 5 分 / 10 分 / 15 分 / 30 分 / 60 分) ※ メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信の間隔を設定し、通知もれを回避します。
スナップショット イメージを含める	チェックを入れると、メールにイベントの発生した CH の静止画を添付します。

メールのお知らせ時間設定の項目

項目	説明
日 ~ 土	メールを受け取る曜日を選択します。 各曜日のボックスをクリックします。
開始 - 終了	メールを受け取る時間帯を設定します。

※ メール受け取り設定手順については、「メール受け取り時間の設定(3-56 ページ) 」をご覧ください。

【 新規メールを追加するには 】

以下の手順で、イベント発生時の送信先アドレスを登録することができます。

1. 〈 新規メールを追加 〉欄の〈 編集 〉をクリックします。
2. 〈 メール 〉枠をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりアドレスを入力します。
アドレス入力後、〈 追加 〉をクリックします。



3. 〈 リスト 〉欄に入力したアドレスが追加されていることを確認します。



4. 登録したアドレスを削除する場合は、〈 リスト 〉欄からアドレスを選択し、〈 削除 〉をクリックします。
5. 設定完了後は、〈 閉じる 〉をクリックします。

【メール受け取りの時間の設定】

以下の手順で、イベントメールを受け取る日時を設定することができます。

1. 各スケジュールの曜日を選択し、クリックします。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	00 ▾	:	00 ▾	~	00 ▾	:

2. 〈開始 - 終了〉欄のメールの受け取りを開始する時間(左)および終了する時間(右)を設定します。

スケジュール 1	日	月	火	水	木	金	土	開始 ~ 終了					
	☒	☒	☒	☐	☐	☐	☐	01 ▾	:	00 ▾	~	02 ▾	:

3. 〈適用〉をクリックし、設定を保存します。

【 FTP 】

イベント発生時、FTP サーバーにテキストデータを保存することができます。

The screenshot shows the 'FTP' configuration window. On the left is a sidebar with 'イベント' (Event) selected. The main area has tabs for 'ブザー', 'ディスプレイ', 'メール', and 'FTP'. The 'FTP' tab is active, showing settings for 'FTP 通知' (FTP Notification). Fields include 'FTP サーバー' (FTP Server) with a '編集' (Edit) button, 'ディレクトリ' (Directory) with a dropdown for 'システムID', 'ファイル名' (Filename) with a dropdown for 'システムID', '最小通知間隔' (Minimum Notification Interval) set to '1分', and checkboxes for 'Web Linkを含める' and 'スナップショットイメージを含める'. A 'HELP' button is at the bottom left. At the bottom right are 'キャンセル', '適用', and '閉じる' buttons.

FTP 通知設定メニューの項目

項目	説明
FTP サーバー	テキストデータ保存先の FTP サーバーの設定を行います。 → 詳細は、「FTP サーバーの編集(3-60 ページ)」をご覧ください。
ディレクトリ	FTP 内の保存先ディレクトリ名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付 / システム ID / システム ID_日付) < 手動 >を選択した場合、任意でディレクトリ名を設定します。
ファイル名	保存するテキストデータのファイル名の設定を行います。 (手動 / 手動_日付_時刻 / システム ID / システム ID_日付_時刻) < 手動 >を選択した場合、任意でファイル名を設定します。
最小通知間隔	メールを送信してから次のメールを送信するまでの間隔を設定します。 ※ メールサーバーによって、配信周期が短すぎるメールをブロックするものがあります。その場合、この設定によってメール配信間隔を設定し通知漏れを回避します。
Web Link を含める	チェックを入れると、テキストデータにブラウザからアクセスするためのアドレスを添付します。
スナップショット イメージを含める	チェックを入れると、テキストデータにイベントの発生した CH の静止画を添付します。
HELP	クリックすると、FTP 通知設定に関する補足説明を表示します。 < 終了 >をクリックすると、閉じます。

【 FTP サーバーの編集 】

以下の手順で、FTP サーバー情報を設定することができます。

1. 〈 FTP サーバー 〉欄の〈 編集 〉をクリックします。
2. 〈 ホスト名 〉欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードよりホスト名を入力します。



編集	
ホスト名	kb.testftp@device.com
ポート	21
ユーザー名	
パスワード	
接続テスト	
OK キャンセル	

3. 〈 ユーザー名 〉および〈 パスワード 〉欄をダブルクリックし、バーチャルキーボードより設定先の FTP サーバーにアクセスするためのユーザー名とパスワードを入力します。



編集	
ホスト名	kb.testftp@device.com
ポート	21
ユーザー名	admin
パスワード	****
接続テスト	
OK キャンセル	

4. 〈 接続テスト 〉をクリックすると、設定した FTP サーバーへテストアクセスします。
※ 接続テストエラーと表示されたら、ホスト名など入力した設定値を見直してください。
5. 設定完了後、〈 OK 〉をクリックします。

3.8.3 アラームセンサー

◆ メニュー › システム設定 › イベント › アラームセンサー

本機にアラーム入力が発生した場合の動作を設定することができます。

本機へのアラーム入力端子の接続については、「1.5.3 アラーム入出力の接続(1-11 ページ)」をご覧ください。



アラームセンサー設定メニューの項目

項目	説明
AI1～AI16	端子の名称を表示します。
名前	名称を表示します。
動作	アラームの接点タイプを選択します。 N/O(A 接点): 通常は Open 状態で、アラーム発生時に Close の状態になります。 N/C(B 接点): 通常は Close 状態で、アラーム発生時に Open の状態になります。
連動カメラ	アラーム入力が発生したとき、アラーム録画を行う CH を指定します。
プリセット	アラーム入力が発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈 プリセット 〉にチェックを入れ、 をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
アラーム出力	アラーム入力が発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、アラーム入力が発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

3.8.4 モーションセンサー

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ モーションセンサー

カメラ映像にモーション(動き)が発生した場合の動作を設定することができます。



モーションセンサー設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	モーション検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合。モーションを検知した後 5 秒以内に次のモーションを検知しても、それは無視されます。 モーション検知の回数が多すぎる場合にここで調整します。 (5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒 / 25 秒 / 30 秒)
アラーム出力	モーション検知が発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	モーション検知が発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 〈 プリセット 〉にチェックを入れ、 をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときその CH 映像をポップアップします。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、モーション検知が発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

3.8.5 ビデオロス

◆ メニュー › システム設定 › イベント › ビデオロス

カメラとの接続が途切れ、ビデオロスが発生した場合の動作を設定することができます。



ビデオロス設定メニューの項目

項目	説明
カメラ	それぞれの CH のカメラを示します。
無視する時間	ビデオロス検知を有効とする最小間隔を指定します。 たとえば 5 秒に設定した場合。ビデオロスを検知した後 5 秒以内に次のビデオロスを検知しても、それは無視されます。 ビデオロス検知の回数が多すぎる場合にここで調整します。 (0 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 15 秒 / 20 秒)
アラーム出力	ビデオロスが発生したとき、アラーム出力を行う出力ポートを指定します。 N/A はアラーム出力無効です。
プリセット	ビデオロスが発生したときに、接続されている PTZ カメラを指定のプリセットに移動させる設定を行います。 ☐ プリセット > にチェックを入れ、  をクリックしてカメラ CH ごとにプリセット位置を指定します。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

3.8.6 システムイベント

◆ メニュー ＞ システム設定 ＞ イベント ＞ システムイベント

本機に、HDD、ネットワーク、システムなどのさまざまなイベントが発生した場合の動作を設定することができます。



システムイベント設定メニューの項目（通知設定）

項目	説明
イベントタイプ	アクションを起すトリガー（きっかけ）となるイベントを表示します。
アラーム出力	イベントが発生した場合に、アラーム出力を行う出力ポートを設定します。 N/A は、アラーム出力無効となります。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときブザーを鳴らします。
	チェックを入れると、イベントが発生したときインフォメーションポップアップを行います。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したときメール通知を行います。
	チェックを入れると、ビデオロスが発生したとき FTP サーバーに通知を行います。

【 ディスク 】

本機に搭載している HDD に関するイベント通知を設定することができます。



システムイベント設定メニューの項目(ディスク)

項目	説明
上書き開始	古いデータから上書きを開始する場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードを「オン」に設定している場合に有効となります。
HDD 空き容量なし	HDD の空き容量がなくなった場合の動作を設定します。 HDD 上書きモードを「オフ」に設定している場合に有効となります。
HDD 使用量警告	HDD の使用量が一定量を超えた場合の動作を設定します。 たとえば、90%と設定した場合、HDD の記録容量が 90%を超えたときにイベント発生時のアクションを起します。 (50% / 60% / 70% / 80% / 90%)
S.M.A.R.T.エラー	HDD に異常が発生した場合の動作を設定します。
HDD 認識エラー	接続中の HDD が認識できなくなった場合の動作を設定します。

【 録画 】

録画に関するイベント通知を設定することができます。



システムイベント設定メニューの項目(録画)

項目	説明
緊急録画開始	手動録画を開始する場合の動作を設定します。

【 システム 】

本機のシステムに関するイベント通知を設定することができます。



システムイベント設定メニューの項目 (システム)

項目	説明
システム起動	本機が起動した場合の動作を設定します。
ログインエラー	パスワードの誤入力によりログインに失敗した場合の動作を設定します。 ※ イベントタイプ項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
回転ファン異常	本機に内蔵されている冷却ファンに異常が発生した場合の動作を設定します。 <u>ファン異常が発生した場合は、販売店までお問い合わせください。</u>
内部温度異常	本機内部の一定以上の温度を越えた場合の動作を設定します。

【 ネットワーク 】

ネットワークに関するイベント通知を設定することができます。



システムイベント設定メニューの項目（ネットワーク）

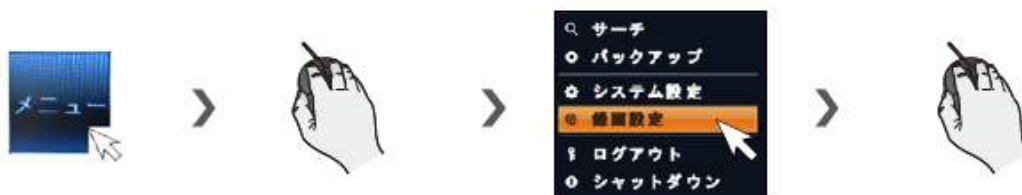
項目	説明
ネットワークエラー	本機のネットワーク接続にエラーが発生した場合の動作を設定します。 ※ 本機のネットワーク設定を行わない場合は、通知を行わない設定にしてください。
クライアントログインエラー	クライアント PC から本機へログインに失敗した場合の動作を設定します。 ※ 本項目をクリックし、ログインに何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
DDNS 更新エラー	DDNS アドレスの更新に失敗した場合の動作を設定します。 ※ 本項目をクリックし、更新に何回失敗したらイベントを発生させるかを指定することができます。 (リトライ 1 回 / 2 回 / 3 回 / 4 回 / 5 回)
IP 衝突イベント	同じネットワーク内に IP アドレスが重複している場合の動作を設定します。

3.9 録画設定

本機の録画モードや解像度・フレームレートなどを設定することができます。

【 録画設定画面に入るには 】

マウスの使用方法



リモコンの使用方法



3.9.1 録画モード設定

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 録画モード設定

録画モードを切り替えて、解像度やフレームレートを任意に設定することができます。

ここでは、かんたん設定またはマニュアル記録設定の切り替えを行います。

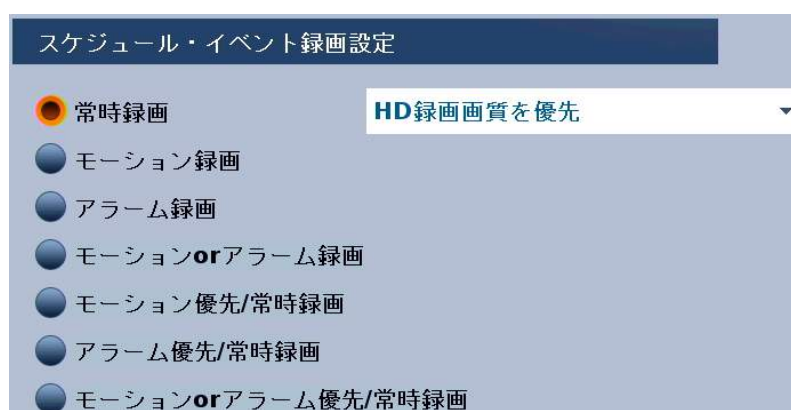


録画モード設定メニューの項目

項目	説明
モード	録画モードを設定します。 ・かんたん設定：推奨の記録モードの中から選択して録画を行います。（解像度やフレームレートは自動的に設定されます。） ・マニュアル設定：解像度やフレームレートを詳細に設定して録画を行います。（解像度やフレームレートを任意で設定して録画を行います。）
スケジュール イベント録画設定	〈モード〉で選択した録画モードによって、設定内容が異なります。 詳細は、【かんたん設定（3-38 ページ）】または、 【マニュアル設定（3-39 ページ）】をご覧ください。
緊急録画時間	緊急録画の際、開始から何分間録画を行うかを設定します。 （手動 / 1分 / 5分 / 10分 / 20分 / 30分 / 40分 / 50分 / 60分） ※手動：ユーザーが緊急録画を停止するまで録画を継続します。
ビットレート コントロール	ビットレートを設定します。（可変ビットレート / 固定ビットレート） ※設定内容によって本機の記録できる日数が変わります。 詳細は、【13章 録画日数表（13-1 ページ）】をご覧ください。

【 スケジュール・イベント録画設定（かんたん設定） 】

録画モードにて〈かんたん設定〉を選択します。



スケジュール・イベント録画設定の項目（かんたん設定）

項目	説明
常時録画 (HD 録画日数を優先)	長期間の録画ができるよう解像度/画質/フレームレートを自動で調整します。
常時録画 (HD 録画画質を優先)	最大解像度/最高画質/最大フレームレートで連続録画(24 時間録画)を行います。
モーション録画	普段は録画を行わず、モーションを検知した場合のみ録画を行います。
アラーム録画	普段は録画を行わず、アラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション or アラーム録画	普段は録画を行わず、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合のみ録画を行います。
モーション優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーションを検知した場合に、最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
アラーム優先/ 常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、アラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。
モーション or アラーム 優先/常時録画	普段は低解像度/低画質/低フレームレートで録画を行い、モーション検知あるいはアラーム入力が発生した場合に最大解像度/最高画質/最大フレームレートで録画を行います。

【 スケジュール・イベント録画設定（ マニュアル設定 ） 】

録画モードにて〈 マニュアル設定 〉を選択します。

スケジュール/イベント録画設定	
スケジュール設定	毎日 ▼
プリイベント録画時間	5秒 ▼
ポストイベント録画時間	30秒 ▼

スケジュール/イベント録画設定メニューの項目（マニュアル設定）

項目	説明
スケジュール設定	スケジュールを行う単位を設定します。 毎日： 毎日同じスケジュールで録画を行います。 曜日： 1 週間のうち曜日ごとに異なるスケジュールで録画を行います。 ※ スケジュール設定時に、曜日ごとに録画タイミングを設定したい場合は、〈 曜日 〉を必ず選択してください。
プリイベント録画	イベント発生は何秒前からの映像を録画するかを設定します。
ポストイベント録画	イベント発生は何秒後まで映像を録画するかを設定します。

※ マニュアル設定を適用する場合は、これ以降の常時録画・モーション録画・アラーム録画の設定を行ってください。

3.9.2 常時録画

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 常時録画

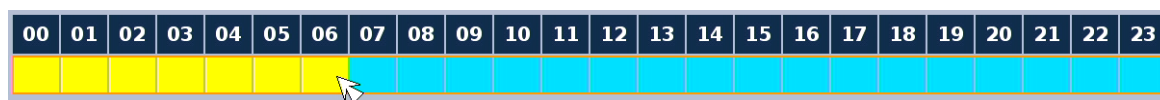
常時録画(24 時間録画)の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

【 パラメータ 】

以下の手順で、常時録画時の解像度・FPS・画質などを設定することができます。



1. 画面上部の「パラメータ」タブをクリックします。
2. タイムバーから、パラメータ変更を行いたい時間をドラッグ&ドロップで指定します。
※ 1 時間ごとに異なるパラメータを設定することができます。



ドラッグ&ドロップで選択した範囲は黄色で表示します。

3. 以下の内容を設定します。

パラメータ

	解像度	FPS	画質	音声
1 CAM1	1920x1080	7	標準	オフ
2 CAM2	1280x720	7	標準	オフ
3 CAM3	1280x720	7	標準	オフ
4 CAM4	1280x720	7	標準	オフ

OK キャンセル

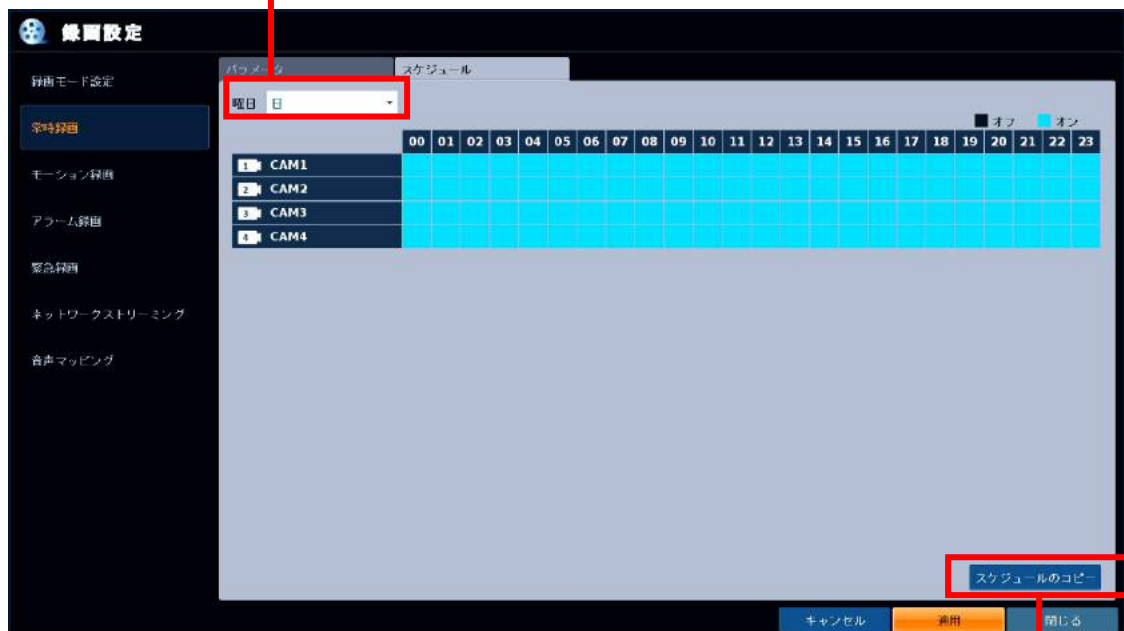
パラメータ設定の項目

モニター出力解像度	録画する画像サイズを指定します。 (1920x1080 / 1280x720 / 960x480 / 704x480 / 704x240 / 352x240)
FPS	フレームレート(1 秒間に何枚の画像を録画するか)を指定します。 (30 / 15 / 7 / 3 / 2 / 1)
画質	録画する画質を指定します。 (最高 / 高 / 標準 / 低 / 長時間)
音声	音声記録を行うかどうかを設定します。 (オン / オフ)

【 スケジュール 】

常時録画(24 時間録画)を行うスケジュールを設定することができます。

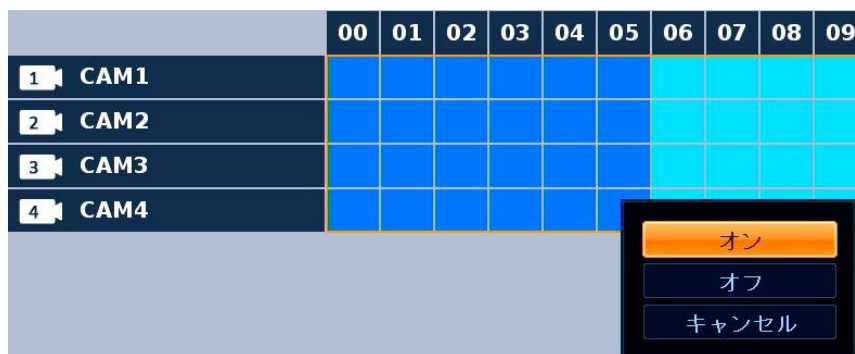
曜日ごとの設定を行う場合は、設定変更する曜日を選択します。



別の曜日に同じスケジュールをコピーする場合にクリックします。

以下の手順でスケジュールを設定することができます。

1. 画面上方の〈 スケジュール 〉タブをクリックします。
2. CH1～CH16 のタイムバーからスケジュール設定を変更したい箇所をドラッグ&ドロップで選択します。



3. ウィンドウが表示されたら、常時録画機能のオン / オフを選択します。

※ 通常は、常時録画はオンで運用することを推奨します。

3.9.3 モーション録画

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ モーション録画

モーション録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。



【 パラメータ 】

モーション録画時の解像度・FPS・画質・音声を設定することができます。

設定方法は、「 3.9.2 常時録画(3-76 ページ) 」をご覧ください。

【 スケジュール 】

モーション録画時のスケジュールを設定することができます。

設定方法は、「 3.9.2 常時録画(3-76 ページ) 」をご覧ください。

3.9.4 アラーム録画

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ アラーム録画

アラーム録画の解像度・フレームレートやスケジュールを設定することができます。

録画設定

録画モード設定
常時録画
モーション録画
アラーム録画
緊急録画
ネットワークストリーミング
音声マッピング

パラメータ **スケジュール**

曜日: 日

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	解像度				FPS				画質				音声											
CAM1	1920x1080				7				標準				オフ											
CAM2	1280x720				7				標準				オフ											
CAM3	1280x720				7				標準				オフ											
CAM4	1280x720				7				標準				オフ											

キャンセル 適用 閉じる

【 パラメータ 】

モーション録画時の解像度・FPS・画質・音声を設定することができます。

設定方法は、「 3.9.2 常時録画(3-76 ページ) 」をご覧ください。

【 スケジュール 】

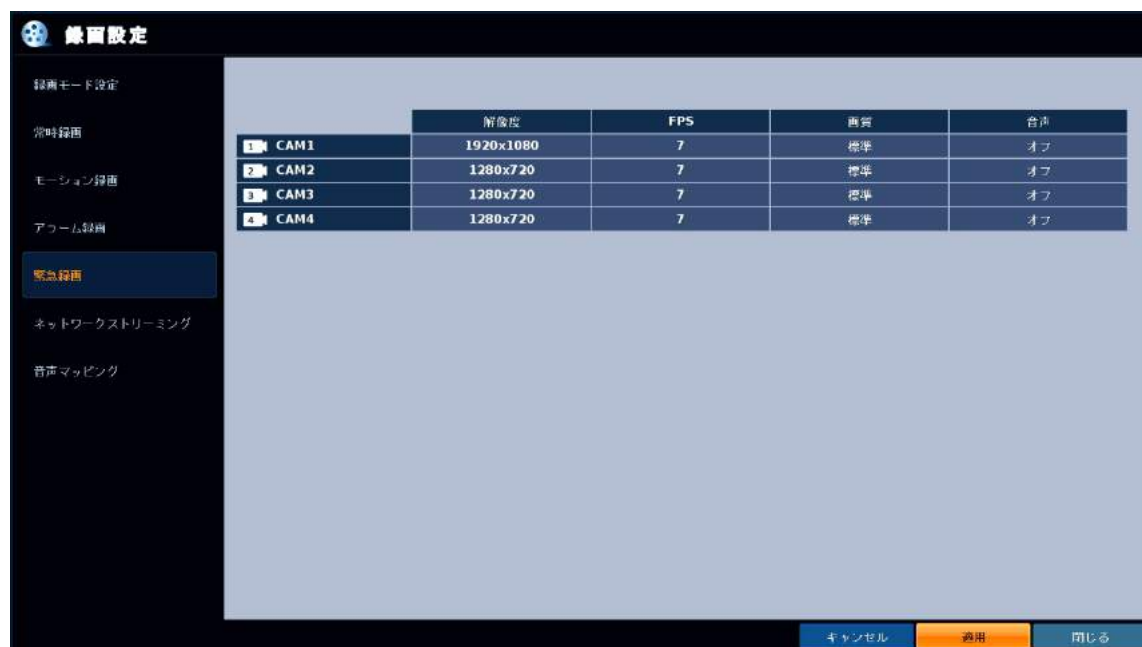
モーション録画時のスケジュールを設定することができます。

設定方法は、「 3.9.2 常時録画(3-76 ページ) 」をご覧ください。

3.9.5 緊急録画

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ 緊急録画

緊急録画の解像度・フレームレートなどを設定することができます。

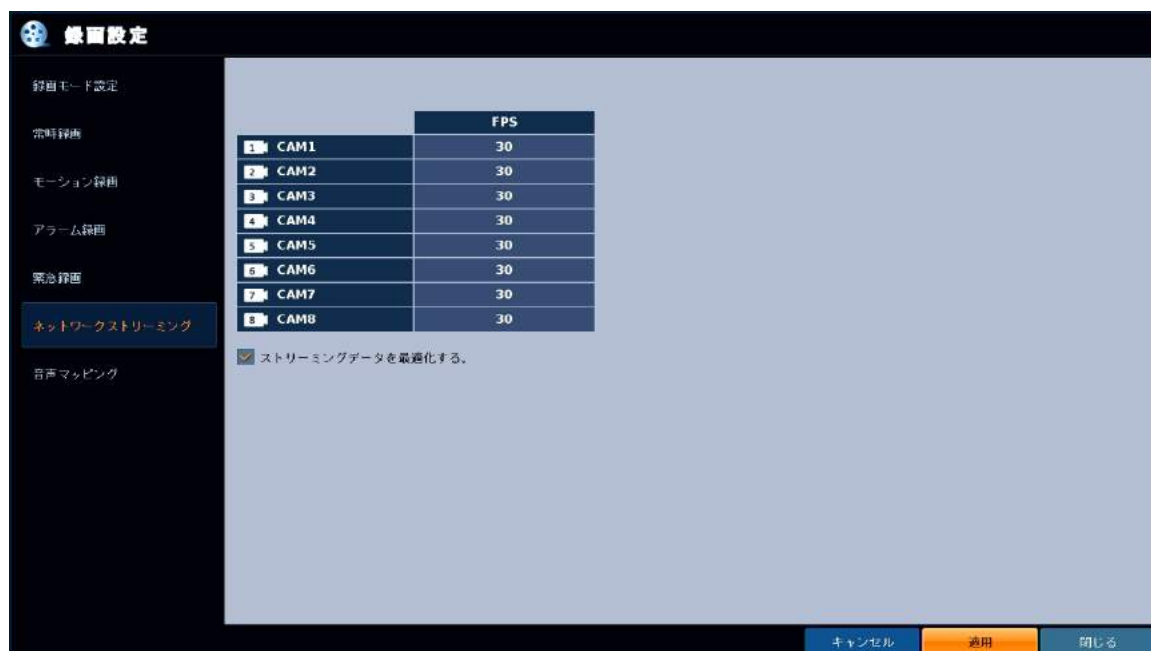


設定方法は、「3.9.2 常時録画(3-76 ページ)」をご覧ください。

3.9.6 ネットワークストリーミング

◆ メニュー ＞ 録画設定 ＞ ネットワークストリーミング

ネットワーク配信用（インターネットなどからの遠隔監視）のフレームレートを設定することができます。



設定方法は、「3.9.2 常時録画(3-76 ページ)」をご覧ください。

3.9.7 音声マッピング

◆ メニュー > 録画設定 > 音声マッピング

接続中のカメラ CH に割り当てる音声入力ポートを設定することができます。



音声マッピング設定メニューの項目

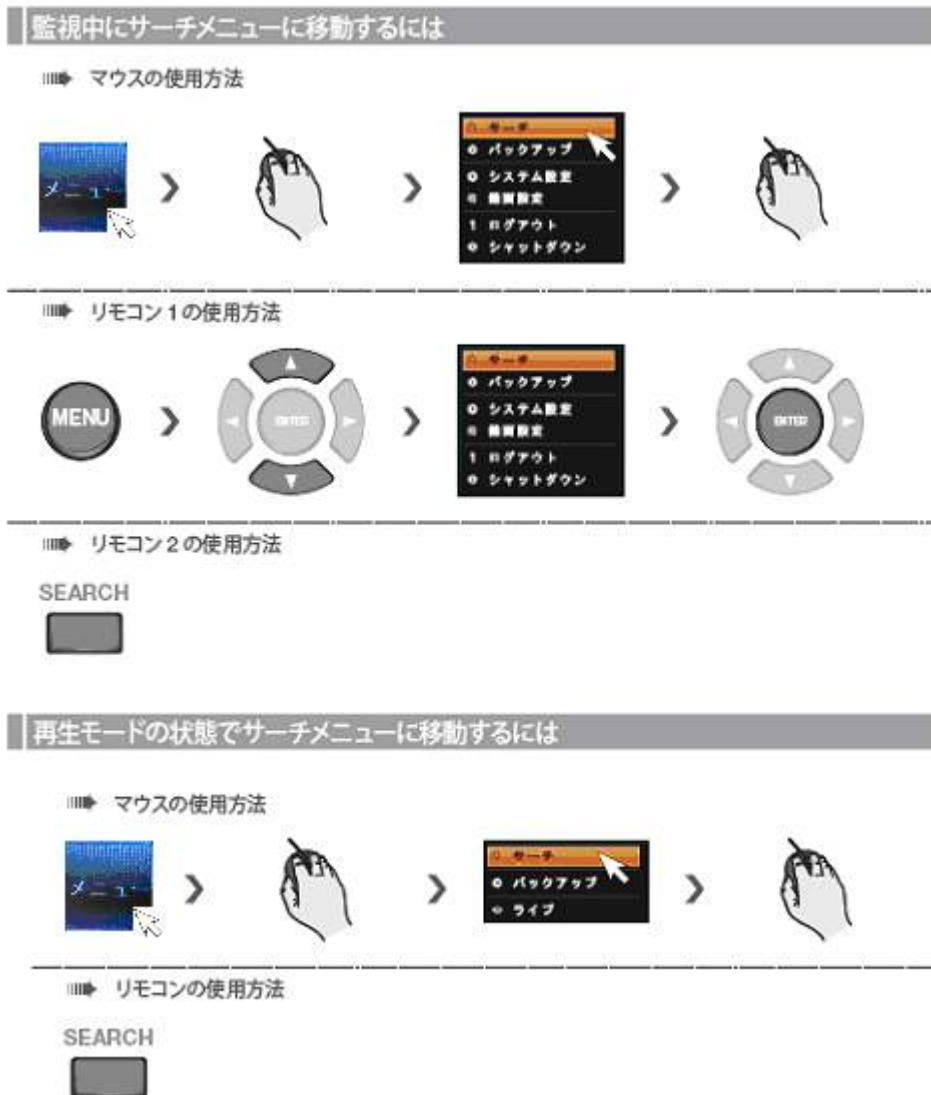
項目	説明
音声入力	カメラ CH に紐付けする音声入力ポートを選択します。

4章 検索・再生

本機に記録した映像を検索（サーチ）・再生を行います。

4.1 サーチ画面に入るには

以下のいずれかの方法で、サーチ画面に入ることができます。

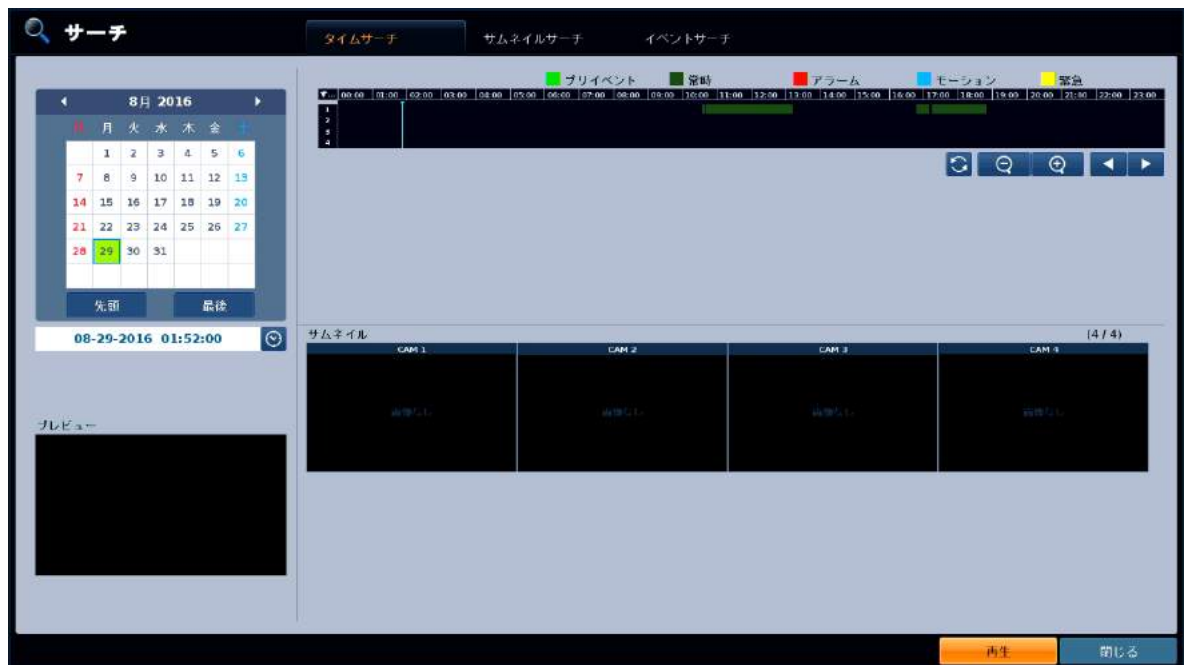


以下の2つから検索方法を選択してください。

- **タイムサーチ** … カレンダーとタイムバーから日時を選択し、映像を検索します。
- **サムネイルサーチ** … 1時間ごと/1分ごとなど、映像を一覧表示して検索します。
- **イベントサーチ** … アラームやモーションなどのイベントログから、映像を検索します。
- **TEXT-IN** … 使用できません。

4.2 タイムサーチ

カレンダーとタイムバーを使用して映像を検索することができます。



【 検索手順 】

以下の手順で、タイムサーチを行うことができます。

1. サーチ画面上方の「タイムサーチ」タブをクリックします。
2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日付を選択します。
※ 録画映像がある日付は背景が黄色で表示されます。

〈 カレンダーの見方 〉

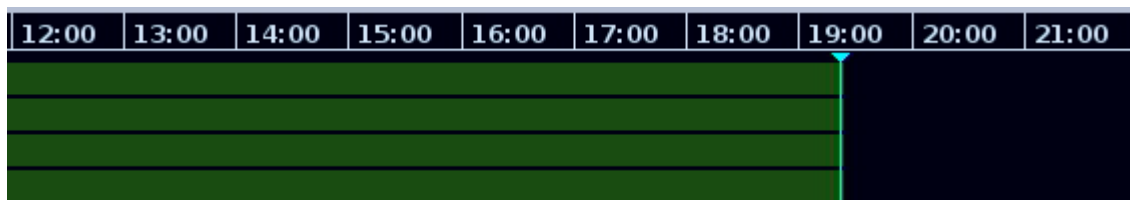


3. カレンダー上で日付を選択し、画面右上にタイムバーが表示されます。
ドラッグ&ドロップでタイムバーを移動させ、見たい映像の時刻を設定します。

※ タイムバー上では、映像のある時間帯が録画モードごとに色つきで表示されます。

緑 … 常時録画 / 赤 … アラーム録画 / 青 … モーション録画

黄 … 緊急録画 / 黄緑 … プリイベント録画



タイムバーでの操作項目

アイコン	説明
	タイムバーを最新の状態に更新します。
	タイムバーをズームイン / ズームアウトします。
	タイムバーを左右にスクロールします。

※ 日時指定で検索再生する場合

再生する映像の日時が判明している場合は、直接日時を指定して再生を行うことができます。



- ① カレンダー下の時刻入力欄にある  をクリックし、日時指定ウィンドウを表示します。
- ② 上下の矢印のアイコンをクリックし、年/月/日/時/分/秒 を設定します。

日付/時刻

年	月	日	時	分	秒
2015	02	05	19	22	02

OK

キャンセル

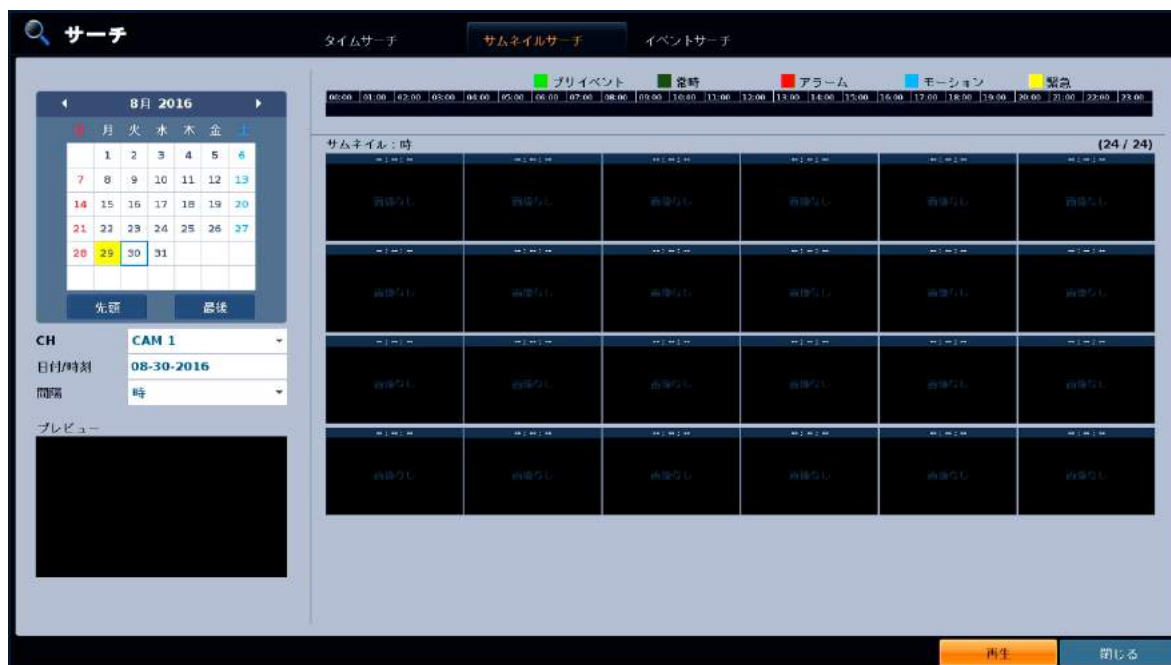
- ③ **< OK >** をクリックします。

4. 画面右下の**< 再生 >**を選択すると映像が再生されます。

※ 再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面(4-8 ページ)」をご覧ください。

4.3 サムネイルサーチ

CH ごとに 1 日ごと、1 時間ごと、あるいは 1 分ごとの映像の一覧を表示して検索します。



【 検索手順 】

以下の手順で、サムネイルサーチを行うことができます。

1. サーチ画面上方の「サムネイルサーチ」タブをクリックします。
2. 画面左上のカレンダーから、見たい映像の日時を選択します。
※ 録画映像のある日付は、背景が黄色で表示されます。
※ カレンダーの見方については、「4.2 タイムサーチ【 カレンダーの見方 】(4-2 ページ)」をご覧ください。
3. カレンダー下の「CH」欄から検索対象とするカメラチャンネルを選択します。
「日付/時刻」欄から表示するサムネイルの開始日時を設定します。



※ 日時設定後、「OK」をクリックします。

「間隔」欄から表示する一覧を 1 日ごと / 1 時間ごと / 1 分ごと にするかを選択します。

4. 画面右上のタイムバーから、検索する時間帯を選択します。
※ タイムバーの見方については、「4.2 タイムサーチ(4-2 ページ)」をご覧ください。
5. 画面右に映像のサムネイルが表示されるので、その中から再生したいサムネイルをクリックします。
画面左下のプレビューウィンドウに映像が再生されます。



6. 画面下の「再生」をクリックすると、再生画面に入ります。
※ 再生画面の操作方法については、「4.5 再生画面(4-8 ページ)」をご覧ください。

4.4 イベントサーチ

発生したイベントログを検索し、その時刻の映像を再生することができます。



【 検索手順 】

以下の手順で、イベントサーチを行うことができます。

1. サーチ画面上方の〈 イベントサーチ 〉タブをクリックします。
2. 画面左上の〈 開始 〉の  をクリックし、検索開始点となる日時を指定します。
3. 画面左上の〈 終了 〉の  をクリックし、検索終了点となる日時を指定します。
4. 画面左上の〈 CH 〉欄をダブルクリックし、検索対象とするカメラチャンネルを選択します。

5. 画面左上の〈 イベント 〉欄から検索対象とするイベントを選択します。
 〈 すべて 〉のチェックを 入 / 切 することで、全イベントのチェックを 入 / 切 することができます。
 検索対象を設定後、〈 サーチ 〉をクリックします。

- ・ アラーム : アラーム入力を検出したログを検索します。
- ・ ビデオ : ビデオロスを検出したログを検索します。
- ・ システム : ログインやシステム起動、システムエラーなどのログを検索します。
- ・ ネットワーク : 遠隔接続やネットワークエラーなどのログを検索します。
- ・ モーション : モーション検知が発生したログを検索します。
- ・ 録画 : 各録画モードで録画を開始したログを検索します。
- ・ ストレージ : HDD エラーなどが発生したログを検索します。
- ・ 設定 : レコーダーの設定変更を行ったログを検索します。

6. 検索で表示されたログの中から再生したい映像のものをクリックし、
 画面下の〈 再生 〉をクリックします。

The screenshot shows a software interface for searching and playing back event logs. On the left, there's a sidebar with a search bar and filters. The 'イベント' (Event) section has checkboxes for 'すべて' (All), 'アラーム' (Alarm), 'ビデオ' (Video), 'システム' (System), 'ネットワーク' (Network), 'モーション' (Motion), '録画' (Recording), 'ストレージ' (Storage), and '設定' (Settings). Below this is a 'プレビュー' (Preview) window showing 'N/A'. The main area displays a table of search results with columns for '種類' (Type), '時間' (Time), and 'ログ' (Log). The table lists various events like 'システム設定' (System Settings), '録画' (Recording), 'ビデオ' (Video), and '設定' (Settings) with their corresponding timestamps and descriptions. At the bottom, there are playback controls including a '並び替え' (Sort) dropdown set to '降順' (Descending), a play button, and buttons for '再生' (Play) and '閉じる' (Close).

種類	時間	ログ
システム設定	08-29-2016 18:38:20	ADMINログイン
録画	08-29-2016 18:37:39	CH 01: 常時録画スタート
ビデオ	08-29-2016 18:37:39	#01ビデオロス復帰
録画	08-29-2016 18:37:32	CH 01: 常時録画ストップ
ビデオ	08-29-2016 18:37:32	#01ビデオロス検出
システム設定	08-29-2016 18:37:25	ADMINログオフ
システム設定	08-29-2016 18:37:04	ADMINログイン
録画設定	08-29-2016 18:36:59	ADMINログオフ
録画	08-29-2016 18:36:38	CH 01: 常時録画スタート
録画	08-29-2016 18:36:37	CH 01: 常時録画ストップ
録画設定	08-29-2016 18:36:37	ネットワークストリーミングパラメータが変更されました。(ADMIN)
録画設定	08-29-2016 18:36:37	緊急録画パラメータが変更されました。(ADMIN)
録画設定	08-29-2016 18:36:37	アラーム録画パラメータが変更されました。(ADMIN)
録画設定	08-29-2016 18:36:37	モーション録画パラメータが変更されました。(ADMIN)
録画設定	08-29-2016 18:36:37	常時録画パラメータが変更されました。(ADMIN)
録画設定	08-29-2016 18:36:36	ADMINログイン
録画	08-29-2016 18:36:29	CH 01: 常時録画スタート
ビデオ	08-29-2016 18:36:29	#01ビデオロス復帰
録画	08-29-2016 18:36:14	CH 01: 常時録画ストップ

4.5 再生画面

映像再生中に、さまざまな動作を行うことができます。

タイムライン

(→2.1 ライブ画面について をご覧ください。)



再生映像の録画時刻を表示します。

画面表示を切り替えます。

サーチ画面やライブ画面に移動します。

再生画面での操作

アイコン	説明
	再生画面を最大化します。
	画面の分割表示を切り替えます。 4CH モデル : 最大 4 分割 8CH モデル : 最大 9 分割 16CH モデル : 最大 16 分割
	OSD メニューを非表示にします。
	再生中、映像を 5 秒戻します。
	再生中: 巻戻しを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中: コマ戻しを行います。(1 フレームずつ戻します。)
	逆方向再生をします。
	再生中に一時停止をします。
	正方向再生をします。
	再生中: 早送りを行います。 クリックするごとに倍率を変更できます。(x2 / x4 / x8 / x16 / x32 / x64) 一時停止中: コマ送りをを行います。(1 フレームずつ進みます。)
	再生中、映像を 5 秒送ります。
	1 画面表示のとき、デジタルズーム画面に入ります。 ※ 詳細は、「 2.5 デジタルズーム(2-7 ページ) 」をご覧ください。
	1 画面表示のとき、カメラのスナップショット(静止画)を保存します。 ※ 詳細は、「 スナップショットの保存(4-10 ページ) 」をご覧ください。
	録画映像をバックアップするためのリザーブデータ(予約)を作成します。 ※ 詳細は、「 再生画面でのバックアップ予約の作成(4-12 ページ) 」をご覧ください。

【 スナップショットの保存 】

ライブ映像や記録映像の 1 コマを静止画として保存することができます。

※ カメラからの映像がないチャンネルは、スナップショットを行うことはできません。

以下の手順で、静止画を保存することができます。

1. スナップショットを行う CH を選択し、表示パネル上で右クリックします。



2. 「静止画」をクリックし、静止画取得画面を表示します。



3. 「書込」をクリックすると、USB メモリーなどに静止画を保存することができます。
「リザーブ」をクリックすると、現在の静止画のリザーブデータとして、保存することができます。

4. 〈 書込 〉をクリックした場合、さらに書込み設定画面が表示されます。



書込設定メニューの項目

項目	説明
デバイス名	USB メモリーなどを接続している場合、外部メモリー名を表示します。
タグ名	バックアップデータの名前を入力します。(必須)
メモ	テキストデータ内にメモとして情報を入力することができます。(任意)
バックアップ	静止画のバックアップを開始します。
デバイス フォーマット後に 書込	バックアップ先のデバイス内をフォーマットし、 その後、静止画のバックアップを開始します。 ※ あらかじめデバイス内に保存されているデータは全て消去されます。
キャンセル	静止画のバックアップを中止します。

5. 〈 デバイス名 〉と〈 タグ名 〉を設定後、〈 バックアップ 〉をクリックします。
6. 「データの書込みが正常に完了しました。」と表示されたら、バックアップ完了です。



【 再生画面でのバックアップ予約の作成 】

映像を再生中、その時点からのバックアップを行いたい場合に、バックアップ予約(リザーブデータ)を作成することができます。

再生中にリザーブデータをいくつか作成しておくことで、映像検索終了時に、データを USB メモリーなどへ書き込むことができます。

以下の手順でバックアップを予約することができます。

1. 記録映像を再生中、バックアップする映像の開始点となるシーンで、〈 一時停止 〉します。

2. 再生画面右下の予約アイコン  をクリックします。

3. リザーブ設定画面にて、タグ名を入力し、〈 開始 〉をクリックします。



リザーブ設定

タグ test1

バックアップチャンネル

開始

終了

メモ test date

情報

バックアップチャンネル

CH1 CH2 CH3 CH4

ログ コーデック

* データ保存中はすべてのチャンネルがキープされます。

リザーブ 実行 開始 停止 閉じる

リザーブ設定メニューの項目

項目	説明
タグ	リザーブデータのタイトルを入力します。(必須)
開始	バックアップ映像開始時刻を表示します。
終了	バックアップ映像終了時刻を表示します。
メモ	ブックマークのコメントを入力します。(任意)
情報	バックアップデータの容量を表示します。
バックアップ チャンネル	バックアップを実行するカメラチャンネルを選択します。

項目	説明
ログ	ログのテキストデータも保存する場合は、チェックを入れます。
コーデック	チェックを入れると、バックアップ時に映像再生に必要なコーデックも保存します。
POS ログ	使用しません。
リザーブ	リザーブデータを作成します。
実行	バックアップを開始/再開します。
開始	開始点において、ブックマークを開始します。
停止	終了点において、ブックマークを終了します。

※ リザーブデータを作成中は、リザーブ作成アイコンが  と表示されます。

4. バックアップ映像の終了点となるシーンまで映像を進め、再度〈 一時停止 〉をクリックします。

5. 再生画面右下の  をクリックし、再度、リザーブ設定画面を表示します。

リザーブ設定

タグ

test1

バックアップチャンネル

✓ CH1

✓ CH2

✓ CH3

✓ CH4

開始

2016-08-10 07:23:13

終了

2016-08-10 07:23:17

メモ

test date

情報

6.9 MB

✓ ログ

✓ コーデック

* データ保存中はすべてのチャンネルがキープされます。

リザーブ

実行

開始

停止

閉じる

6. 〈 停止 〉をクリックし、〈 リザーブ 〉をクリックするとバックアップ予約が完了します。
 〈 実行 〉をクリックした場合、リザーブデータ作成を再開します。

※ ブックマークした映像を実際に USB メモリーなどに保存するには、
 「 5 章 バックアップ(5-1 ページ) 」をご覧ください。

5章 バックアップ

録画映像を USB メモリーまたは FTP サーバーにバックアップを行います。

【 バックアップ画面に入るには 】



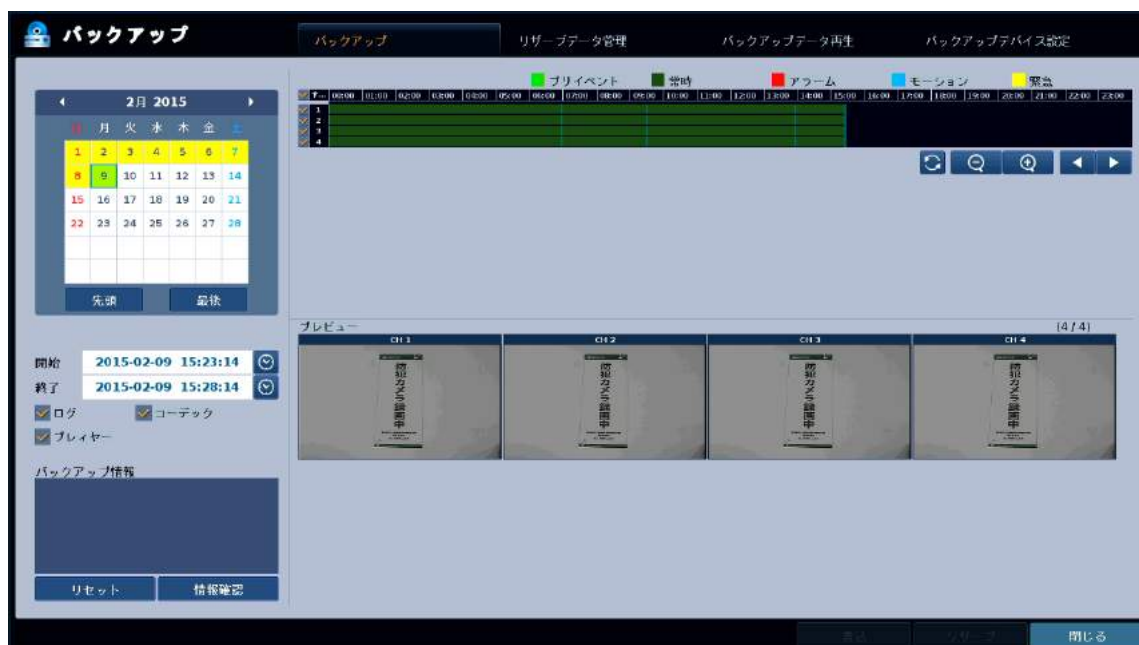
ライブ画面左下の  をクリックして、〈 バックアップ 〉をクリックします。

※ 再生画面からバックアップを行う場合は、「再生画面でのバックアップ予約の作成(4-12 ページ)」をご覧ください。

5.1 バックアップ

◆ メニュー > バックアップ > バックアップ

開始日時と終了日時を指定してバックアップすることができます。



以下の手順でバックアップを行うことができます。

※ あらかじめ USB メモリーなどの保存先デバイスを本機に接続してください。

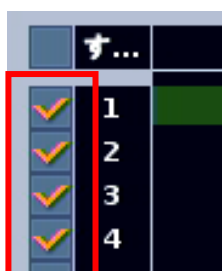
1. 画面左上のカレンダーから、バックアップする映像の日付を選択します。
※ カレンダーの操作については、「 4.2 タイムサーチ(4-2 ページ) 」をご覧ください。
2. 画面右上のタイムバーから、映像をバックアップする時間帯をドラッグ&ドロップで範囲選択します。



※ タイムバーの操作については、「 4.2 タイムサーチ(4-3 ページ) 」をご覧ください。

※ 1 度にバックアップできるデータ容量は、最大 20GB です。

3. タイムバーの左側のチェックボックスをクリックし、バックアップを行うカメラチャンネルを選択します。



4. 開始時刻および終了時刻をさらに調整する場合は、カレンダー下の〈 開始 〉および〈 終了 〉から時刻を指定します。
5. 画面左のチェックボックスで、映像と一緒に保存するデータの設定を行います。
 - ログ ... チェックを入れると、バックアップ映像のイベントログのテキストデータを保存します。
 - プレイヤー ... チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なプレイヤーを保存します。
 - コーデック ... チェックを入れると、バックアップ映像を PC で再生するために必要なビデオコーデックを保存します。

6. 画面左下の〈 情報確認 〉をクリックします。

〈 バックアップ情報 〉欄にバックアップを行うデータの容量を表示します。



7. 画面右下の〈 書込み 〉をクリックします。

※ 〈 リザーブ 〉をクリックすると、リザーブデータに追加されます。

→詳細は、「 5.2 リザーブデータ管理(5-4 ページ) 」をご覧ください。

8. 〈 デバイス名 〉から USB メモリーなどの保存先デバイスを指定します。

〈 データ形式 〉は、AVI を選択し、〈 タグ名 〉に任意の名称を設定します。

9. 〈 バックアップ 〉をクリックすると、バックアップを実行します。

〈 デバイスフォーマット後にバックアップ 〉をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※ バックアップ中は、全ての操作ができなくなります。

バックアップ完了まで、キャンセルができないのでご注意ください。

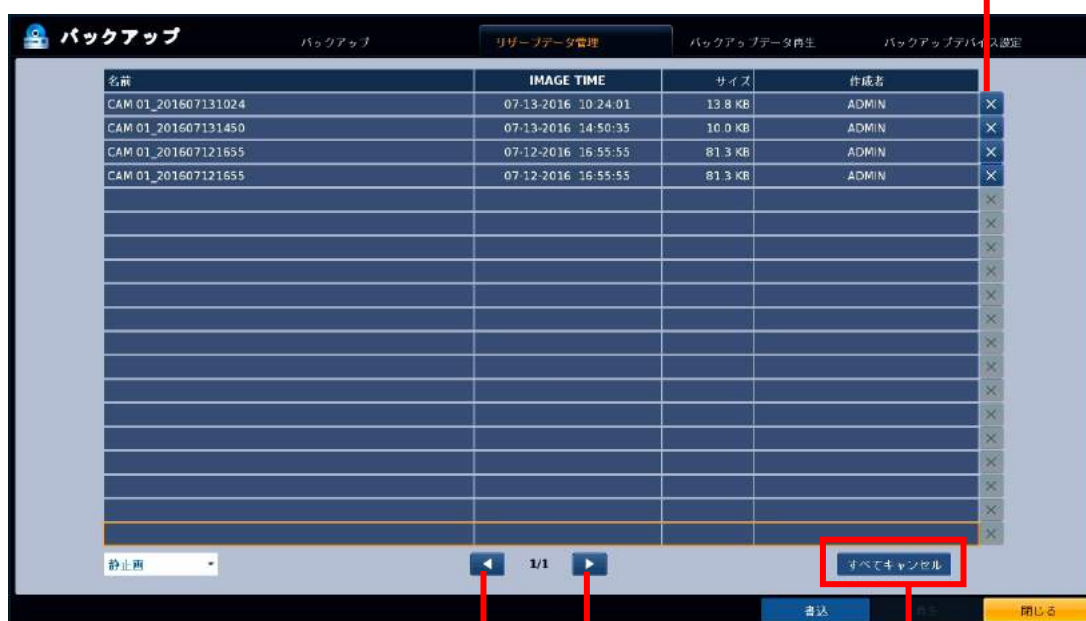
5.2 リザーブデータ管理

◆ メニュー ＞ バックアップ ＞ リザーブデータ管理

リザーブデータ(バックアップ予約)に追加したファイル(バックアップ予約したファイル)を実際に保存先デバイスに保存することができます。

※ リザーブデータの保存方法は、「再生画面でのバックアップ予約の作成(4-12 ページ)」をご覧ください。

リザーブデータを
1 件ずつ削除します。



次のページへ

前のページへ

すべてのリザーブデータを
削除します。

以下の手順でバックアップを行うことができます。

※ あらかじめ、USB メモリーなどの保存先デバイスを本機に接続してください。

1. リストの中からバックアップを行うデータをクリックして選択します。

※ 選択したファイルは、赤色の枠で囲まれます。

2. 画面右下の〈 書込み 〉をクリックします。

※ 〈 再生 〉をクリックすると映像を再生します。

3. 〈デバイス名〉から USB メモリーなどの保存先デバイスを指定します。
〈データ形式〉は、AVIを選択し、タグ名に任意の名称を入力します。



書込

デバイス名 データ形式

bNAND2 Memory AVI

タグ名

test

メモ

進行状況

バックアップ デバイスフォーマット後... キャンセル

4. 〈バックアップ〉をクリックすると、バックアップを実行します。
〈デバイスフォーマット後バックアップ〉をクリックすると、始めに保存先デバイスをフォーマットし、その後、バックアップを行います。

※ バックアップ中は、全ての操作ができなくなります。
バックアップ完了まで、キャンセルができないのでご注意ください。

5.3 バックアップデータ再生

◆ メニュー > バックアップ > バックアップデータ再生

USB メモリーを本機に接続し、USB メモリーにバックアップした映像を本機で再生することができます。
また、バックアップデータの情報を確認することができます。



クリックすると、
保存した日時や
容量などの情報を
表示します。

[前のページへ](#) [次のページへ](#)

以下の手順で、USB メモリー内のバックアップ映像を再生することができます。

1. 画面上の「検索」をクリックし、USB メモリー内のバックアップ映像のリストを表示します。
2. リストの中から、再生したいデータをクリックして選択します。
※ 選択したファイルは赤色の枠で表示されます。
3. 画面右下の「再生」をクリックすると映像を再生します。

5.4 バックアップデバイス設定

◆ メニュー > バックアップ > バックアップデバイス設定

バックアップ映像を FTP サーバーへ保存する際の、保存先 FTP サーバーを設定することができます。



バックアップデバイス設定メニューの項目

項目	説明
ホスト名	FTP サーバーのアドレスを入力します。
ポート	FTP サーバーで使用するポート番号を入力します。
ユーザー名	FTP サーバーに登録しているユーザー名を入力します。
パスワード	FTP サーバーに登録しているパスワードを入力します。
ディレクトリ	FTP サーバー内の保存先ディレクトリのパスを入力します。
接続テスト	クリックすると、FTP サーバーへアクセスできるかどうかのテストを行います。

5.5 PC でのバックアップ映像の再生

バックアップ映像を PC で再生することができます。

動作確認済み OS は、Windows7 / 8 / 8.1 / 10 です。

バックアップしたメディアを PC で展開すると、以下のようにフォルダが作成されています。



フォルダ名 : ARCHIVE(タグ名)_バックアップ開始日時_バックアップ終了日時

このフォルダ内には、以下の 3 つ(または 2 つ)のフォルダおよびファイルが保存されています。



PLAYER

専用プレイヤーおよびビデオコーデックが保存されています。



arch_info
テキストドキュメント
5 KB

ログを保存した場合、この TXT ファイルが保存されています。



ch01(CAM1)_15
0209120828_15
0209120916_00
_12MB_ADMIN

バックアップ映像ファイルです。

ファイル名 :

CH 番号(カメラ名) __ 開始点の年年月月日日時時分分秒秒

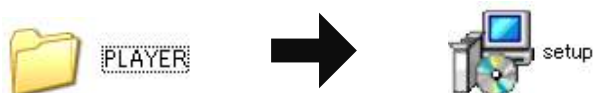
__ 終了点の年年月月日日時時分分秒秒 __ 保存回数 __

データサイズ __ ユーザー名

5.5.1 Windows Media Player での再生(ビデオコーデックのインストール)

本機で使用するビデオコーデックを PC にインストールすることで、Windows Media Player でバックアップ映像を再生することができます。

1. 「 Player 」フォルダ内の「 Setup 」ファイルを開きます。



2. 画面の指示に従ってインストールを開始します。

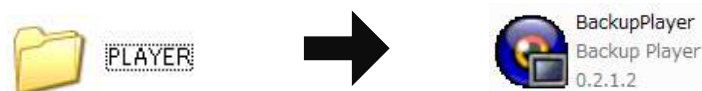


3. インストール完了後、〈 Finish 〉をクリックして完了となります。
完了後、バックアップ映像ファイルが、Windows Media Player で再生可能になります。



5.5.2 専用プレイヤーでの再生

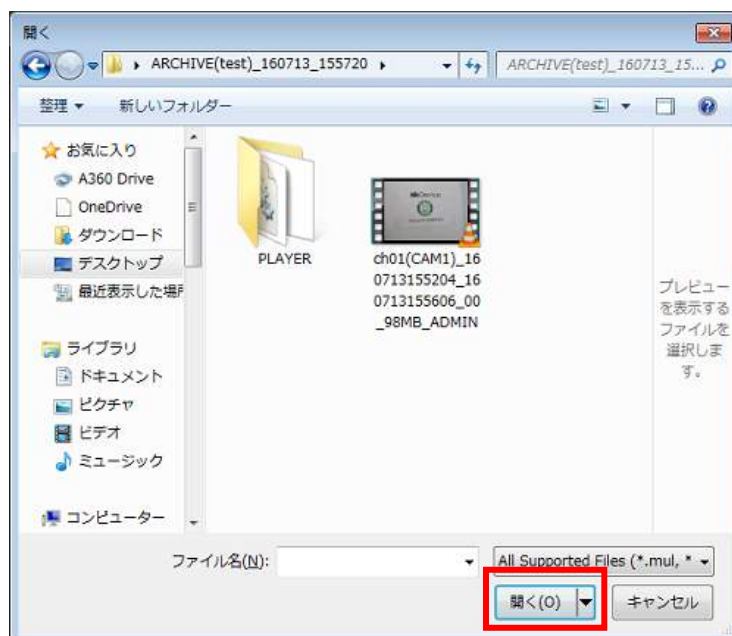
1. 「 Player 」フォルダ内の「 BackupPlayer 」を開きます。



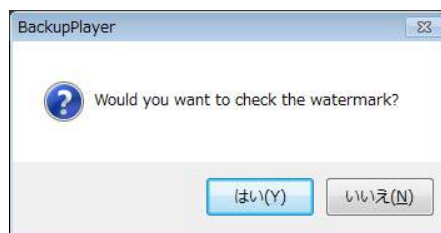
2. プレイヤー左下の「ファイルオープン」アイコンをクリックします。



3. バックアップ映像ファイルのあるフォルダを参照し、ファイルを選択して「開く」をクリックします。



4. 以下のウィンドウで、〈 はい 〉をクリックします。

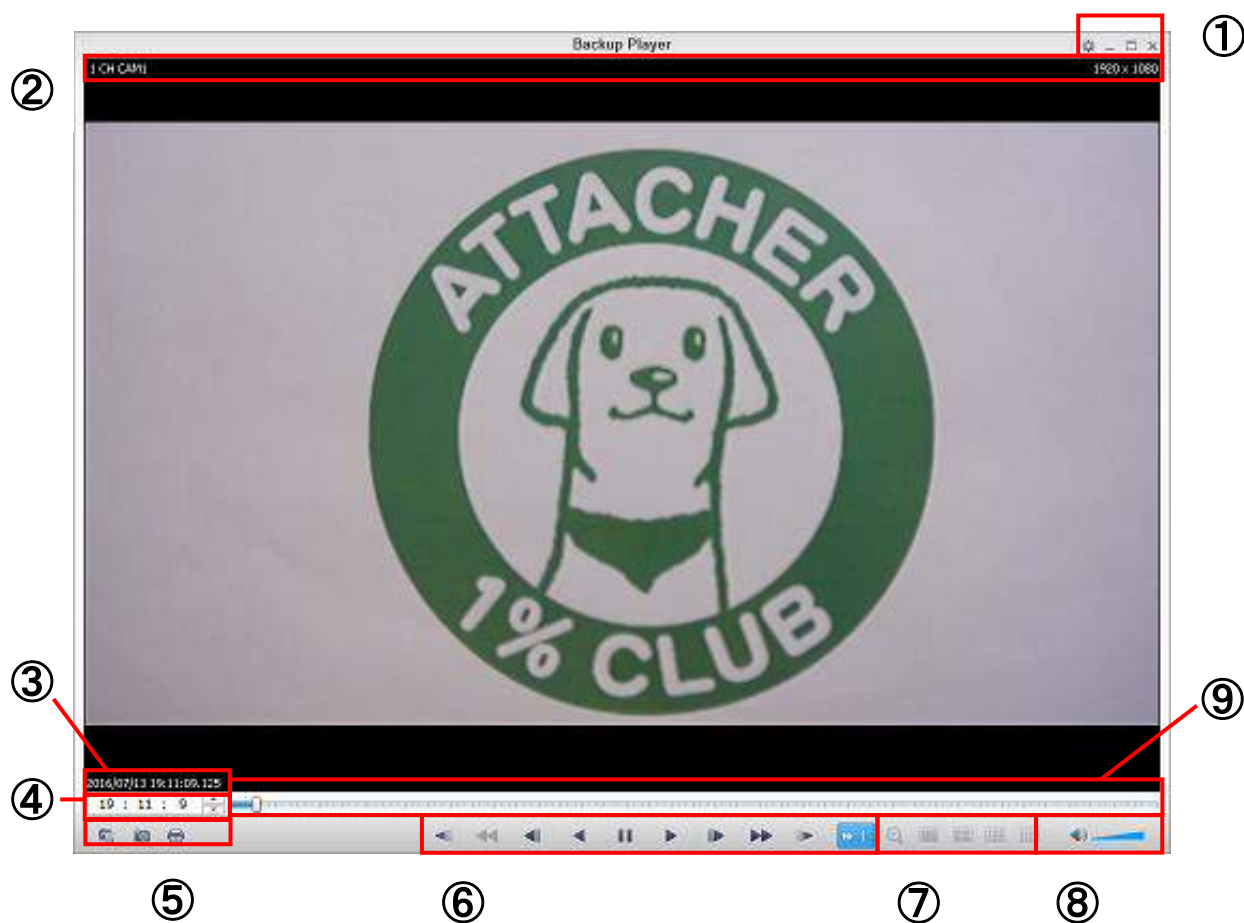


5. バックアップ映像が再生されます。



※ 専用プレイヤーの操作については、「 5.5.3 専用プレイヤーでの操作(5-12 ページ) 」をご覧ください。

5.5.3 専用プレイヤーでの操作



番号	名称	説明
①	設定	プレイヤーの設定を行います。
	最小化/閉じる	ウィンドウを最小化したり終了したりします。
②	映像情報	解像度等の情報を表示します。
③	再生時刻	再生中の時刻を表示します。
④	タイムバー時刻	タイムバーの時刻を表示します。
⑤	ファイルオープン	ファイルを指定して読み込みます。
	スナップショット	再生中の映像のスナップショットを保存します。
	印刷	再生中の映像を印刷します。
⑥	操作アイコン	再生映像の早送りや巻戻しを行います。 操作については、「 操作アイコンについて(5-13 ページ) 」をご覧ください。
⑦	画面表示	1 画面表示/分割画面表示を切り替えます。
⑧	音量	音量を調整します。
⑨	タイムバー	映像の再生位置を表示します。

【 操作アイコンについて 】

アイコン	説明
	映像を逆方向にスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。($\times 1/2$ / $\times 1/4$ / $\times 1/8$)
	映像を早巻き戻しします。 クリックするごとに倍率を変更できます。($\times 2$ / $\times 4$ / $\times 8$ / $\times 16$)
	一時停止中、1 秒前の映像に移動します。
	映像を逆再生します。
	映像を一時停止します。
	映像を再生します。
	一時停止中、1 秒後の映像に移動します。
	映像を早送りします。 クリックするごとに倍率を変更できます。($\times 2$ / $\times 4$ / $\times 8$ / $\times 16$)
	映像をスロー再生します。 クリックするごとに倍率を変更できます。($\times 1/2$ / $\times 1/4$ / $\times 1/8$)
	再生速度を表示します。

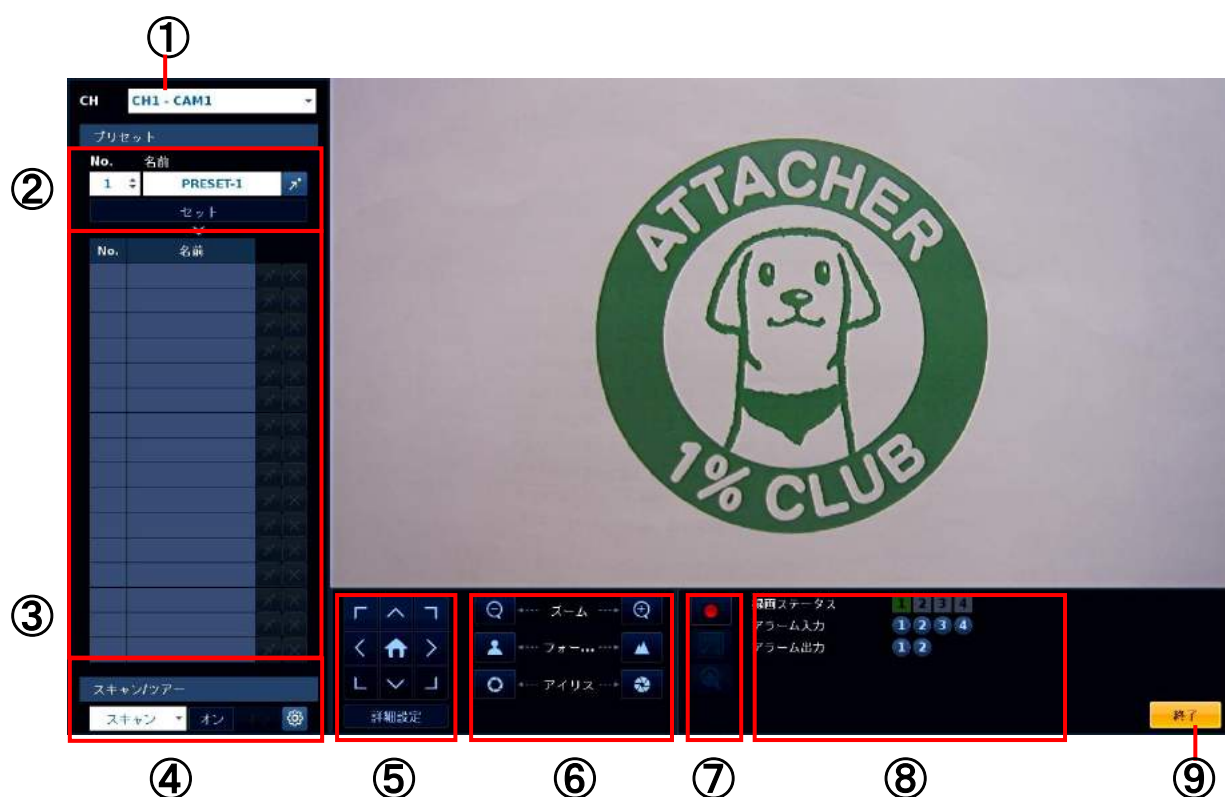
6章 PTZ 操作

PTZ 対応カメラを接続して、本機でカメラの PTZ コントロールを行うことができます。

6.1 PTZ 操作画面に入るには

ライブ画面で PTZ カメラを接続しているカメラチャンネルを 1 画面表示にし、

ステータスバーの  をクリックすることで、PTZ 操作画面に切り替わります。



PTZ 操作設定メニューの項目

番号	名称	説明
①	CH 切換え	PTZ 操作を行うカメラ CH を選択します。
②	プリセット	プリセットの登録 …… プリセット NO.を選択し、名前を入力して〈 セット 〉をクリックすると、下のリストに追加されます。 プリセットの移動 …… プリセット NO.を選択し、 をクリックすると登録したプリセットに移動します。
③	プリセットリスト	 …… クリックするとそのプリセットに移動します。  …… クリックするとそのプリセットを削除します。
④	スキャン/ツアー	スキャンやツアー(自動巡回)の設定および動作をオン/オフします。  …… クリックすると、それぞれの設定画面に入ります。 <u>スキャン</u> : 2つのプリセット間を交互に移動します。 設定画面では2つのプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈 OK 〉をクリックします。 〈 OK 〉をクリックするとスキャンを開始します。 <u>ツアー(自動巡回)</u> : 最大 16 のプリセットを順番に移動します。 設定画面では、上から順に移動させるプリセット位置を決定し、何秒間停止させるかを選択して〈 OK 〉をクリックします。 〈 OK 〉をクリックするとツアーを開始します。
⑤	パン・チルト	パン・チルト方向に移動を行います。  カメラのホームポジションに移動します。
	詳細設定	PTZ 速度等の詳細設定画面に入ります。
⑥	ズーム/フォーカス/アイリス	ズーム/フォーカス/アイリスの設定を行います。
⑦	ライブアイコン	ライブ画面と同様、緊急録画や音声出力切換え等を行います。
⑧	ステータス	録画やアラームのステータスを表示します。
⑨	終了	ライブ画面に戻ります。

6.2 AHD カメラの OSD 設定

PTZ 操作画面にて、AHD カメラの OSD (オン・スクリーン・ディスプレイ) 設定を表示させることができます。
OSD 設定より AHD カメラ本体の設定を変更することができます。

※ UTC 対応の AHD カメラのみ有効となります。

また、ワンケーブルカメラなど、カメラとレコーダーが直接接続されていない場合は、
本機能を使用することはできません。

6.2.1 プロトコル設定手順

本機能を使用する場合、あらかじめ AHD カメラのプロトコルを設定する必要があります。
以下の手順で、カメラのプロトコルを設定します。

- ① ライブ画面のメニュー ＞ システム設定 ＞ カメラ ＞ PTZ 設定 の順に進み、設定画面を開きます。



- ② 接続中のカメラチャンネルの「プロトコル」欄を選択し、「COAXITRON」に変更します。

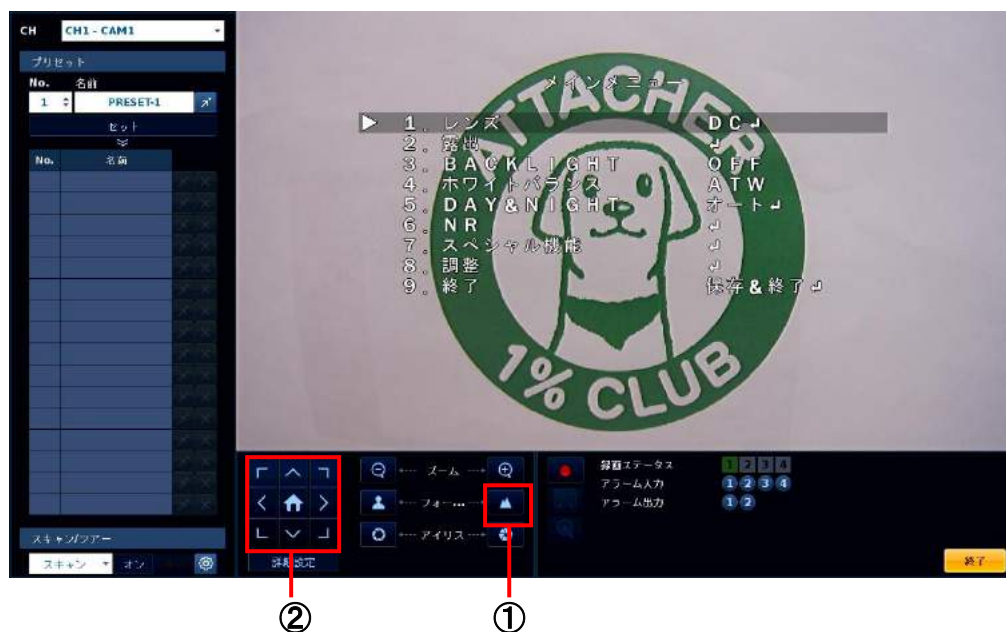
※ 初期設定は、「COAXITRON」となっています。

CH	アドレス	プロトコル	ボーレート
1 CAM1	0	COAXITRON	9600
2 CAM2	0	PELCO-D	9600
3 CAM3	0	PELCO-D	9600
4 CAM4	0	PELCO-D	9600

- ③ 変更後、画面右下の「適用」をクリックし、設定を保存して完了です。

6.2.2 OSD 操作方法

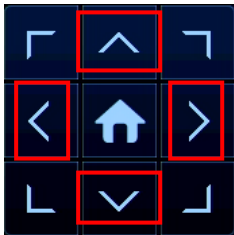
本機から AHD カメラの OSD 操作を行う場合、ボタン対応は以下のようにになっています。



- ① OSD メニューを表示させる / 設定値の決定をする 場合は、

フォーカスアイコン  をクリックします。

- ② OSD 画面上でカーソルの移動 / 設定値を変更する 場合は、

画角調整アイコン  の上下左右アイコンをクリックします。

※ 各斜め方向アイコン及び中央のホームアイコンは使用できません。

※ OSD 設定の内容については、AHD カメラの取扱説明書をご覧ください。

7章 遠隔監視

PC を用いて遠隔地から本機へアクセスします。

PC 側の操作でライブ監視、検索・再生、設定変更などの操作を行うことができます。

※ 接続には、InternetExploere を使用してください。

※ Windows10 の場合、標準のブラウザは Edge(エッジ)となっていますので、ご注意ください。

【 推奨 PC のスペック 】

OS	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上
メモリー	4GB 以上
ストレージ空き容量	1GB 以上（Active X インストール用）
ネットワーク	100BASE-T 以上
解像度	1920 x 1080

7.1 WEB ビューアーへのアクセス

以下の手順で、PC から本機へ遠隔アクセスすることができます。

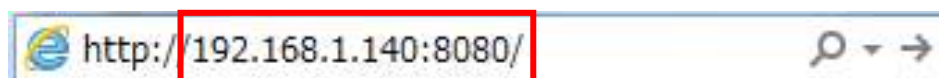
1. Internet Explorer を開き、アドレスバーに本機の IP アドレスまたは URL を入力します。

- IP アドレスを入力する場合 … 本機の IP アドレスのみを入力します。
 - URL を入力する場合 … 本機の DDNS 設定で入力したドメインを入力します。
- ※ 詳細は、「 3.5.2 DDNS 設定(3-33 ページ) 」をご覧ください。

本機の初期 WEB サーバーポート番号は、「8080」なので、アドレスまたはドメインの後に、「:8080」を入力します。

※ WEB サーバーポートを変更した場合は、アドレスまたはドメインの後に「:WEB サーバーポート番号」を入力します。

※ IP アドレスおよび WEB サーバーポートの設定は、「 3.5.1 IP 設定(3-31 ページ) 」をご覧ください。



IP アドレス : ポート番号

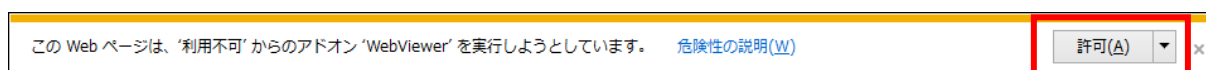
2. 本機に設定したユーザー名およびパスワードを入力します。

※ 初期設定では、ユーザー名 : ADMIN / パスワード : 1234 となっています。

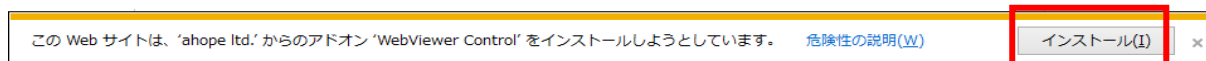


3. 〈 OK 〉をクリックすると、WEB ビューワーが表示されます。

4. PC 画面下に表示されるメッセージの「許可」をクリックします。



5. しばらくすると再度 PC 画面下にメッセージが表示されるので、「インストール」をクリックします。



6. インストール完了後、ライブ画面が表示されます。



7.2 WEB ビューワーの操作

【 ライブ画面 】

ライブ画面下の操作パネルで、以下の操作をすることができます。

※ ライブ画面のそれぞれのカメラ CH をダブルクリックすることで、1 画面表示にすることができます。
再度ダブルクリックすると分割画面表示に戻ります。



WEB ビューワー操作の項目

番号	名称	説明
①	画面表示切換え	画面表示(1 画面表示/分割画面表示)を切換えます。
②	CH シフト	クリックするごとに 1CH ずつ CH を左にシフトします。
③	全画面表示	カメラ映像を全画面で表示します。 ※ 全画面表示時に「Esc」キーで元の画面に戻ります。
④	マイク入力	PC に接続したマイクからレコーダーへ音声出力するかどうかが選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑤	音声出力	レコーダーの出力音声を PC のスピーカーから出力するかどうかが選択します。クリックするたびに ON/OFF が切替わります。
⑥	チャンネル表示	CH 番号を選択すると、その CH の 1 画面表示に切替わります。
⑦	ライブ映像保存	クリックすると、ライブ映像を PC の HDD へ保存を開始します。 もう一度クリックすると保存を停止します。 ※ 保存先ディレクトリは ⑩ ビューワー設定 で指定します。
⑧	プリンタ出力	ライブ画面をプリンタへ出力し、印刷します。
⑨	スナップショット	ライブ画面のスナップショットを保存します。 ※ 保存先ディレクトリは ⑩ ビューワー設定 で指定します。
⑪	タブ	状態表示タブ/ログ表示タブ/PTZ 操作タブを切換えます。

状態タブの項目

番号	名称	説明
⑫	状態表示	アラーム入力(レコーダー) : レコーダーへのアラーム入力を検知するとアイコンが表示されます。 モーション : モーションを検知するとアイコンが表示されます。 ビデオロス : ビデオ映像が遮断されるとアイコンが表示されます。 録画 : 録画中にアイコンが表示されます。 アラーム出力(レコーダー) : レコーダーからアラーム出力を発報中にアイコンが表示されます。
⑬	更新間隔	状態表示を読み込む間隔を設定します。
⑭	更新	クリックすると状態表示を更新します。

〈 ログ 〉タブを選択すると、レコーダーが記録したログリストが表示されます。

状況

ログ

PTZ

No.	カメラタイトル	日時	ログ
1		2015,02,09 17:14:40	ライブ: ADMINログオン 192.168.1.22,
2		2015,02,09 16:54:47	ネットワーク: WANポート 接続
3	CAM4	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 04 : 常時録画 スタート
4	CAM3	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 03 : 常時録画 スタート
5	CAM2	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 02 : 常時録画 スタート
6	CAM1	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 01 : 常時録画 スタート
7	CAM4	2015,02,09 16:54:32	モーション: # 04モーション 復帰
8	CAM4	2015,02,09 16:54:32	録画: CH 04 : モーション録画 ストップ

上へ

下へ

更新 3秒

更新

ログタブの項目

番号	名称	説明
①	ログリスト	ログリストを新しい順に表示します。
②	ページ送り	前ページを選択すると古いログのページへ、 次ページを選択すると新しいログのページへ移動します。
③	更新間隔	ログリストを読み込む間隔を設定します。
④	更新	クリックするとログリストを更新します。

〈 PTZ 〉タブを選択すると、レコーダーに接続した PTZ カメラを操作することができます。
操作したい PTZ カメラの CH を①画面表示にすることで操作可能となります。



PTZ タブの項目

番号	名称	説明
①	プリセット登録	カメラ位置をプリセット番号登録したり、移動したりすることができます。
②	ステップ	カメラの移動速度を設定します。
③	ズーム	ズームイン/ズームアウトを行います。
④	フォーカス	カメラのフォーカスを調整します。
⑤	アイリス	カメラのアイリスを調整します。
⑥	パン・チルト	カメラのパン・チルト移動を行います。

【 検索画面 】



カメラ映像上部の〈 サーチ 〉タブをクリックすると、レコーダーの録画映像を検索・再生する画面に切り替わります。

検索画面では、操作パネルが一部変化します。



① ② ③ ④ ⑤

番号	名称	説明
①	巻戻し	映像を巻戻します。
②	逆再生	映像を逆方向に再生します。
③	一時停止	映像を一時停止します。
④	再生	映像を順方向に再生します。
⑤	早送り	映像を早送りします。



⑦ [BACKUP PLAYERをダウンロード](#)

タイムサーチタブの操作項目

番号	名称	説明
①	日時	検索する日時を指定します。
②	更新	画面表示を最新の状態に更新します。
③	再生	指定した日時の映像を再生します。
④	バックアップ	PC の HDD へ映像をバックアップします。 表示されるウィンドウで開始時間・終了時間・カメラ CH を選択します。
⑤	タイムライン	映像がある場合、録画モードごとに色別で表示されます。
⑥	タイムバー	ドラッグ & ドロップすることで、再生する映像の時刻を移動することができます。
⑦	PLAYER ダウンロード	PC にバックアップした映像を PC 上で再生するための PLAYER をダウンロードします。

〈 イベントサーチ 〉タブをクリックすると、イベントサーチを行います。

① イベント

② 期間

③ 降順

④ サーチ

⑤

⑥ 上へ 下へ

イベントサーチタブの操作項目

番号	名称	説明
①	イベント選択	検索対象とするイベントを選択します。
②	検索範囲	検索開始点と終了点を指定します。
③	検索順位	検索結果を新しい順で表示するか、古い順で表示するかを選択します。
④	サーチ	クリックすると検索結果を表示します。
⑤	ログリスト	検索結果が表示されます。 項目をクリックすると、その映像が再生されます。
⑥	ページ送り	下へ を選択すると古いログのページへ、上へ を選択すると新しいログのページへ移動します。

【 設定画面 】

カメラ映像上部の〈 設定 〉タブをクリックすると、レコーダーの本体設定を行う画面に切り替わります。

The screenshot displays the '設定' (Settings) tab in the top navigation bar. On the left, a sidebar menu lists various settings categories, with 'カメラ' (Camera) expanded and 'カメラタイトル' (Camera Title) selected. The main content area is titled 'カメラタイトル' and contains a table for configuring titles for each camera channel. The table has two columns: 'CH' (Channel) and 'カメラタイトル' (Camera Title). The rows are for 'すべて' (All), '1', '2', '3', and '4'. The 'すべて' row is currently empty, while the others contain 'CAM1', 'CAM2', 'CAM3', and 'CAM4' respectively. Below the table, there are two buttons: '適用' (Apply) and 'キャンセル' (Cancel).

CH	カメラタイトル
すべて	
1	CAM1
2	CAM2
3	CAM3
4	CAM4

設定項目については本体設定と同様です。

詳細は、「 3 章 各種設定 (3-1 ページ) 」をご覧ください。

※ 本機で設定画面を開いているときは、PC から設定変更することはできません。

8章 スマートフォンからの接続

スマートフォンの専用アプリ「nViewer」をダウンロードすることで、スマートフォンから本機へアクセスし、ライブ映像監視などを行うことができます。

【 スマートフォンの推奨スペック 】

- Android（Android は、Google Inc.の登録商品です。）

プロセッサー …… 1GHz以上

フラッシュ …… 512MB 以上

RAM …… 512MB 以上

SD カード …… 16GB 以上

OS …… Android 4.0 以上

- iPhone（iPhone は、Apple Inc.の登録商品です。）

iPhone5 以上

iPhone OS 9 以上

※ スマートフォン専用アプリ「nViewer」のご利用について（免責事項）

nViewer のご利用の際は下記の内容に同意したうえでご利用ください。

nViewer のご利用はお客様の責任の下でご利用ください。

nViewer のダウンロードおよびご利用には通信費が発生する場合がございます。

発生した通信費に関して、当社は一切の責任を負いません。

8.1 nViewer のインストール

以下の手順でアプリをインストールしてください。

【 iPhone の場合 】

1. メニュー画面から App Store を開きます。



2. 検索欄に「nViewer」と入力し、検索します。



3. 「nViewer」をインストールします。

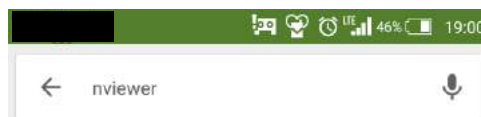


【 Android の場合 】

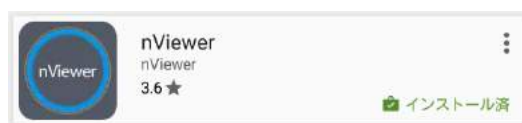
1. メニュー画面から Play ストアを開きます。



2. 検索欄に「nViewer」と入力し、検索します。



3. 「nViewer」をインストールします。



8.2 初回接続設定

【 iPhone の場合 】

1. メニュー画面で「 nViewer 」を起動します。



2. 画面右上の「 + 」をタップします。



3. 「 Server Name (任意) 」を入力します。



4. 「 IP/Domain (本機の IP アドレス) 」
「 HTTP Port (本機の WEB サーバー
ポート) 」
「 RTSP Port (本機の RTSP ポート) 」
をそれぞれ入力します。



5. 画面下へスクロールし、
「 ID (本機のユーザー名) 」
「 Password (本機のパスワード) 」をそれ
ぞれ入力し、「 Save 」を選択します。



6. 登録した情報が接続リストに追加されま
す。
リストからタップすると、本機へ接続します。



【 Android の場合 】

1. メニュー画面で「 nViewer 」を起動します。



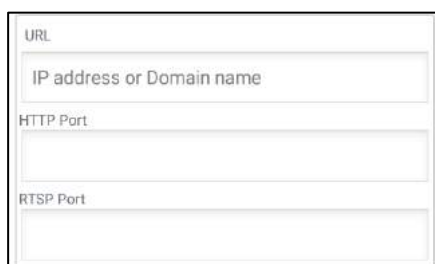
2. 画面右下の「 + 」を選択します。



3. 「 Server Name(任意) 」を入力します。



4. 「 URL(本機の IP アドレス) 」
「 HTTP Port(本機の WEB サーバー
ポート) 」
「 RTSP Port(本機の RTSP ポート) 」
をそれぞれ入力します。



5. 「 DVR/NVR UserID
(本機のユーザー名) 」
「 DVR/NVR Password
(本機のパスワード) 」
をそれぞれ入力し、
「 Save 」をタップします。



6. 登録した情報が接続先リストに
追加されます。
リストからタップすると、本機へ接続します。



8.3 ライブ画面の操作

接続先リストから本機を選択すると本機へ接続し、ライブ画面が表示されます。
ライブ画面をタッチすると、メニュー画面が表示されます。

【 iPhone の場合 】



ライブ画面を左右に指でフリックすることで、CH 切り替えを行います。

【 Android の場合 】



8.4 タイムサーチ画面

【 iPhone の場合 】

ライブ画面で「タイムサーチ」をタップします。

「Date」で日付を選択し、「Time」で時刻を選択します。

「Channel」で再生するカメラチャンネルを選択します。



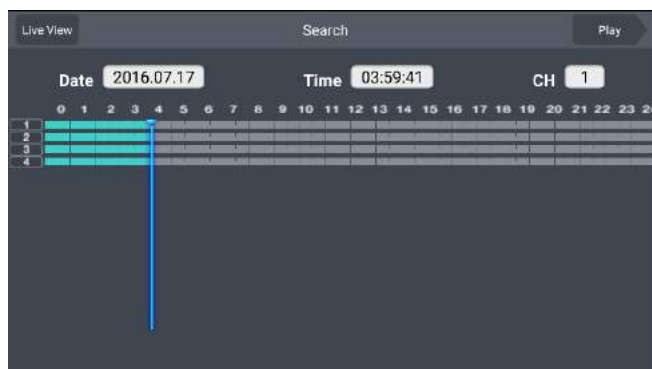
画面右上の  をタップすると、映像が再生されます。

【 Android の場合 】

ライブ画面で「タイムサーチ」をタップします。

「Date」で日付を選択し、「Time」で時刻を選択します。

「Channel」で再生するカメラチャンネルを選択します。



画面右上の「Play」をタップすると、映像が再生されます。

8.5 ログ検索

【 iPhone の場合 】

ライブ画面で「 イベントサーチ 」を選択します。

「 Start 」 「 End 」 で検索範囲の開始点・終了点を選択します。

「 Filter Option 」 で検索対象とするイベントを選択します。

No.	CH	Date/Time	Log
1		2015/02/09 19:13:27	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
2		2015/02/09 17:51:47	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 118.103.93.114
3		2015/02/09 17:48:58	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 118.103.93.114
4		2015/02/09 17:45:35	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
5		2015/02/09 17:45:34	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
6		2015/02/09 17:44:32	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116
7		2015/02/09 17:44:23	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.201.111.116

画面右上の「 Search 」をタップすると、ログリストが表示されます。

【 Android の場合 】

ライブ画面で「 Log View 」をタップします。

「 Start 」 「 End 」 で検索範囲の開始点・終了点を選択します。

「 Filter Option 」 で検索対象とするイベントを選択します。

No.	CH	Date / Time	Log
1		2016/07/17 17:22:03	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
2		2016/07/17 17:21:59	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
3		2016/07/17 17:21:57	REMOTE LOG ON : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245
4		2016/07/17 17:19:30	REMOTE LOG OFF : LIVE DISPLAY : ADMIN: 125.30.15.245

画面右上の「 Search 」をタップするとログリストが表示されます。

9章

トラブルシューティング

症状	確認	対処
電源が入らない	電源コードが本体側およびコンセント側に接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。 → 1-10ページをご覧ください。
映像が何も表示されない	本体とモニターが正しく接続できていますか？	本体背面の映像出力端子にモニターを接続してください。 → 1-9ページをご覧ください。
	モニターの電源が入っていますか？	モニターの電源を「オン」にしてください。
	モニターの入力解像度は当機種に対応していますか？	対応するモニターを用意してください。 → 1-9ページをご覧ください。
カメラの映像が表示されない	カメラの電源が入っていますか？	カメラに電源を供給してください。 ワンケーブルカメラの場合は、専用のコントローラを接続してください。
	「カメラマスク」がオンになっていませんか？	カメラマスク設定で、表示したいカメラCHを「オフ」にしてください。 → 3-7ページをご覧ください。
設定画面に入れない	ログイン中のユーザーに設定の権限がありますか？	設定の権限のあるユーザーもしくは管理者でログインしてください。 → 3-27 ~ 30ページをご覧ください。
ライブ音声が出ない	カメラおよびマイクの電源が入っていますか？	カメラおよびマイクの電源を確認し、正しく接続してください。 → 1-14ページをご覧ください。 ※カメラ入力のないCHに音声入力をおこなうことはできません。
	音声出力CHの設定は正しいですか？	ライブ画面の「音声出力チャンネル」で出力する音声CHを選んでください。 → 2-9ページをご覧ください。
リモコン操作ができない	リモコンIDは正しいですか？	リモコンIDの登録が外れている可能性があります。 レコーダーにリモコンIDを入力してください。 → 1-6 ~ 7ページをご覧ください。

症状	確認	対処
マウス操作ができない	マウスがUSB端子に接続できていますか？	マウスを本体前面または本体背面のUSBポートに接続してください。 → 1-15ページをご覧ください。
カメラ映像にちらつきが生じる	東日本(50Hz電源地域)でご利用されていますか？	カメラのフリッカレス設定等を確認してください。
録画ができない	ライブ画面でカメラ映像の右上に「C」や「P」などのアイコンは表示されていますか？ アイコン表示がなければ録画が行われていません。	ライブ画面の録画モードアイコンを確認し、録画設定で正しく設定を行ってください。 → 2-2ページ、3-71 ~ 80ページをご覧ください。
	上書きはONになっていますか？	HDD動作設定で、HDD上書きモードを〈オン〉にしてください。 → 3-45ページをご覧ください。
カメラのPTZコントロールができない	カメラがPTZに対応していますか？	カメラの取扱説明書等で仕様を確認してください。
	信号線が正しく配線されていますか？	RS-485端子にPTZカメラの信号線を正しく配線してください。 → 1-13ページをご覧ください。
検索再生ができない	ログイン中のユーザーに検索再生の権限がありますか？	検索再生の権限のあるユーザーでログインしてください。 → 3-27 ~ 29ページをご覧ください。
ライブ画面中の操作が効かない	ログアウト状態になっていませんか？	ログインしてください。 → 1-17ページをご覧ください。
バックアップしたファイルが再生できない	BackupPlayer以外のプレイヤーで再生していませんか？	ビデオコーデックをインストールするか、または専用のBackupPlayerを使用して再生してください。 → 5-8 ~ 11ページをご覧ください。
PCから遠隔監視ができない	アドレス等は正しいですか？	ネットワークステータス画面でレコーダーのアドレスを確認してください。 → 3-36ページをご覧ください。

10章 製品仕様

【 本体仕様 】

品番		KB-AHR04A	KB-AHR08B	KB-AHR16B
本体仕様	カメラ接続 CH 数	4	8	16
	入力インターフェース	マウス(同梱)、リモコン(同梱)		
	電源電圧	DC12V(AC アダプター付属)		
	最大消費電力	60W	120W	
	動作温度	0℃ ～ 40℃		
	動作湿度	10 ～ 90%		
	質量	約 3.5kg (HDD 1 台のとき)	約 5.5kg (HDD 1 台のとき)	約 5.6kg (HDD 1 台のとき)
	外形寸法(mm)	360(幅) × 66(高さ) × 364(奥行) mm	430(幅) × 89(高さ) × 374(奥行) mm	
ハードウェア仕様	モニター出力	HDMI / VGA		
	スポットモニター出力	HDMI / VGA(最大 4 分割・ メインモニターと 排他利用) / BNC*1(4 分割・ シーケンシャル)	HDMI / VGA(最大 9 分割・ メインモニターと 排他利用) / BNC*1(1/4 分割)	HDMI / VGA(最大 16 分割・ メインモニターと 排他利用) / BNC*2(1～8CH の 4 分割/9～16CH の 4 分割/1 画面*1)
	音声入力	4(LINE レベル)	8(LINE レベル)	16(LINE レベル)
	音声出力	1(LINE レベル)		
	LAN(RJ-45)	10/100/1000BASE-T		
	USB 端子	3		
ライブ機能	シーケンス表示	最大 4 分割	最大 9 分割	最大 16 分割
	PTZ コントロール	RS-485 (パン・チルト・ズーム / プリセット / UTC / 自動巡回)		
	デジタルズーム	○(ライブ / 再生)		
記録機能	圧縮形式	H.264		
	記録モード	常時 / モーション / アラーム / 手動		
	解像度	AHD の場合 : 1920x1080 / 1080x720		
		アナログの場合 : 960x480/704x480/704x280/352x254		
	記録可能フレーム数	30 / 15 / 7 / 3 / 2 / 1 FPS		

	かんたん設定	○		
	HDD 冗長	×	RAID1, RAID5	
再生機能	検索モード	タイムサーチ / サムネイルサーチ / イベントサーチ		
	再生速度	最大 64 倍速		
バックアップ	ファイル形式	AVI / 独自形式		
	保存メディア	USB メモリー / FTP / クライアント PC の HDD		
イベント/アラーム	モーション検知	○(領域選択可能)		
	アラーム入力	4	8	16
	アラーム出力	1(無電圧接点)	4(無電圧接点) 4(オープンコレクタ)	8(無電圧接点) 8(オープンコレクタ)
	イベントトリガー	モーション検知/センサー入力/ネットワークエラー/HDD SMART/HDD 温度上昇/ファン異常/システム起動 内部温度/ログインエラー		
	その他イベント通知	ブザー/CH ポップアップ/メール送信/イベントプリセット		
ネットワーク	WEB ビューアー	ライブ監視 / データ検索・再生 / バックアップ / PTZ コントロール / 遠隔設定		
	対応クライアントソフト	iPIMS		
	スマートフォン ※1	iOS 9 以上 / Android 4.0 以上 ライブ監視 / データ検索・再生 / PTZ コントロール 遠隔設定		
	音声双方向通信	○		
その他	多言語	○		
	ファームウェア更新	USB メモリー		
	ネットワーク時刻同期	○		
	原産国	韓国		

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

※ 1 …… iPhone は、Apple Inc.の登録商標です。Android は Google Inc.の登録商標です。

【 クライアント PC の推奨スペック 】

OS	Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
CPU	Intel Core i5 2GHz 以上
グラフィックカード	DirectX10 以上、ビデオメモリー1GB 以上
メモリー	4GB 以上
ストレージ空き容量	1GB 以上 (Active X インストール用)
ネットワーク	100BASE-T 以上
解像度	1920 x 1080

※ 仕様は改良の為、予告無く変更することがございます。

11章 初期設定リスト

工場出荷時の初期設定値は、以下のようになっています。

第1階層	第2階層	設定項目	詳細設定項目	初期値
カメラ	カメラ タイトル			CAM1～CAM 16
	映像 設定	明るさ		50（全CH同様）
		コントラスト		50（全CH同様）
		色合い		50（全CH同様）
		彩度		50（全CH同様）
		シャープネス		4（全CH同様）
		イコライザー		オフ（全CH同様）
	カメラ マスク設定			オフ（全CH同様）
		画面表示		表示なし（全CH同様）
	モーション センサー	有効		オン（全CH同様）
		表示		オフ（全CH同様）
		感度		15/15（全CH同様）
	PTZ設定	アドレス		選択不可（全CH同様）
		プロトコル		COAXITRON（全CH同様）
		ボーレート		選択不可（全CH同様）
	プライバシー マスク	有効		オン（全CH同様）
		マスク表示色		黒（全CH同様）
		エリア設定		全エリア選択（全CH同様）
ディスプレイ	ディスプレイ	カメラタイトル		オン
		イベントアイコン		オン
		全画面表示時の ステータスバー		自動的に隠す
		全画面表示時の タイムライン		自動的に隠す
		デジタルズーム時の ワイプ画面		常にオン
		境界線		オン
		境界線の色		グレー
		ユーザー名		オン
		言語		日本語

	モニター	シーケンス切換時間		5秒
		スポット画面切換時間		5秒
	デュアル モニター	表示モード		ディスプレイ複製
		画面タイプ		メインモニター(HDMI/VGA両方)
		モニター解像度		自動(HDMI/VGA両方)
	シー ケンス			DEFAULTのみ登録済み
ディス プレイ	スポット 出力	SPOT1-4DW		SPOT OUT CH1のみ登録済み
		SPOT2-1DW (16CHのみ)		SPOT OUT CH2のみ登録済み
音声	音声	音声出力タイプ		RCA
		初期ライブ音声CH		オフ
		ネットワーク 音声送信		オン
		ネットワーク 音声受信		オン
	ブザー	リモコン		オン
ユーザー	管理			ADMINのみ登録
	グループ 権限	MANAGER		サーチ/システム設定/録画設定/ イベント動作の制御/音声出力 シャットダウン が有効
		USER		イベント動作の制御/音声出力/ シャットダウン が有効
ネット ワーク	IP設定	DHCP		チェックなし
		IPアドレス		192.168.0.100
		ゲートウェイ		192.168.0.1
		サブネットマスク		255.255.255.0
		DNSサーバー1		192.168.0.1
		DNSサーバー2		0.0.0.0
		自動 ポートアップデート		オン
		自動 ポートステータス		ネットワーク接続ができません。
		RTSPポート		5554
		WEBサーバーポート		8080
		ネットワーク 帯域制限		制限なし

	DDNS	DDNS		オン
		DDNSサーバー		dvrlink.net
		レコーダー名		MACアドレス
		ユーザー名		なし
		パスワード		なし
		DVRアドレス		MACアドレス.dvrlink.net
	メール	サーバー		空欄
		ポート		587
		ネットワーク セキュリティ		オフ
		ユーザー		空欄
		パスワード		空欄
		テストメールアドレス		空欄
システム	日付/ 時刻	日付/時刻		現在時刻
		日付表示形式		年/月/日
		時刻表示形式		24時間
		タイムサーバー		pool.ntp.org
		自動時刻同期		オフ
		同期化周期		7日
		同期時刻		00:00
		同期予定時間		設定なし。
		タイムゾーン		GMT+09:00 Asia/Tokyo
		サマータイム		オフ
	システム 管理	システムID		SYSTEMID
		パスワード		オン
		パスワード 有効期間		なし
		オートログオフ		オフ
		待機時間		選択不可
		ビデオ出力周波数		60Hz
	デバイス 設定	デバイス	システムID	0
			プロトコル	D-Max
			ボーレート	9600
		リモコンID		0
ストレージ	HDD動作	HDD上書き モード		オン

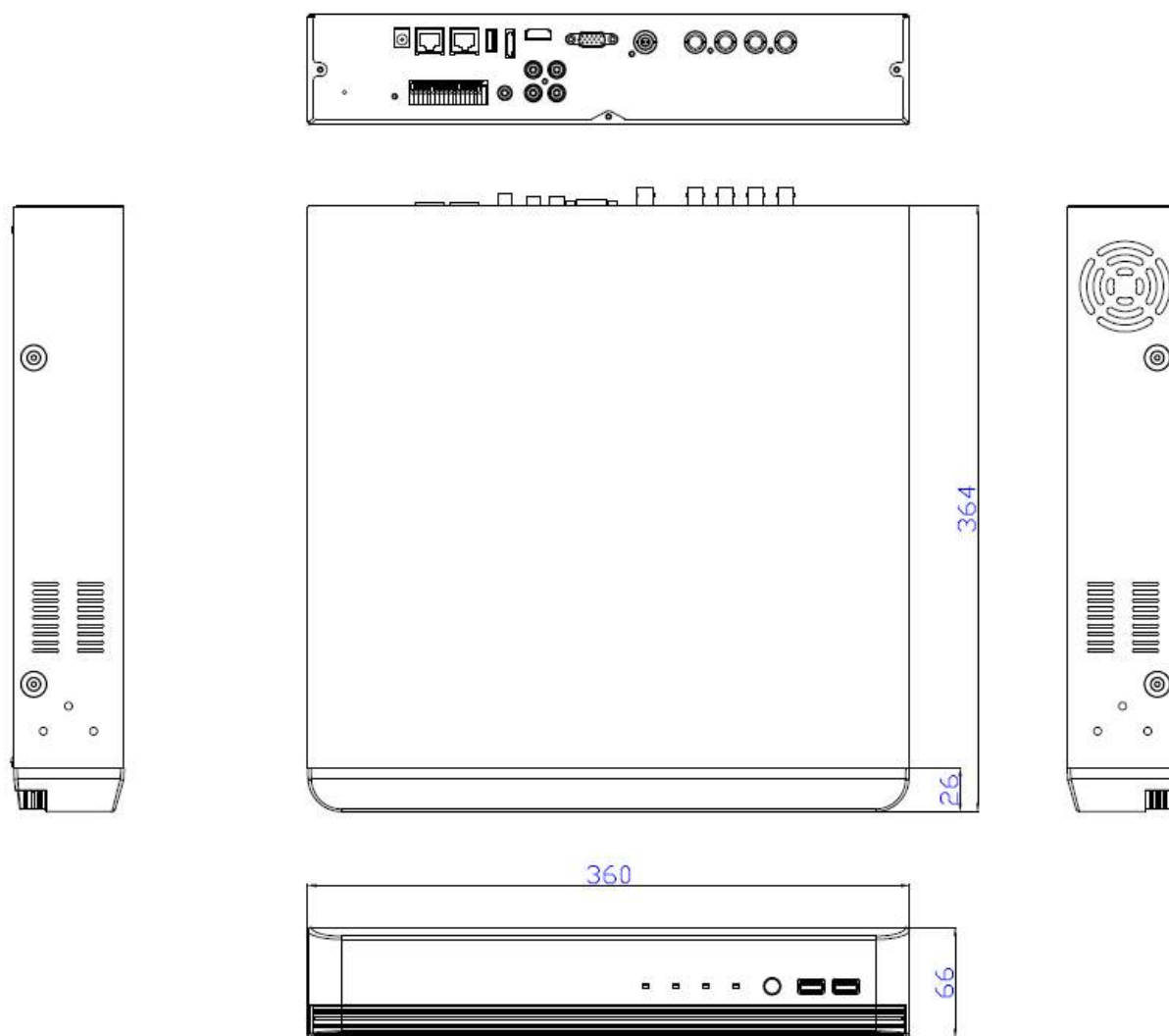
	S.M.A.R.T 情報	S.M.A.R.T 検査間隔		24時間 (内蔵ディスク / 外部記憶装置 両方)
イベント	アラーム 出力	名前		R1 ~ R4 AO1 ~ AO16
		動作		N/O : R1、3、5、7/AO1~8 N/C : R2、4、6、8
		持続時間		復帰するまで (全CH同様)
		ON/OFF スケジュール		すべて イベント
	イベント 通知	ブザー		5秒
		ディスプレイ	チャンネル ポップアップ 持続時間	5秒
			インフォメーション ポップアップ 持続時間	5秒
		メール	最小メール 送信間隔	1分
			スナップショット イメージを含める	チェックなし
		FTP	ディレクトリ	システムID
			ファイル名	システムID
			最小通知間隔	1分
			Web Linkを 含める	チェックなし
			スナップショット イメージを含める	チェックなし
イベント	アラーム センサー	名前		SENSOR1 ~ SENSOR16
		動作		N/O (全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし
	モーション センサー	無視する時間		5秒 (全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし

	ビデオ ロス	無視する時間		早速(全CH同様)
		アラーム出力		N/A (全CH同様)
		チェック項目		すべてチェックなし
	システム イベント	チェック項目		以下の項目にチェック済み ・ S.M.A.R.T.エラー ・ HDD認識エラー ・ 回転ファン異常検知 ・ 内部温度異常 ・ IP衝突イベント
録画設定	録画モード 設定	モード		マニュアル設定
		スケジュール設定		毎日
		プリイベント 録画時間		5秒
		ポストイベント 録画時間		30秒
		緊急録画時間		手動
		ビットレート		可変ビットレート
	常時録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	標準 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オン (全時間帯・全CH同様)
録画設定	モーション 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	標準 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オン (全時間帯・全CH同様)
	アラーム 録画	パラメータ	モニター出力 解像度	1920*1080 (全時間帯・全CH同様)
			FPS	7 (全時間帯・全CH同様)
			画質	標準 (全時間帯・全CH同様)
			音声	オフ (全時間帯・全CH同様)
		スケジュール		オン (全時間帯・全CH同様)
	緊急録画		モニター出力 解像度	1920*1080 (全時間帯・全CH同様)

			FPS	7（全時間帯・全CH同様）
			画質	標準（全時間帯・全CH同様）
			音声	オフ（全時間帯・全CH同様）
	ネットワーク ストリーミング	FPS		30（全CH同様）
	音声 マッピング	CAM1 ～ CAM16		CAM1、5、9、13 ： 音声1 CAM2、6、10、14 ： 音声2 CAM3、7、11、15 ： 音声3 CAM4、8、12、16 ： 音声4

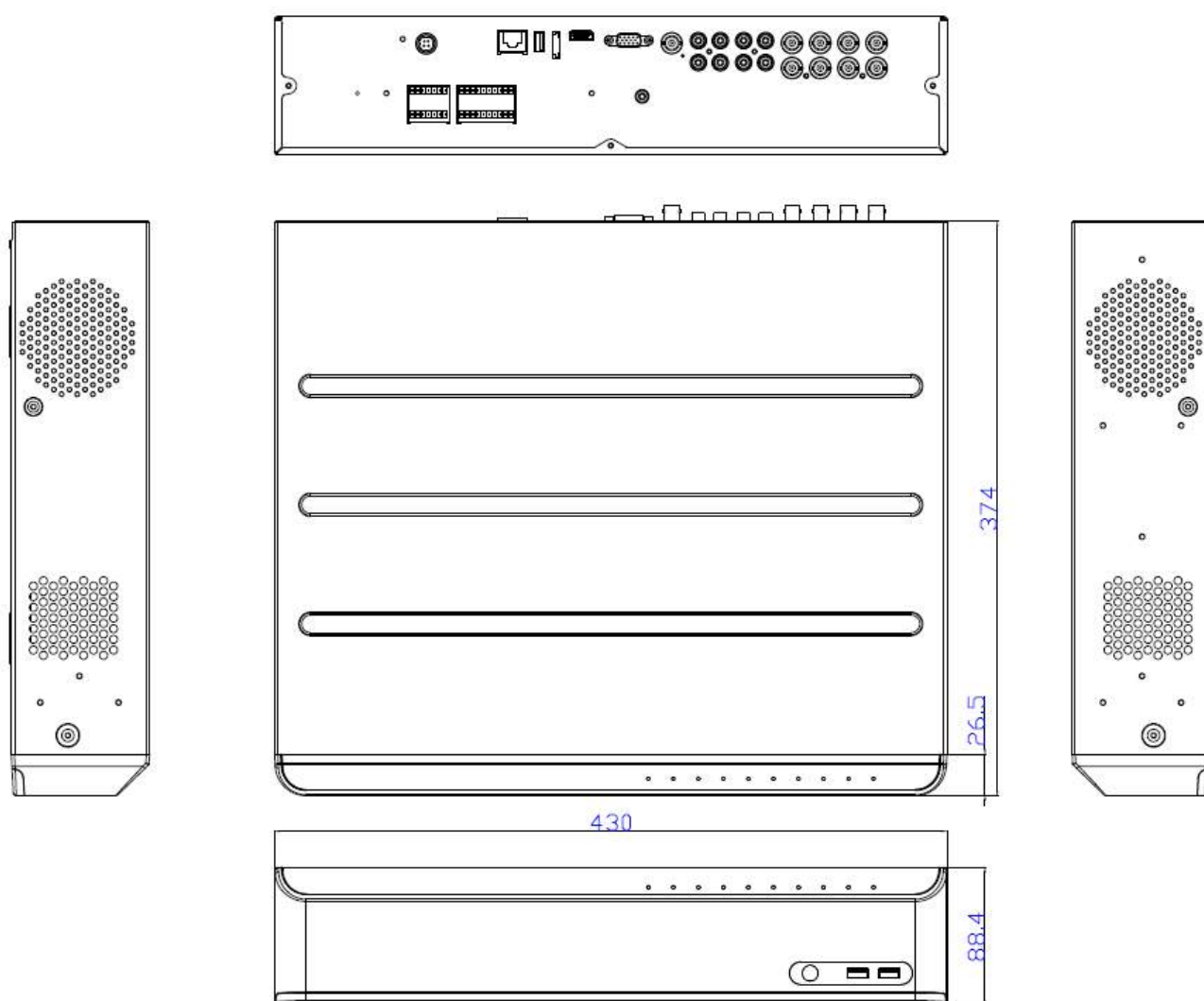
12章 外形寸法図

【 KB-AHR04A 】



単位:mm

【 KB-AHR08B (KB-AHR16B も同様) 】



単位:mm

13章 録画日数表

表の録画日数はあくまで参考値であり、録画日数を保証するものではありません。

ビットレートコントロールの設定によって、記録日数が変わります。

本機の出荷時設定は、「固定ビットレート」に設定されていますので、ご注意ください。

詳細は、【 3.9.1 録画モード設定(3-71 ページ) 】をご覧ください。

【 HDD 2TB / カメラ 1 台 / 音声記録なし / ビットレートコントロール:固定ビットレート の場合 】

単位: 日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
1920x1080	長時間	430	242	231	215	200	150
	低	367	197	183	162	149	110
	標準	212	112	100	84	75	55
	高	167	87	73	59	51	36
	最高	153	78	61	45	39	27
1280x720	長時間	537	303	289	268	251	188
	低	459	246	229	202	186	137
	標準	265	140	125	106	94	68
	高	208	109	91	74	63	45
	最高	191	98	76	57	49	34
960x480	長時間	717	404	386	358	334	251
	低	612	328	306	270	248	183
	標準	353	187	167	141	125	91
	高	278	145	122	98	85	61
	最高	255	131	102	76	65	45
704x480	長時間	860	485	463	430	401	301
	低	735	394	367	324	298	220
	標準	424	225	200	169	151	110
	高	334	175	147	118	102	73
	最高	306	157	122	91	78	55

【 HDD 2TB / カメラ 1 台 / 音声記録なし / ビットレートコントロール:固定ビットレート の場合 】

単位:日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
704x240	長時間	1075	607	579	537	502	376
	低	919	492	459	405	372	275
	標準	530	281	250	212	188	137
	高	417	218	183	148	127	91
	最高	383	197	153	114	98	68
352x240	長時間	1242	701	668	621	579	434
	低	1061	568	530	468	430	318
	標準	612	324	289	244	218	159
	高	482	252	212	171	147	106
	最高	442	227	176	132	113	79

【 HDD 2TB / カメラ 1 台 / 音声記録なし / ビットレートコントロール:可変ビットレート の場合 】

単位:日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
1920x1080	長時間	763	431	411	381	356	267
	低	618	331	309	273	250	185
	標準	343	182	162	137	122	89
	高	273	143	120	97	83	60
	最高	246	126	98	73	63	44
1280x720	長時間	969	547	521	484	452	339
	低	797	427	398	351	323	239
	標準	537	285	254	214	191	139
	高	375	196	165	133	114	82
	最高	308	158	123	92	79	55

【 HDD 2TB / カメラ 1 台 / 音声記録なし / ビットレートコントロール:可変ビットレート の場合 】

単位:日

解像度	画質	フレームレート					
		1	2	3	7	15	30
960x480	長時間	1180	666	635	590	550	413
	低	797	427	398	351	323	239
	標準	573	304	271	229	204	149
	高	461	249	203	163	141	101
	最高	410	211	164	123	105	73
704x480	長時間	1411	796	760	705	658	494
	低	983	527	491	434	398	295
	標準	699	371	330	279	249	181
	高	599	313	263	212	183	131
	最高	493	253	197	147	126	88
704x240	長時間	3246	1832	1748	1623	1515	1136
	低	1893	1014	946	835	767	568
	標準	874	463	413	349	311	227
	高	737	386	324	261	225	162
	最高	616	317	246	184	158	110
352x240	長時間	2950	1665	1589	1475	1377	1032
	低	1942	1040	971	856	787	582
	標準	1344	618	550	466	415	302
	高	956	500	420	339	292	210
	最高	828	426	331	248	213	149



保証書

品番	KB-AHR04A/KB-AHR08B/KB-AHR16B	販売店名
シリアルナンバー(S/N)		
お買い上げ年月日		
保証期間	商品お買い上げ後 5 年間	
会社名		
ご住所		
ご担当者		
電話番号		

※ お願い:太線で囲まれた欄はお買い上げ時に必ずご記入ください。

※ 本書は大切に保存してください。再発行は致しません。

<保証規定>

1. 取扱説明書に記載された正常な使用状態で、保証期間中に万一故障を起こした場合、無償にて修理致します。

販売会社もしくは当社へ本ページを切り取ってお申し付けください。

<保証条件>

次に該当する故障は保証期間であっても実費にて修理を申し受けます。

1. 取扱説明書にない誤った取扱い、不当な修理・改造を受けた製品の故障。また故意・不注意による損傷に起因する故障。
2. 災害など不可抗力による損傷。
3. 本書上記項目に必要な事項の記入がない場合。また本書の提示がない場合。

<メンテナンスについて>

1. 防犯・監視用途でご使用の場合、定期的メンテナンス(点検・保守)をお勧め致します。
詳しくはお買い上げ販売店(又は工事店)にご確認ください。

<補修用性能部品の保有期間>

1. 当社は、このデジタルレコーダーの補修用性能部品の、製造打ち切り後 7 年間保有しています。
性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
ただし、修理不能の場合は、後継機種によるユニット交換となる場合があります。

株式会社ケービデバイス

本社 〒600-8086 京都市下京区松原通東洞院東入本燈籠町 22 番地 2

TEL 075-354-3372 FAX 075-354-3382



製品の定格及びデザインは改良の為予告無く変更することがあります。